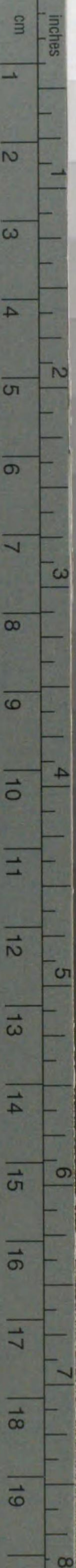


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

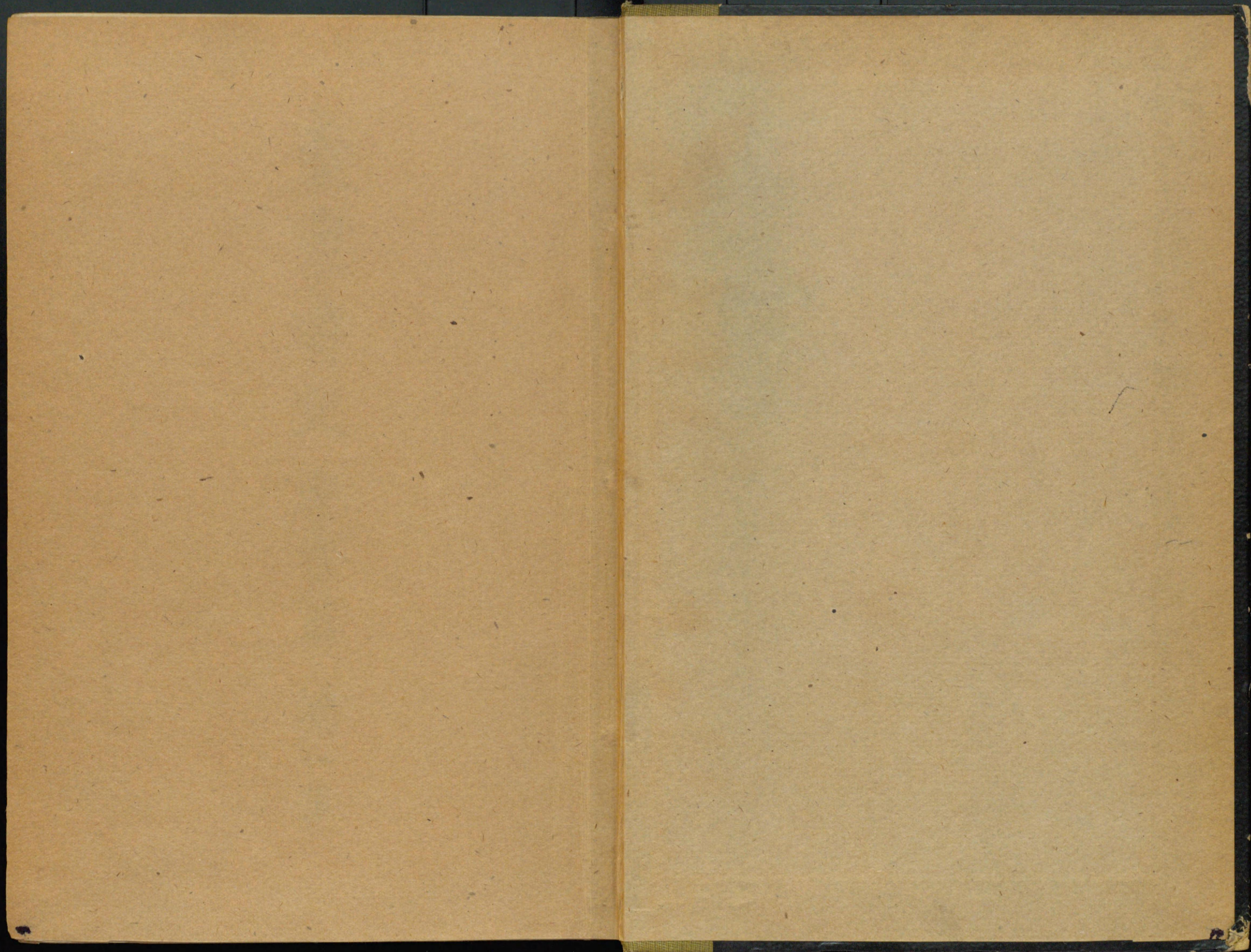
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
[Patch 1]	[Patch 2]	[Patch 3]	[Patch 4]	[Patch 5]	[Patch 6]	[Patch 7]	[Patch 8]	[Patch 9]

594  
79

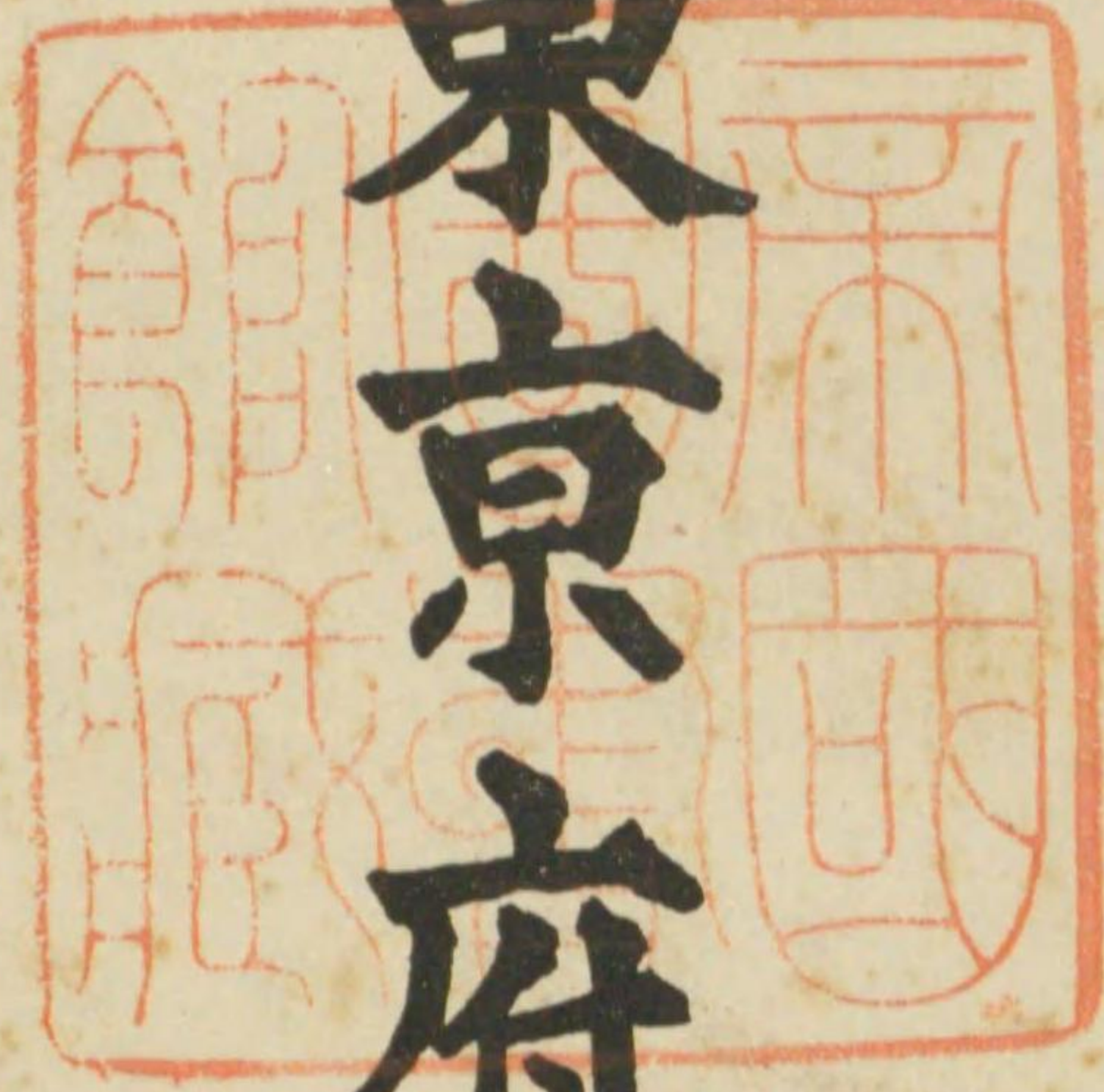
594-79  
\*1200501526999\*







東京府史 府會篇 第一卷



發行所寄贈本



## 序

地方自治團體タル府縣ノ行政上、其ノ處理實行スヘキ、諸般ノ事項ニ亘リ、之レヲ議決スヘキ府縣會ハ、其ノ任務ノ重大ナル、復タ多言ヲ俟タサル所ナリ。

我カ東京府ハ、實ニ明治元年ヲ以テ創設セラレ、四年改メテ府縣官制ノ發布ニ伴ヒ、現時府治ノ基ヲ建ツ。爾來茲ニ約六十年ヲ閱シ、其ノ間、府會ノ開設ト共ニ、其ノ議決ニ本ツケル行政上ノ施設如何ニ顧ミ、延イテ府治將來ノ考慮ニ資セムト欲セハ、須ラク累年府會ノ歴史ヲ尊重シ、稽古徵今、以テ其ノ方針ヲ定ムルヲ期スヘキナリ。

府會史編纂ノ事業ハ、多年府會ノ建議ト希望トニ由リ、昭和二年度以降、府史ノ一部トシテ之レニ着手シ、今ヤ府會篇ノ第一卷



先ツ其ノ成稿ヲ告クルニ至レリ。

惟フニ府治ノ要諦ハ、府民ノ福祉ヲ増進シ、生活ノ安固ヲ保障スルニ在リ、而シテ府會ノ議決ハ、眞ニ其ノ由リテ來ル所以ノ源泉タリ、府會史編纂ノ要旨、豈他アラムヤ。茲ニ本書ノ公刊成ル、其ノ現在及將來ニ對スル、府治百般ノ劃策ト施設トニ資スヘキモノ、蓋シ尠少ナラサルモノアラム歟。一言以テ序トス。

昭和四年六月

東京府知事 平塚 廣義

東京府會史ノ編纂ニ當リ、茲ニ明治十一年府縣會規則ノ發布セラレシ當初ニ溯リ、明治卅二年府縣制實施以來、最近昭和三年ニ至ル期間ヲ綜ヘ、二年度ヲ以テ之レニ着手シ、府史刊行ノ先頭トシテ、本書第一卷ノ完成ヲ得タリ。

本書ノ内容ハ、即チ前後凡ソ五十年ノ經過ヲ一貫シ、其ノ間幾多變遷ト、波瀾重疊ノ跡ヲ顧レハ、現代進展セル府勢ノ由リテ出ツル所、決シテ其ノ偶然ナラサルヲ看取スヘシ。府會沿革史ノ編纂ハ、明治卅三年府會ノ建議ニ基キ、時ノ議長芳野世經氏ニ囑託セラレ、開設以降明治卅一年ニ至レル草案ハ、大半其ノ成ルヲ見タルモ、一旦中絶ノ已ムナキヲ致シ、大正十年十二月通常府會ノ建議ヲ始メ、爾後幾回ノ希望アリ、更ニ其ノ範圍ヲ擴メ、府史ノ編纂ニ着手スヘク、十五年費目豫算ノ提出ト共ニ、府會ノ協賛ヲ得ルニ及ヒ、昭和二年度ヲ以テ之レカ編纂ニ着手シ、今ヤ府會篇



第一卷ヲ刊行スルニ至レリ。但事業ノ複雑ニシテ、收載事項ノ廣汎ナルト同時ニ、遠ク府縣會規則ニ依レル當初以來ノ事實ヲ網羅セムトスルニ當リ、資料ノ蒐集容易ナラサルモノアリ、記述上或ハ滲漏不備ノ點アラムコトヲ恐ル、而モ比較的資料ノ散逸ヲ免レタルノ多キト、關係諸士ノ勞績トニ由リ、茲ニ本書ノ刊行ヲ見タルヲ幸トシ、聊其ノ次第ヲ述ヘテ序文ニ代フ。

昭和四年六月

四

### 府史編纂委員

### 凡例

一 明治三十三年府會の建議に基き、東京府會沿革史の編纂を計畫し、時の府會議長である芳野世經氏を委員長とする、若干の委員に依つて、編纂に着手されたが、其後諸種の事情があつた爲め十數年を経過して、明治十二年府會の開設より同三十二年六月までの約二十餘年間に涉る編纂成れるを機會として、此の事業を打ち切つた。

一 越へて大正十年府會に於て、府會史編纂を希望することを決議された。其後更に希望もあつたので、範圍を擴張して府會史をも包含する東京府史を編纂することとし、府會の議決を経て、昭和二年四月より編纂に着手した。先づ編纂の成れるものより、逐次刊行することとしたのである。

一 本書は、明治十二年より昭和三年に至る約五十箇年に涉る府會其の儘を輯録したので、時代的に見て明治十二年より同三十二年六月までの府縣會規則時代と、同三十二年七月より昭和三年十二月までの府縣制時代との二つに別けることが出来る。しかし、制度法規の關係より此の區別を必要とするものの外は、年次



に順ひ列記するの方針を採り、編纂の方法としては、曩の府會沿革史や他の府縣會史などを参考として、適宜鹽梅したものである。

一本書編纂の資料は、法律命令、本府保存の原議書類、府知事より府會への令達通牒、本府公報、議事録、速記録、議案、決議書、決算書、統計書等である。しかし、年次を遡るに伴ひ資料の缺乏も免れないので、今は、詮索に由ないものもあつた。

一各節の末に「關係法令拔萃」として、其の節に關係ある主なる法令、規則等の條項を摘載した。しかし、府縣會規則時代の如き、數十年を経過し、當該法令の觀念が殆んど人々の記憶に存しないものは、成るべく多く掲載したが、比較的新しい府縣制、其の他の條文の如きは、出来るだけ之を省略した。

一其の他必要な注意事項は、書中該當の箇所に、夫々摘載することとした。

# 東京府史 府會篇 第一卷

## 目次

第一章 東京府の沿革	一
第一節 東京府の設置	一
關係法令拔萃	二
第二節 東京府の位置面積及管轄	四
第三節 管轄地の沿革	五
第二章 府會の組織	一
第一節 議員選舉區及定數	一
選舉區及定數沿革	二
選舉區及定數一覽	三
府會議員選舉區別定數一覽其ノ一	三
府會議員選舉區別定數一覽其ノ二	五



關係法令拔萃

..... 二

第二節

議員選舉及其の結果

..... 三

府會議員選舉投票累年調査一覽

..... 三

府會議員選舉狀況調査表

..... 三

(一)	麴町區	.....	三
(二)	神田區	.....	三
(三)	日本橋區	.....	三
(四)	京橋區	.....	三
(五)	芝區	.....	三
(六)	麻布區	.....	三
(七)	赤坂區	.....	三
(八)	四谷區	.....	三
(九)	牛込區	.....	三
(一〇)	小石川區	.....	三
(一一)	本郷區	.....	三

(三)	下谷區	.....	三
(三)	淺草區	.....	三
(四)	本所區	.....	三
(五)	深川區	.....	三
(六)	八王子市	.....	三
(七)	荏原郡	.....	三
(八)	東多摩郡	.....	三
(九)	南豐島郡	.....	三
(一〇)	豐多摩郡	.....	三
(一一)	北豐島郡	.....	三
(一二)	南足立郡	.....	三
(一三)	南葛飾郡	.....	三
(一四)	西多摩郡	.....	三
(一五)	南多摩郡	.....	三
(一六)	北多摩郡	.....	三



關係法令沿革

第三節 議員在職年數

(府縣會規則時代)

(一)	麴町區	一四〇
(二)	神田區	一四〇
(三)	日本橋區	一四〇
(四)	京橋區	一四一
(五)	芝區	一六一
(六)	麻布區	一七一
(七)	赤坂區	一七三
(八)	四谷區	一七九
(九)	牛込區	一八三
(一〇)	小石川區	一八六
(二)	本郷區	一八八
(三)	下谷區	一九三

(三)	淺草區	一九
(四)	本所區	二〇四
(五)	深川區	二〇八
(六)	荏原郡	二一四
(七)	東多摩郡	二一八
(八)	南豐島郡	二二一
(九)	豐多摩郡	二二三
(一〇)	北豐島郡	二三四
(一一)	南足立郡	二三〇
(一二)	南葛飾郡	二三四
(一三)	西多摩郡	二三六
(一四)	南多摩郡	二四〇
(一五)	北多摩郡	二四三

(府縣制時代)

(一)	麴町區	二四六
-----	-----	-----



(二)	神田區	三四八
(三)	日本橋區	三五三
(四)	京橋區	三五三
(五)	芝區	三六一
(六)	麻布區	三六一
(七)	赤坂區	三六七
(八)	四谷區	三六九
(九)	牛込區	三七一
(一〇)	小石川區	三七三
(一一)	本郷區	三七八
(一二)	下谷區	三八〇
(一三)	淺草區	三八五
(一四)	本所區	三九〇
(一五)	深川區	三九八
(一六)	八王子市	三〇八

第四節 議員の異動

選舉區別議員異動調査表

(府縣會規則時代)

(一)	荏原郡	三〇九
(二)	豐多摩郡	三四
(三)	北豐島郡	三九
(四)	南足立郡	三六
(五)	南葛飾郡	三八
(六)	西多摩郡	三三
(七)	南多摩郡	三六
(八)	北多摩郡	三九

(一)	麴町區	三四六
(二)	神田區	三四七
(三)	日本橋區	三四九



(四)	京橋區	三五三
(五)	芝區	三五四
(六)	麻布區	三五五
(七)	赤坂區	三五七
(八)	四谷區	三五八
(九)	牛込區	三五〇
(一〇)	小石川區	三五二
(一一)	本郷區	三五三
(一二)	下谷區	三五四
(一三)	淺草區	三五五
(一四)	本所區	三五六
(一五)	深川區	三五七
(一六)	荏原郡	三五三
(一七)	東多摩郡	三五四
(一八)	南豐島郡	三五六

(府縣制時代)

(一)	麴町區	三六七
(二)	神田區	三六八
(三)	日本橋區	三六九
(四)	京橋區	三七一
(五)	芝區	三七三
(六)	麻布區	三七四
(七)	赤坂區	三七五
(一)	豐多摩郡	三七七
(二)	北豐島郡	三七八
(三)	南足立郡	三九〇
(四)	南葛飾郡	三九二
(五)	西多摩郡	三九三
(六)	南多摩郡	三九四
(七)	北多摩郡	三九五



(八)	四谷區	三九六
(九)	牛込區	三九七
(一〇)	小石川區	三九八
(一一)	本郷區	三九九
(一二)	下谷區	四〇一
(一三)	淺草區	四〇三
(一四)	本所區	四〇四
(一五)	深川區	四〇六
(一六)	八王子市	四〇七
(一七)	荏原郡	四〇八
(一八)	豐多摩郡	四〇九
(一九)	北豐島郡	四一一
(二〇)	南足立郡	四一三
(二一)	南葛飾郡	四一四
(二二)	西多摩郡	四一六

第五節 議長の選舉及其の結果

(一)	府會議長	四三三
(二)	府會副議長	四三〇
(三)	市(區)部會議長	四四一
(四)	市(區)部會副議長	四四九
(五)	郡部會議長	四五六
(六)	郡部會副議長	四六四

第六節 議長の在職年數

(一)	府會議長	四七五
(二)	府會副議長	四七六
(三)	市(區)部會議長	四八三



(四) 市(區)部會副議長……………四八五

(五) 郡部會議長……………四八九

(六) 郡部會副議長……………四九三

第七節 議長の異動……………四九六

府會市(區)部會郡部會の正副議長異動調査表……………四九六

(府縣會規則時代)

(一) 府會……………四九七

(二) 市(區)部會……………四九八

(三) 郡部會……………五〇〇

(府縣制時代)

(一) 府會……………五〇一

(二) 市部會……………五〇三

(三) 郡部會……………五〇五

### 第三章 常置委員會・參事會の組織

第一節 常置委員・參事會員の定數……………五〇八

常置委員・參事會員定員表……………五〇九

關係法令拔萃……………五〇

第二節 常置委員名譽職參事會員の選舉及其の結果……………五三

(一) 常置委員……………五二四

(二) 參事會員……………五二七

(三) 常置委員の豫備員……………五三一

(四) 參事會員の補充員……………五三九

第三節 常置委員・參事會員の在職年數……………五六一

(一) 知事……………五六六

(二) 高等官參事會員……………五六九

(三) 常置委員及名譽職參事會員……………五七四

第四節 常置委員・參事會員の異動……………六〇八

(一) 常置委員……………六〇八



(二) 名譽職參事會員

關係法令拔萃



松田 隆正



松田 隆正

歷代知事



松田 隆正



松田 隆正

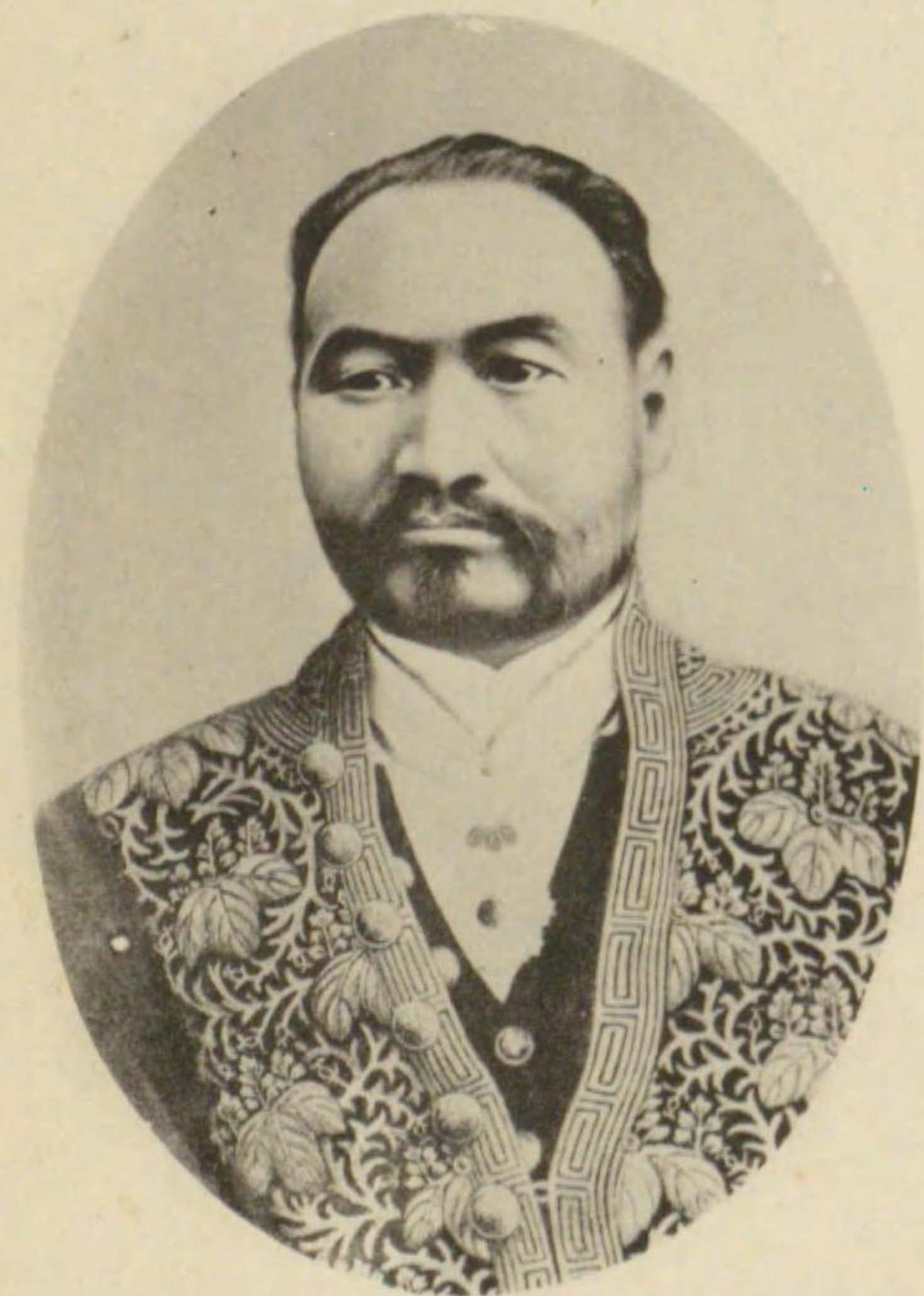




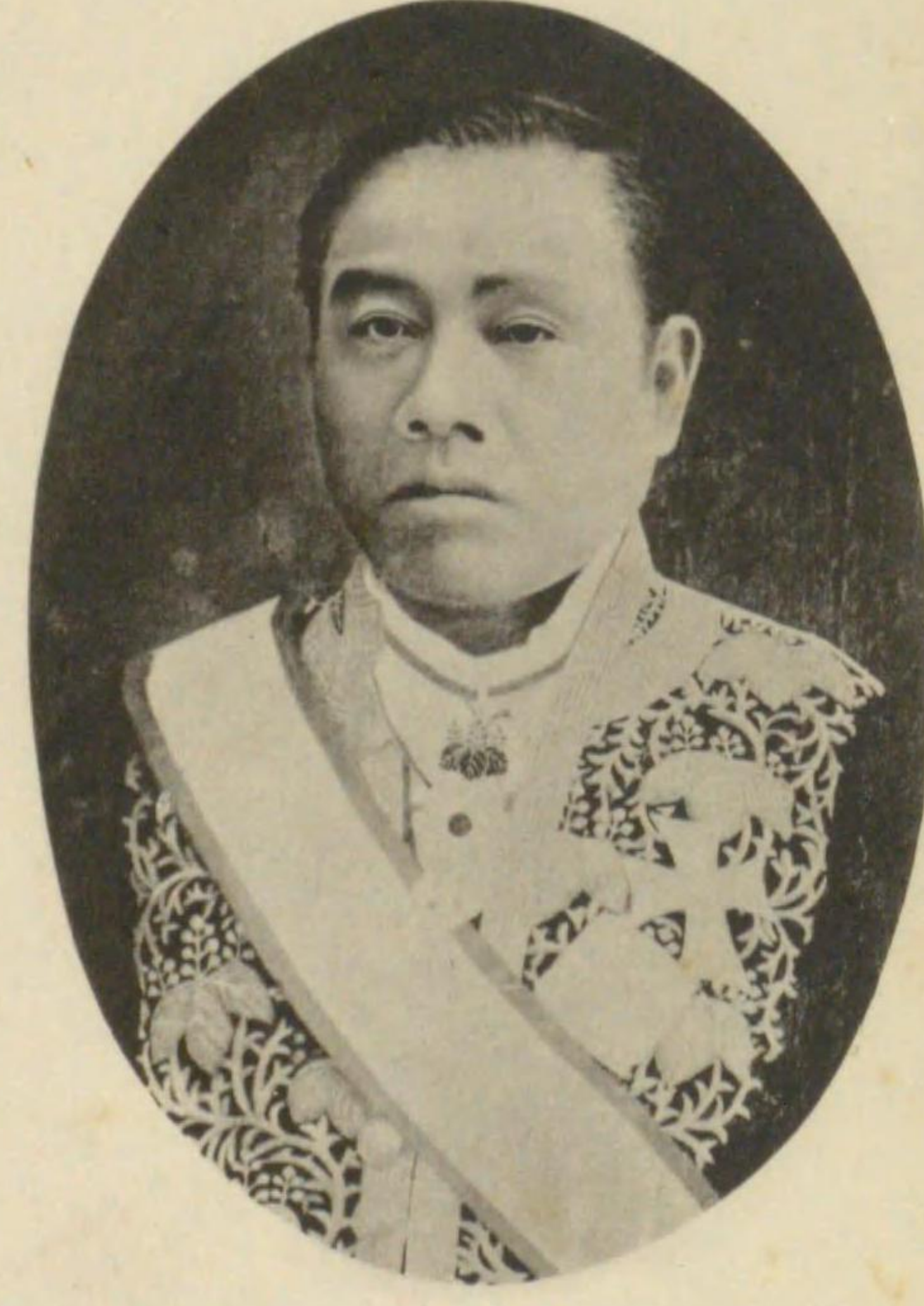
松田道之



西村正隆



渡邊洪基

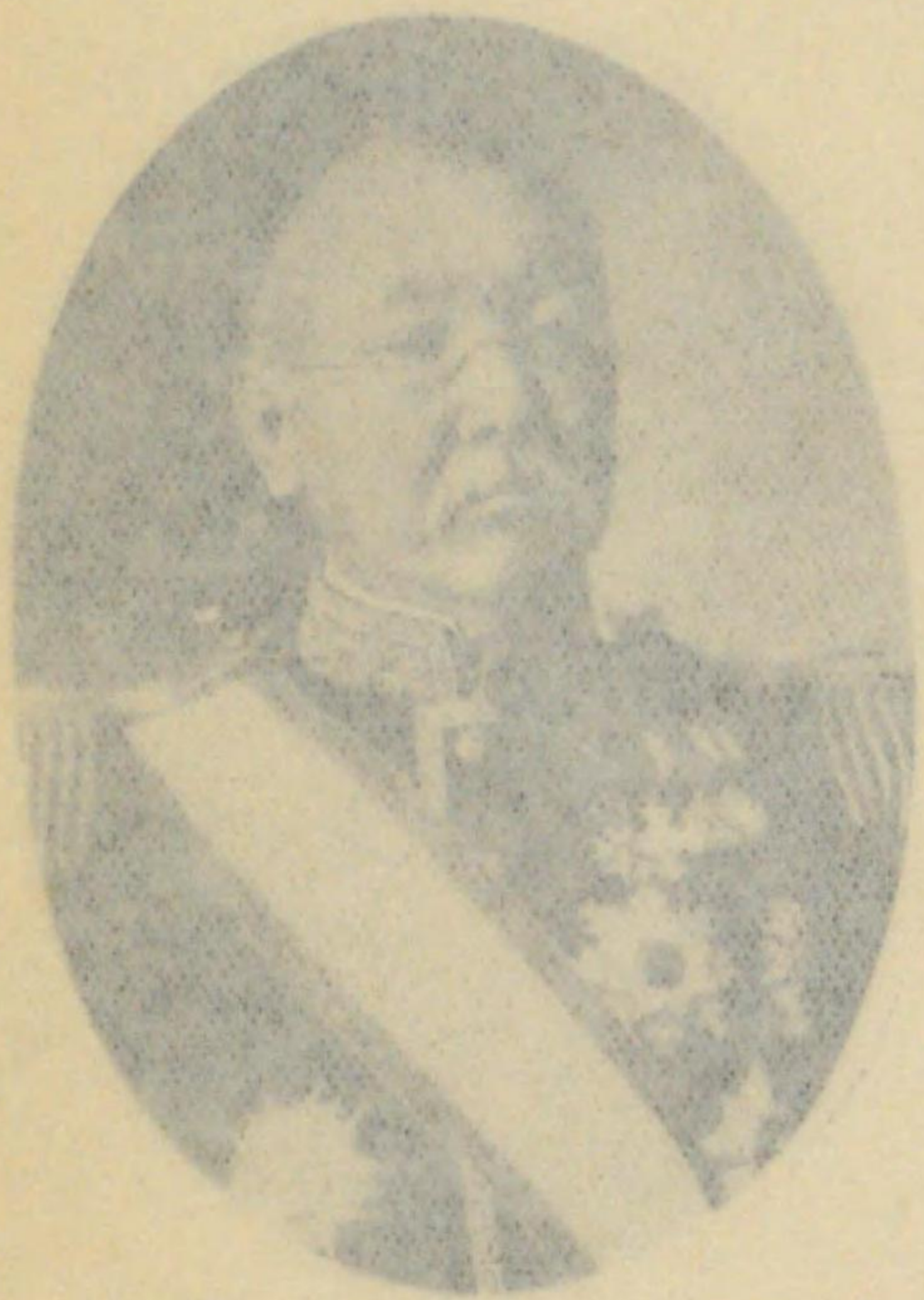


吉川顯正

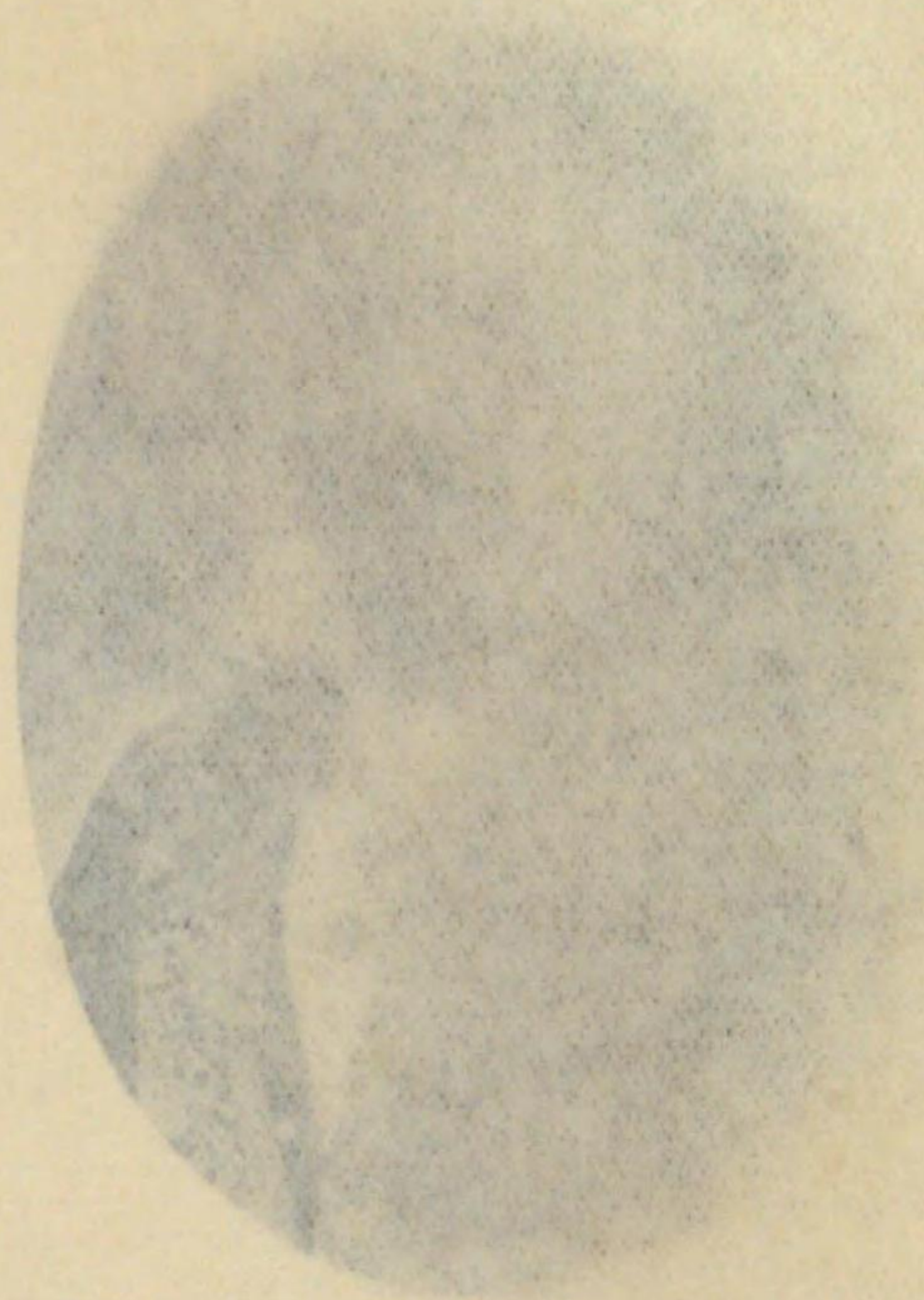
勳  
升  
職  
專

東京府史 府會館 第一卷目次  
(二) 名譽職參事會員  
關係法令沿革





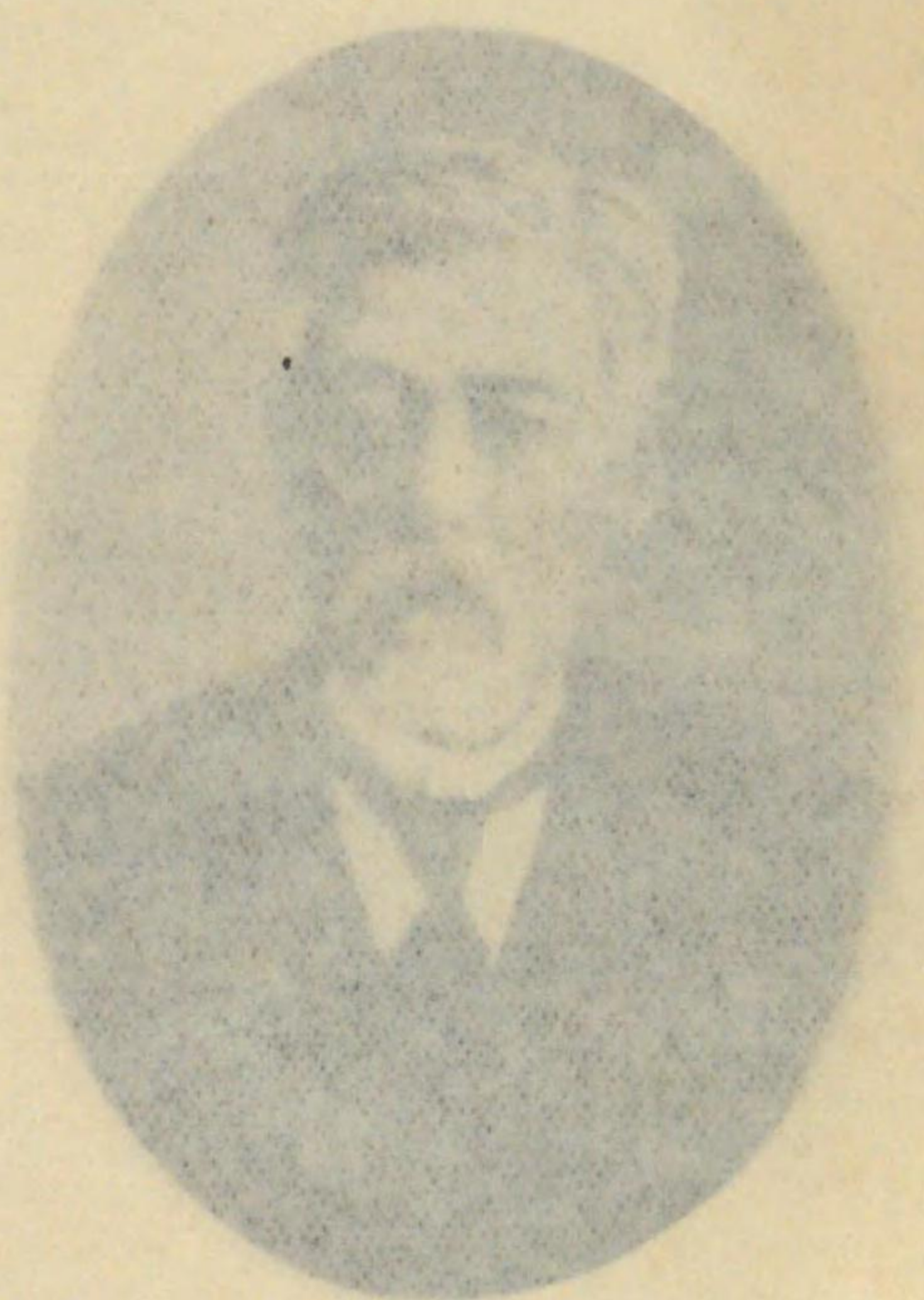
蜂須賀茂都



五 六



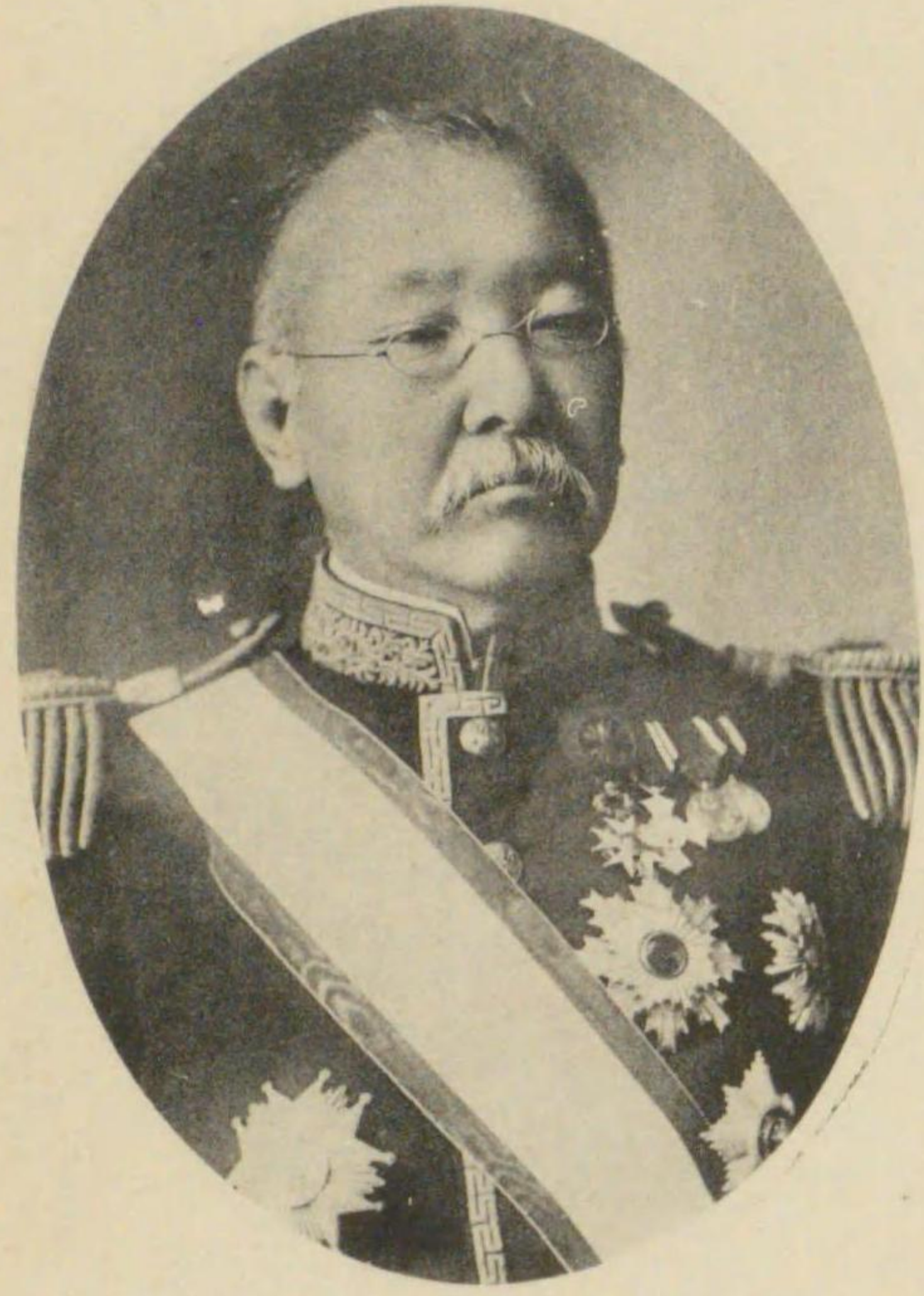
三浦 安



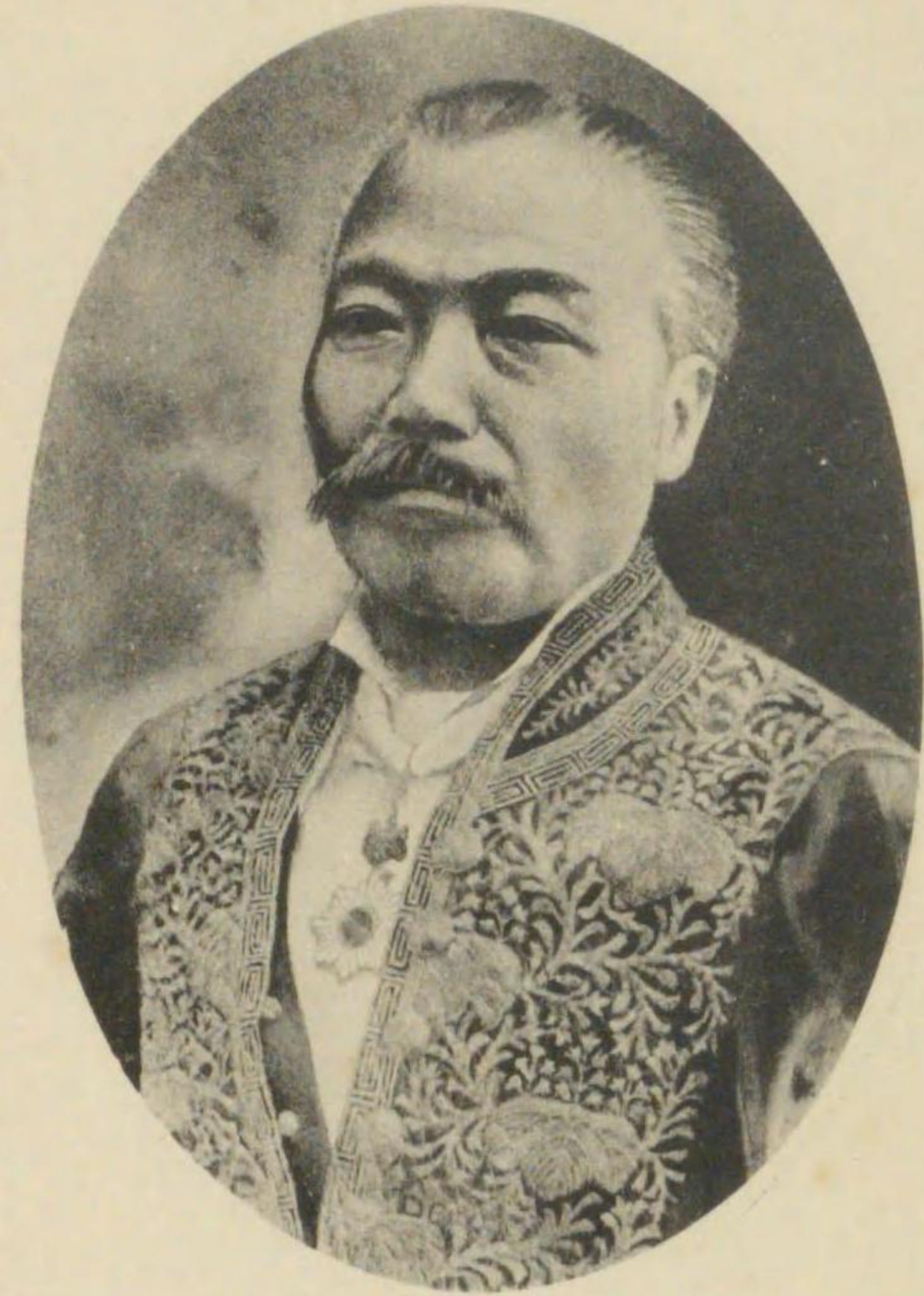
富田 鐵之助







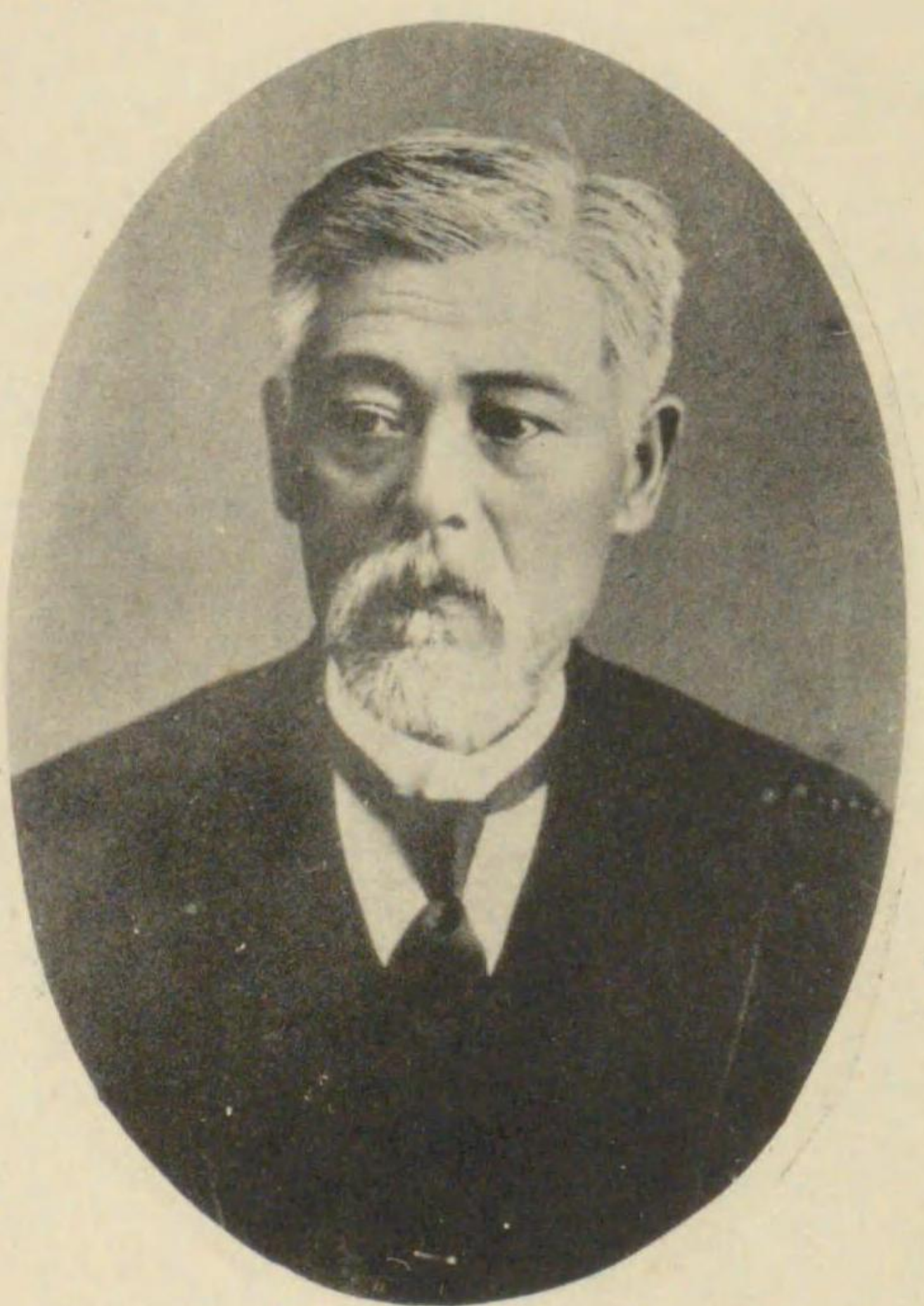
蜂須賀茂韶



高崎五六

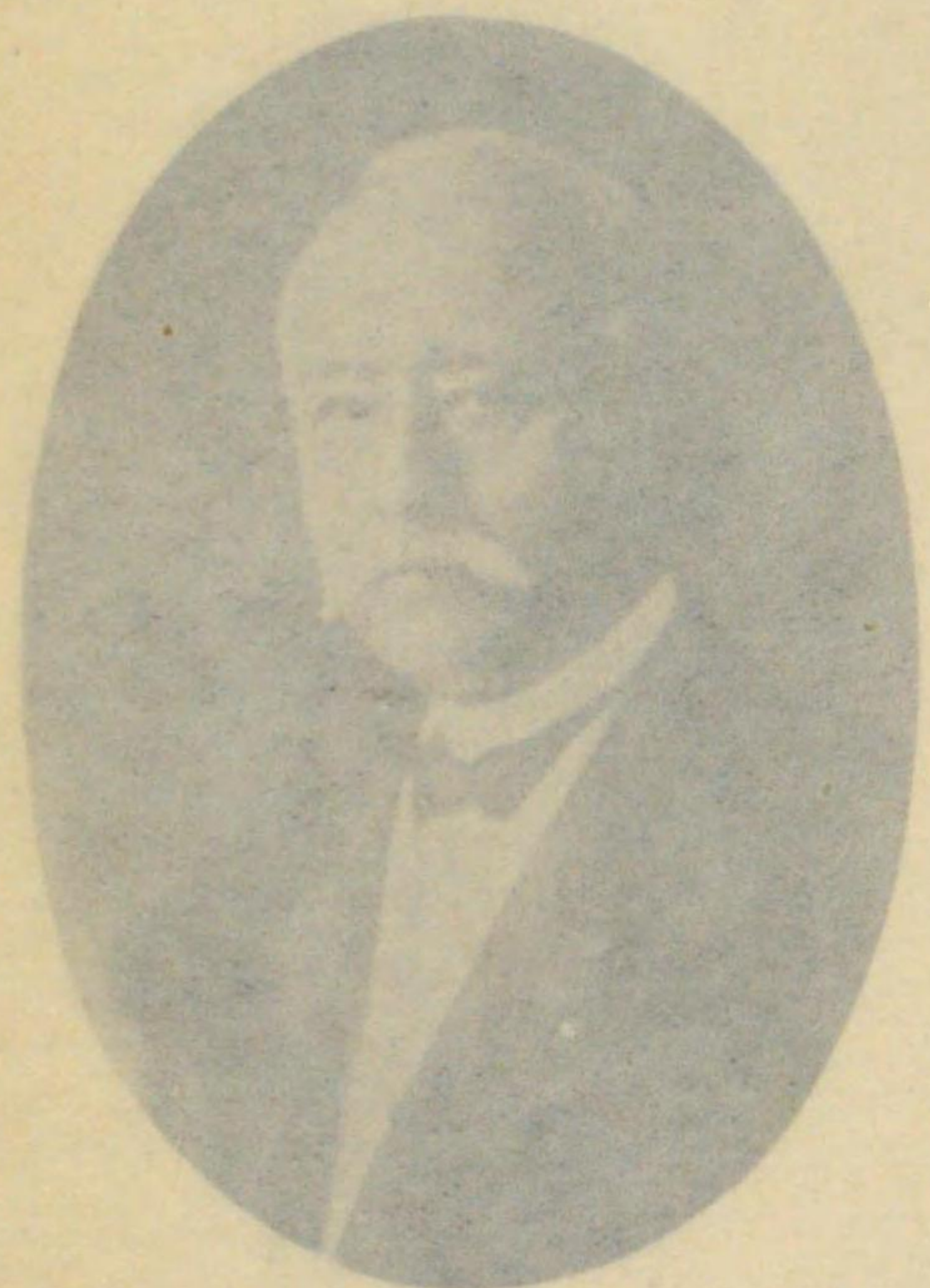


三浦安



富田鐵之助

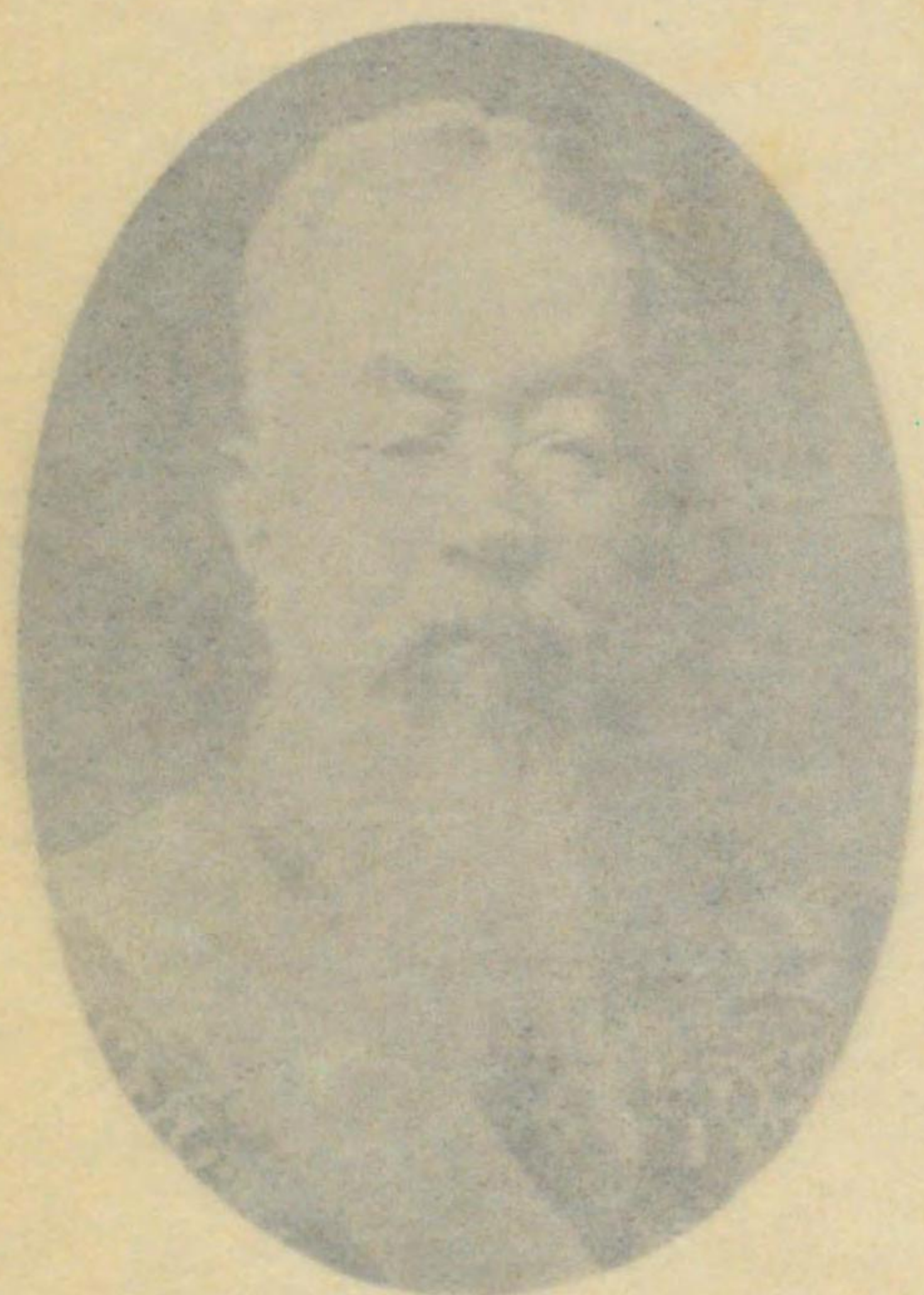




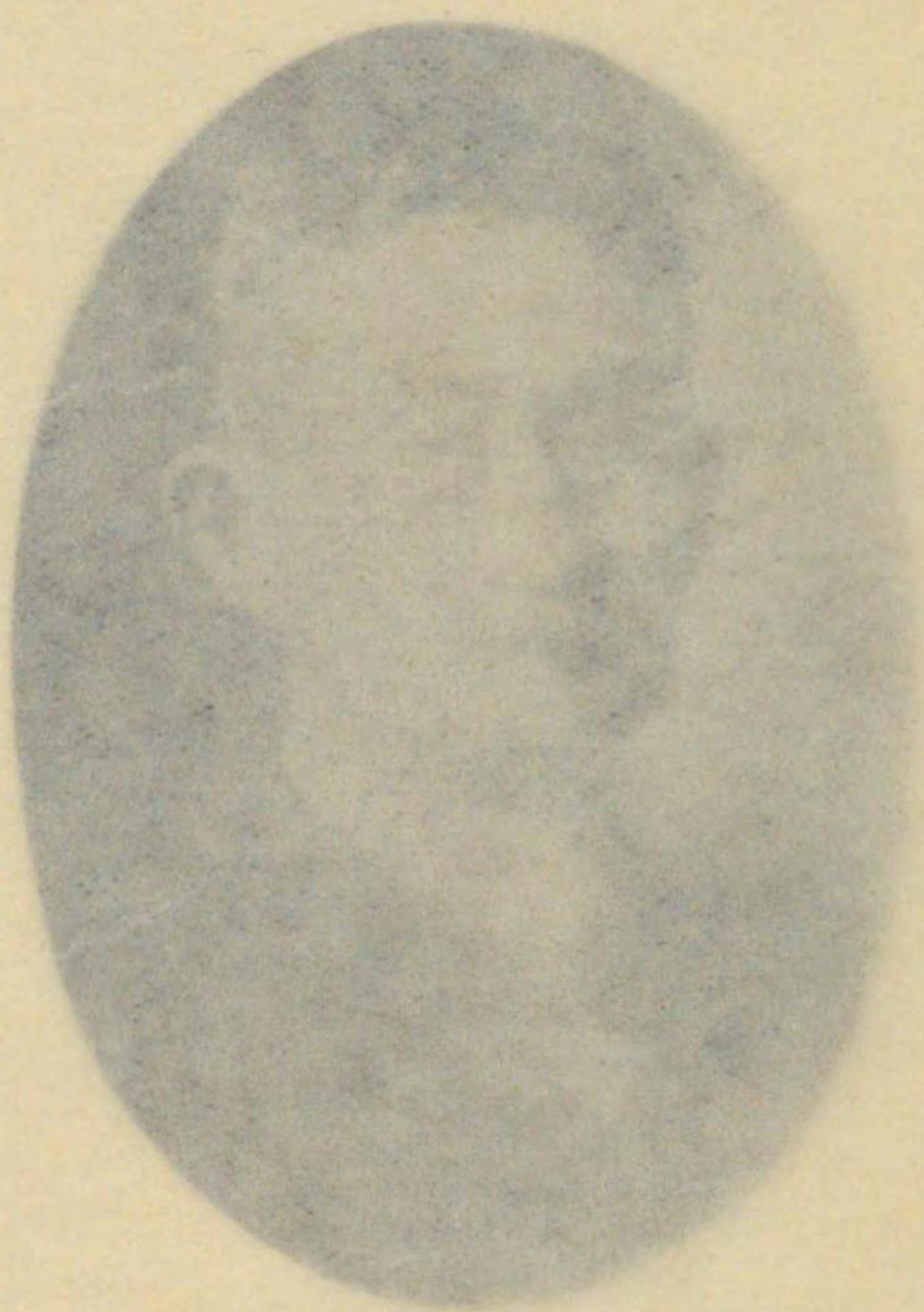
岡部長職



久我通久



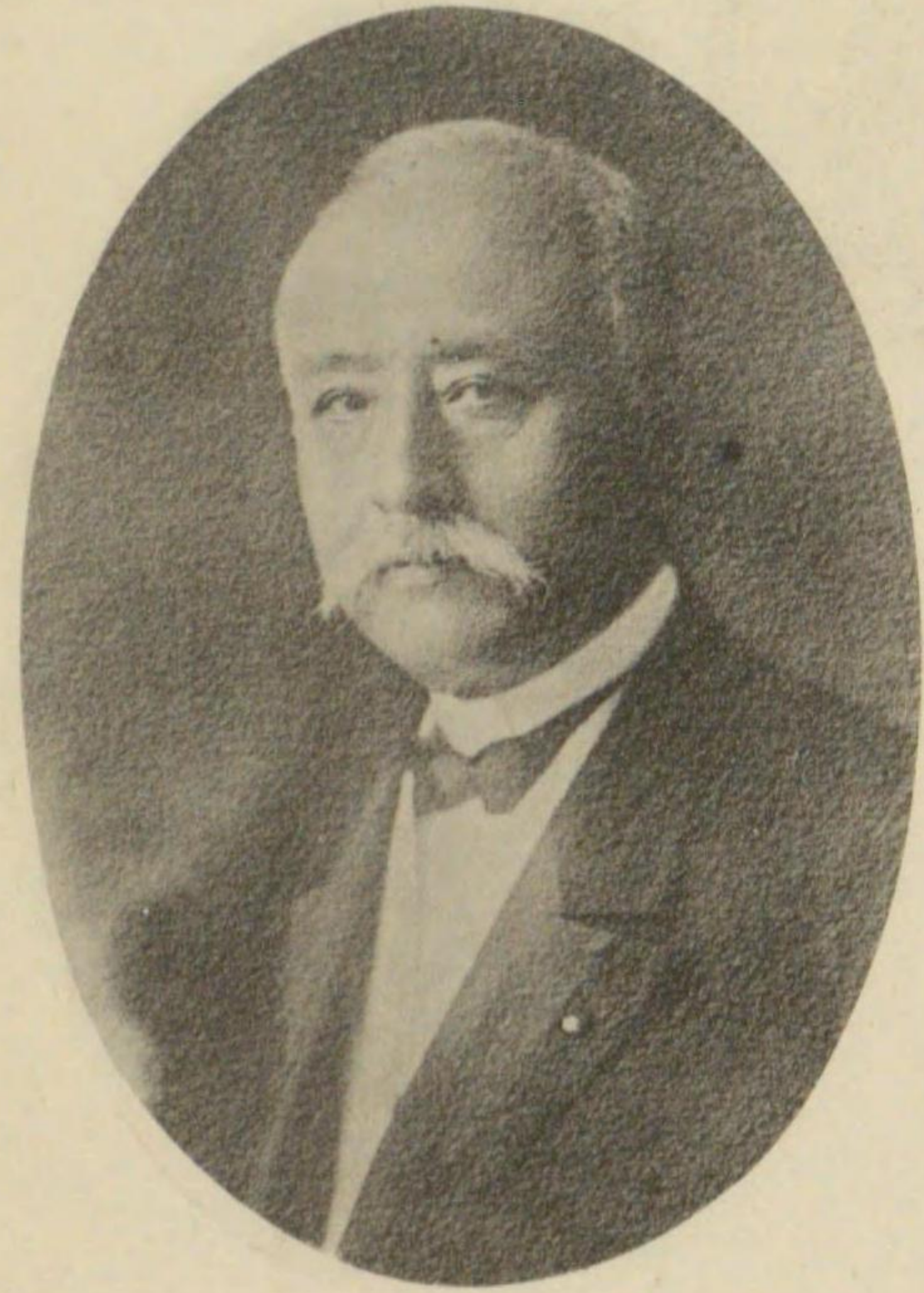
千家尊福



龍家



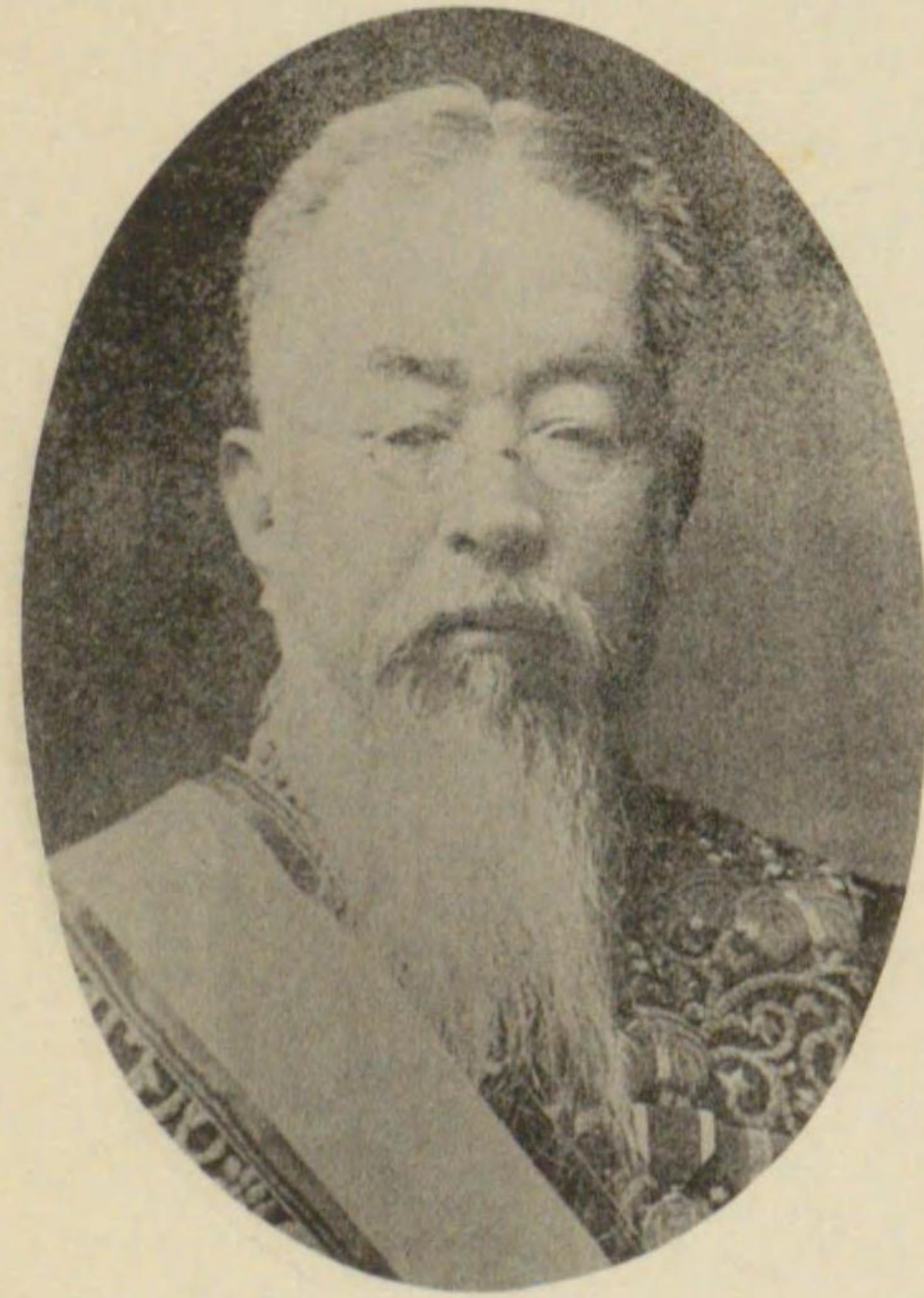




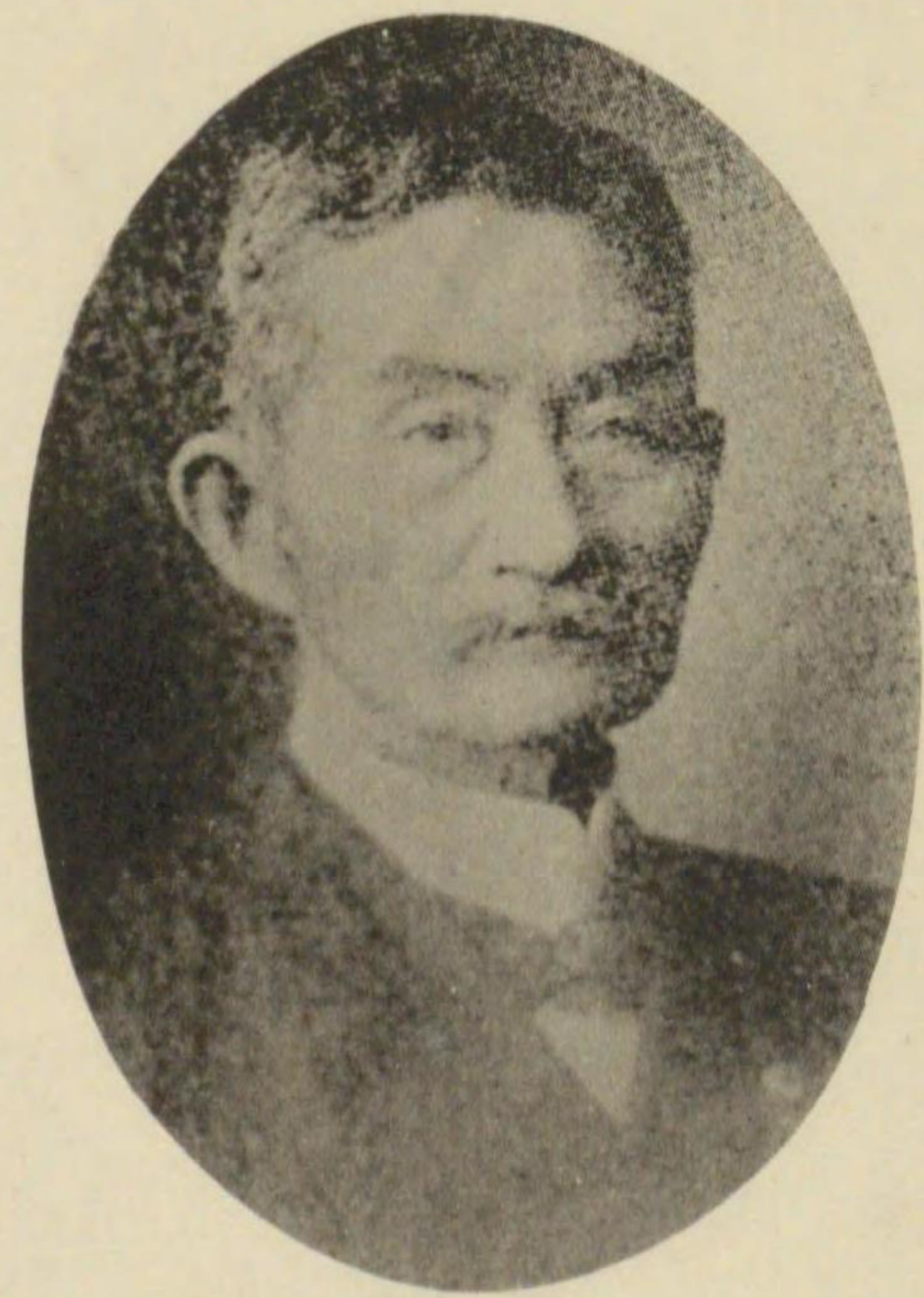
岡 部 長 職



久 我 久 通

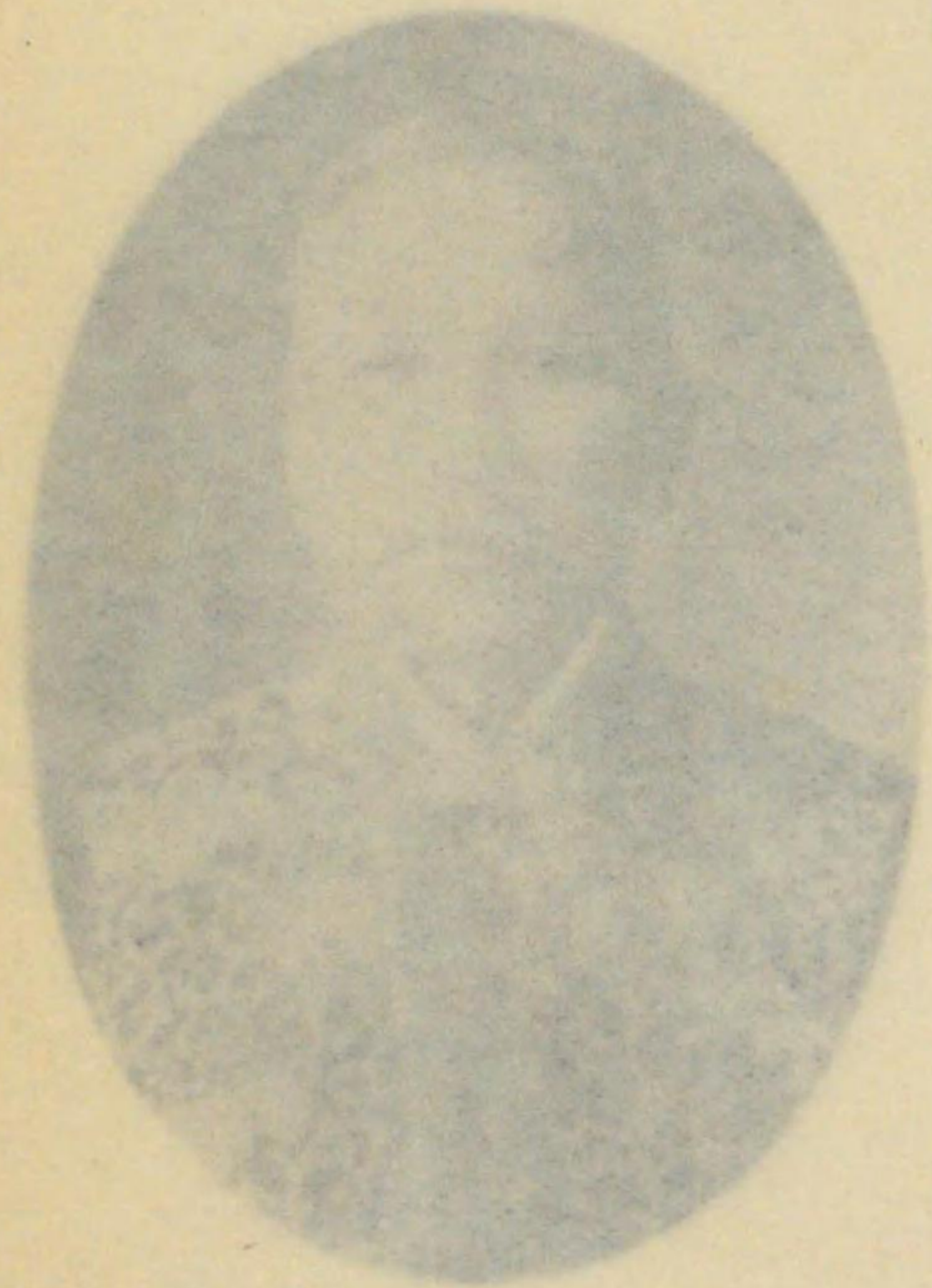


千 家 尊 福

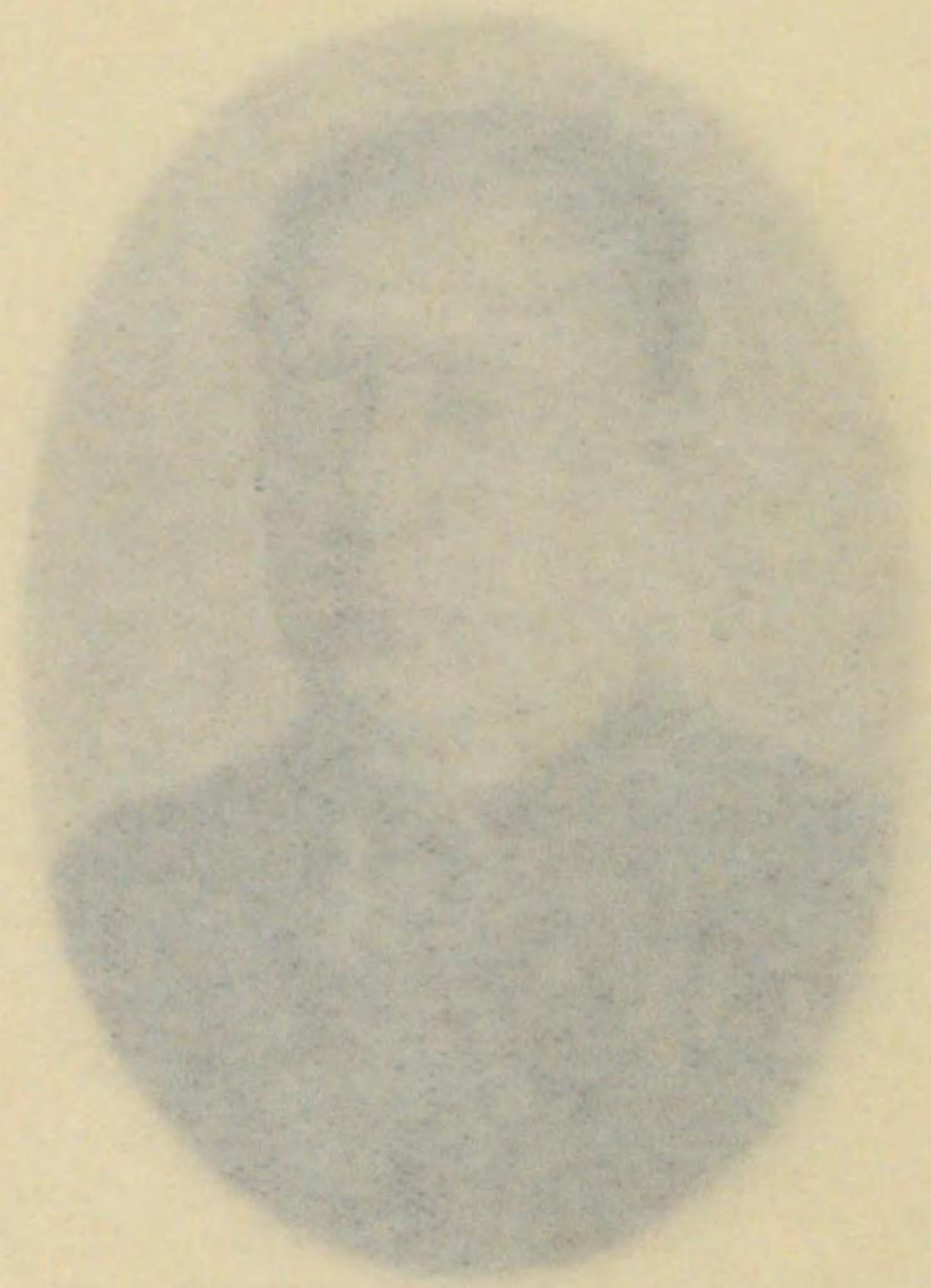


肥 塚 龍





宗 像 政



后 像 昭



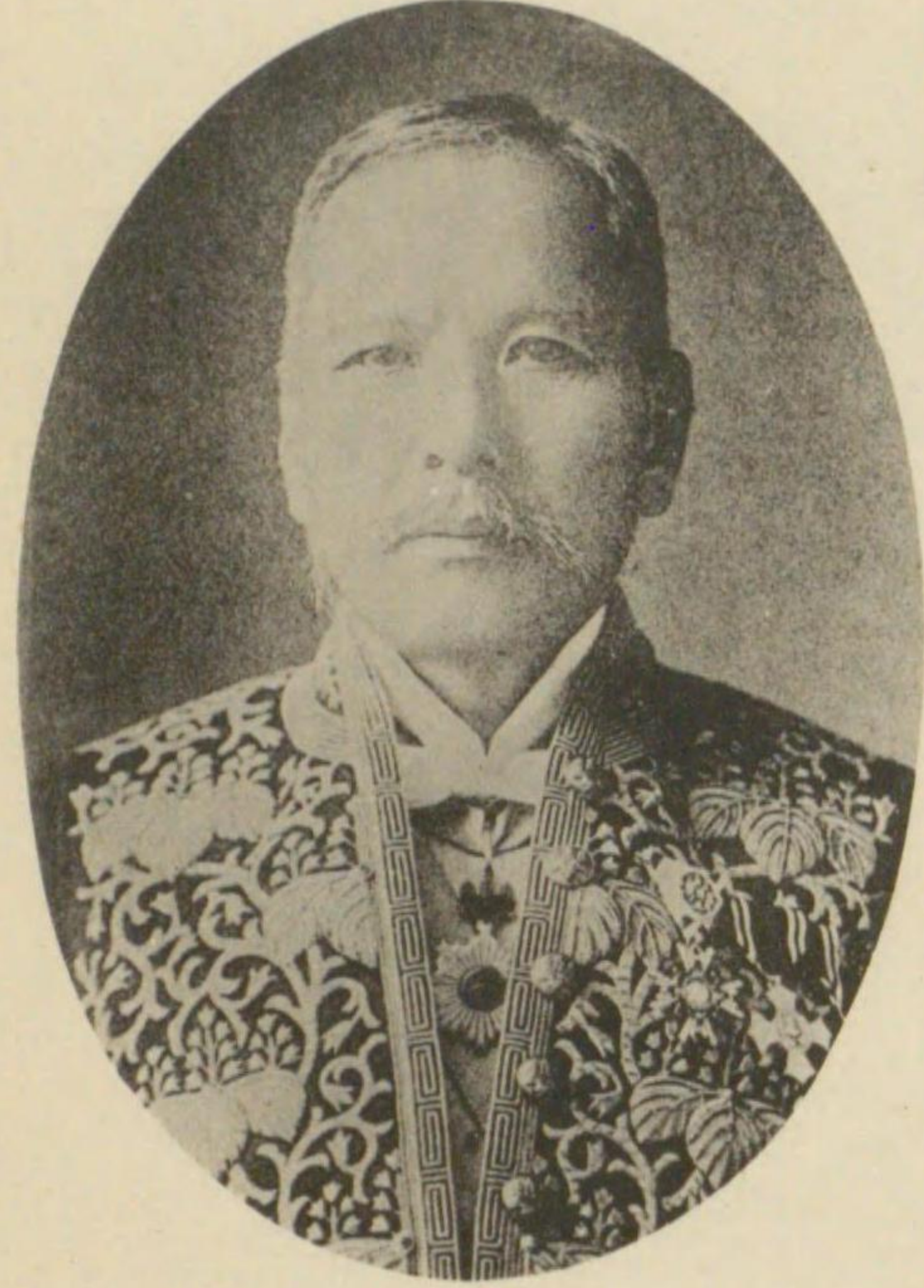
井 上 友 一



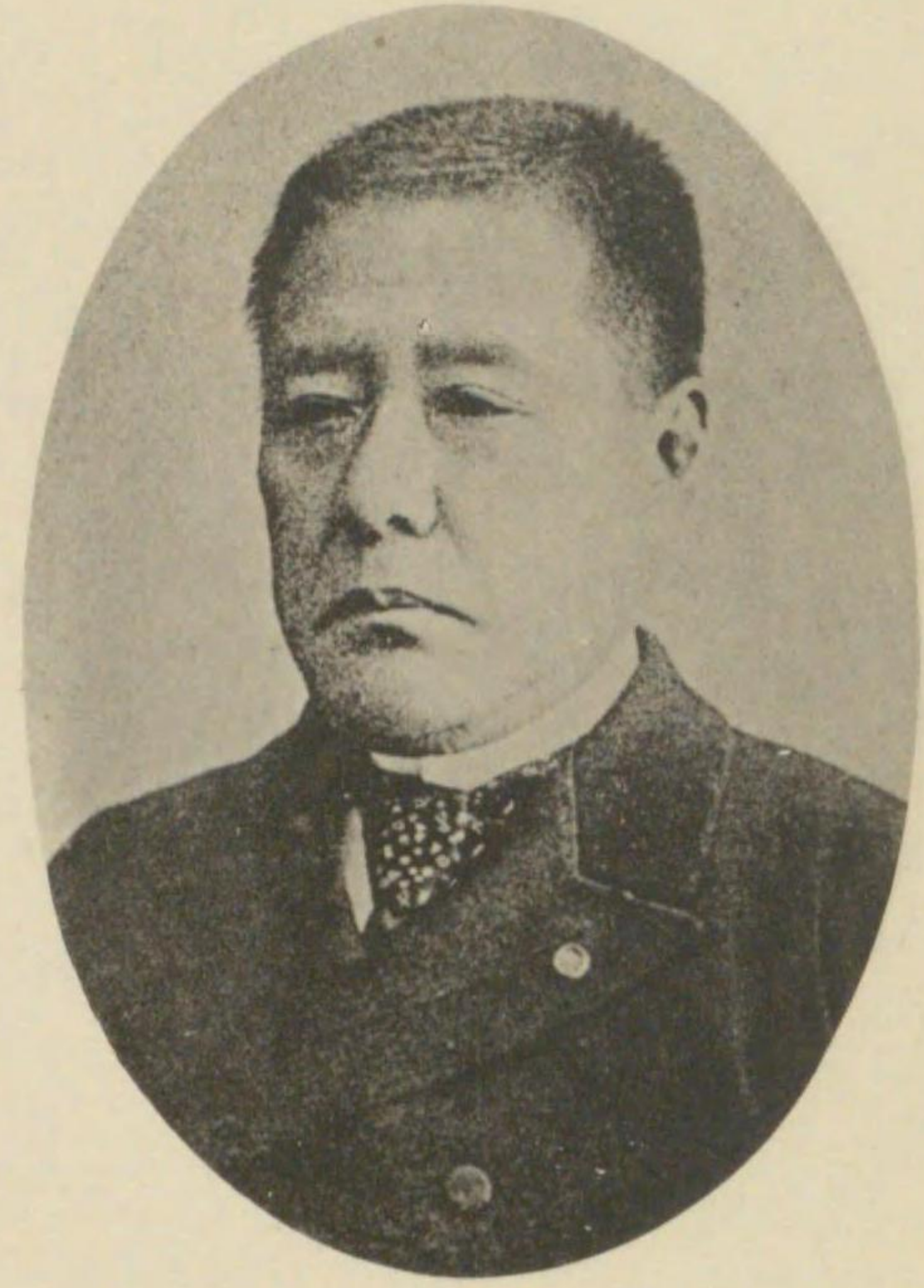
后 像 昭







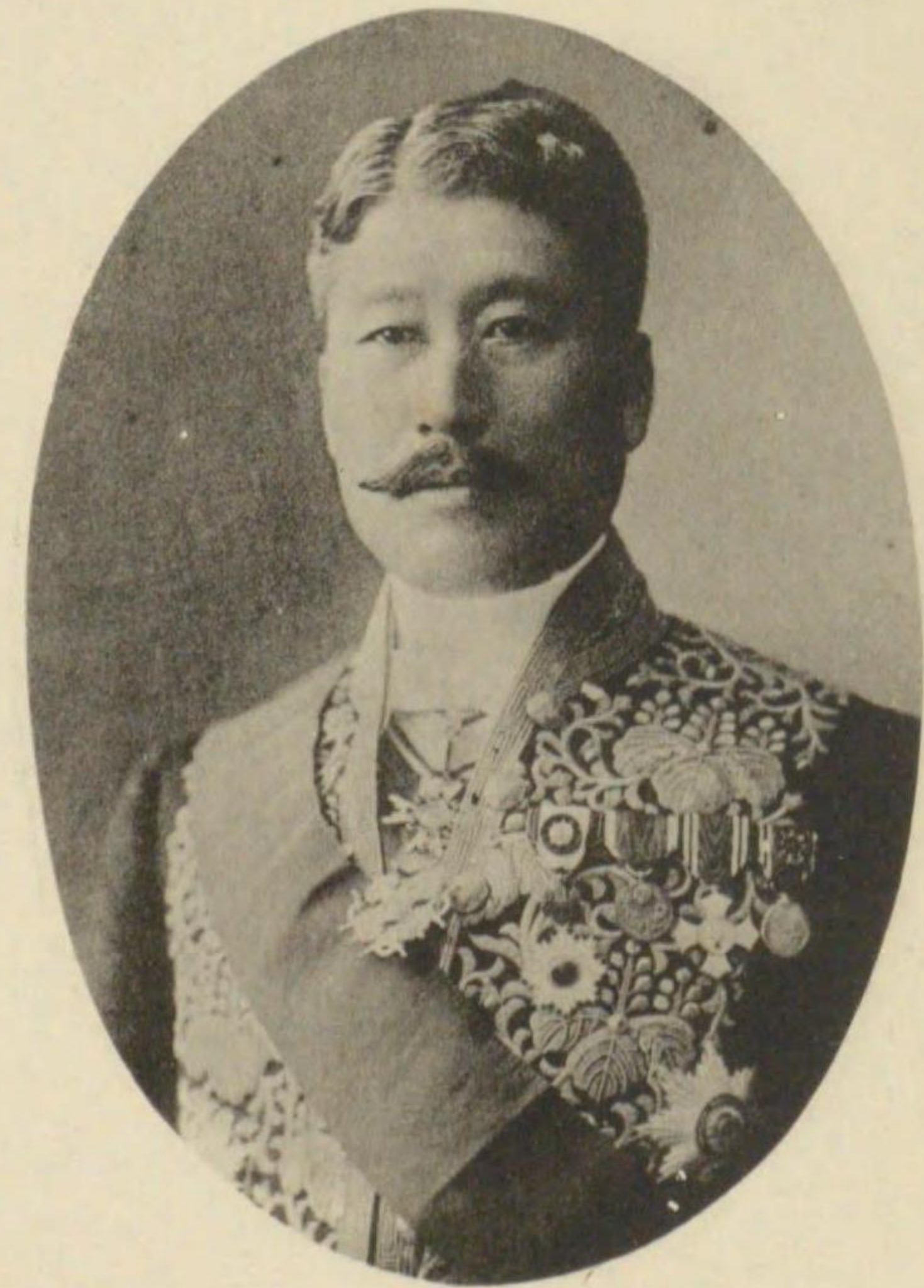
宗 像 政



阿 部 浩



井 上 友 一



久 保 田 政 周





平塚廣義



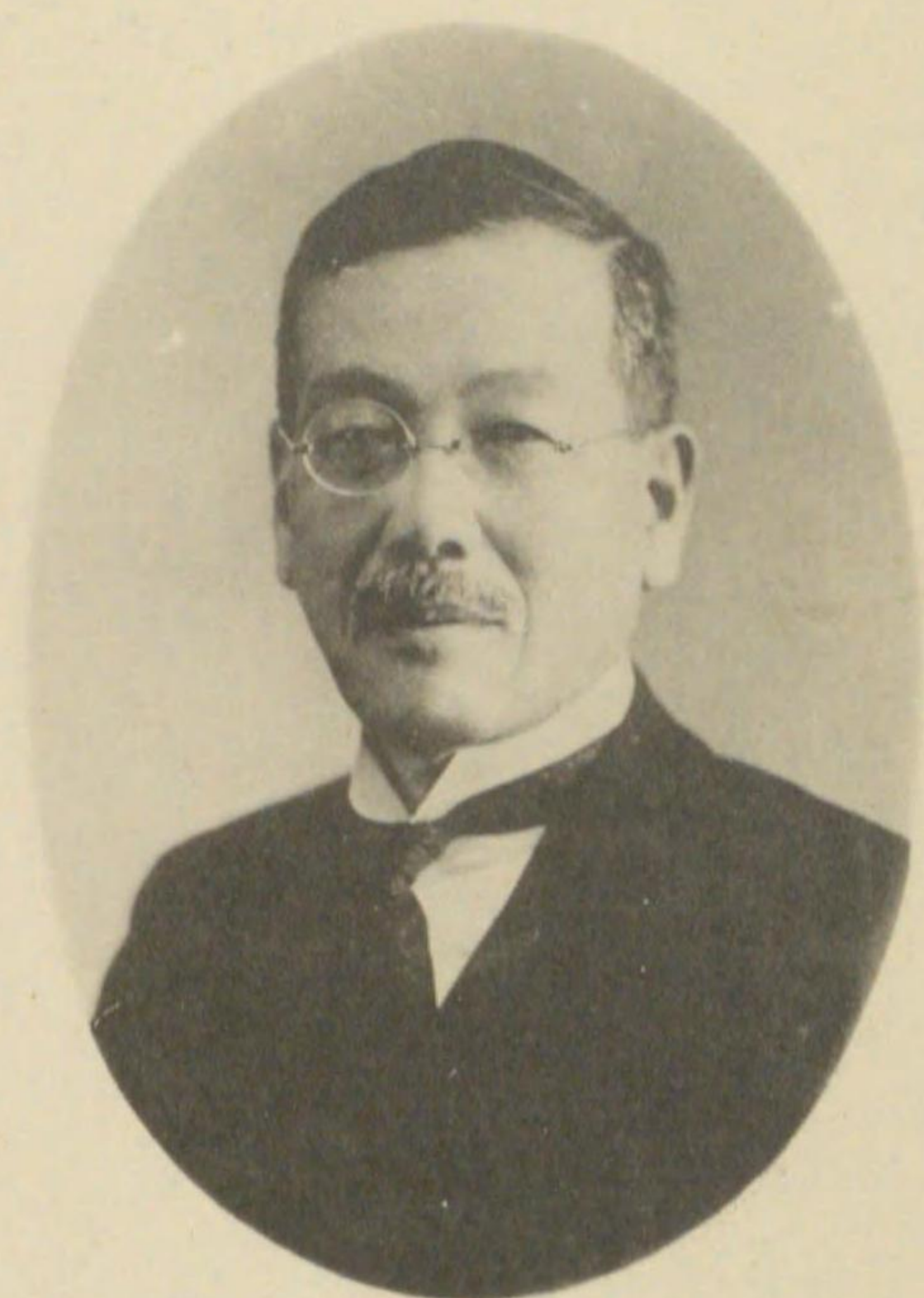
平佐美勝夫







平塚廣義



宇佐美勝夫



歷代府會議長



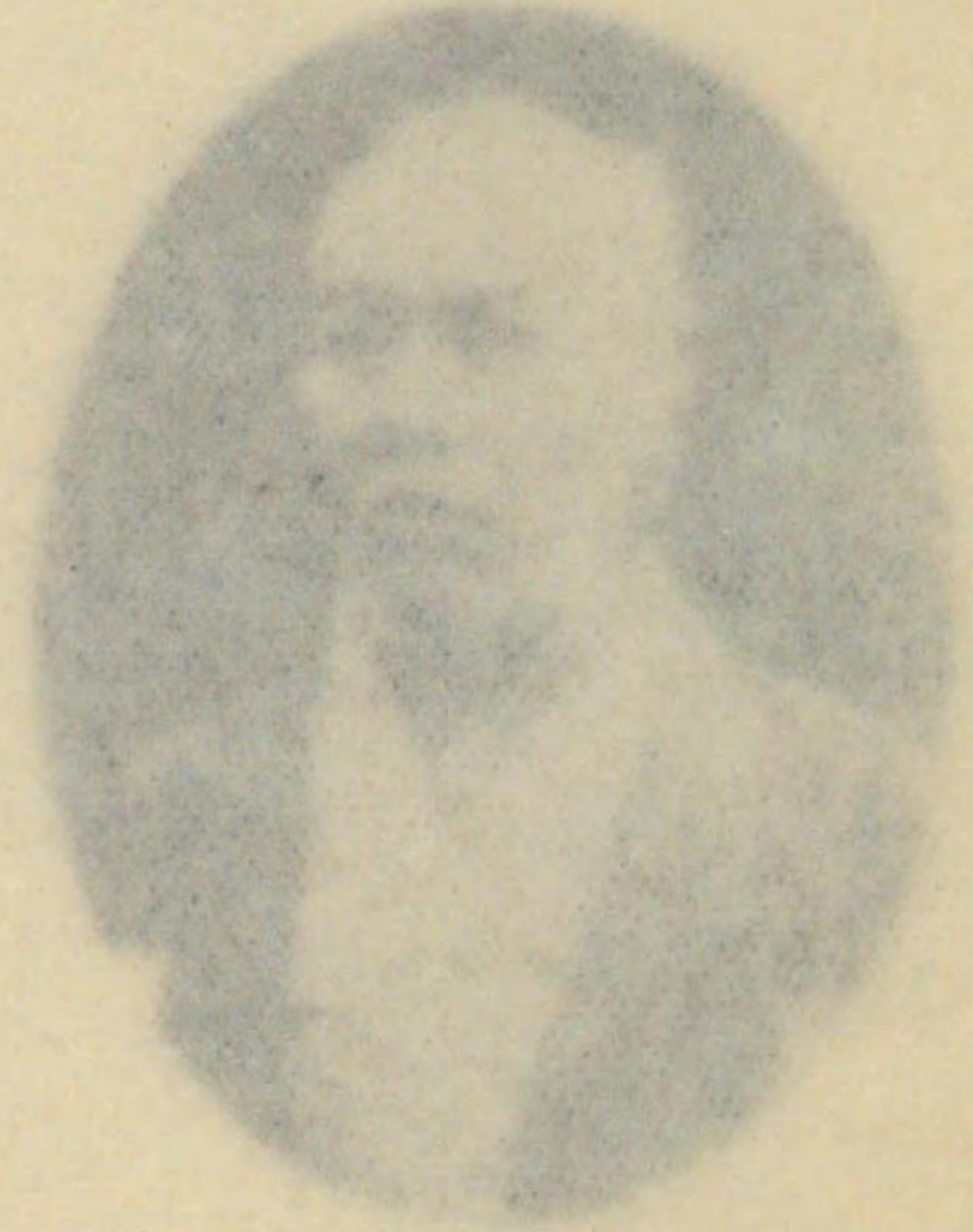
第一府會議長



第二府會議長



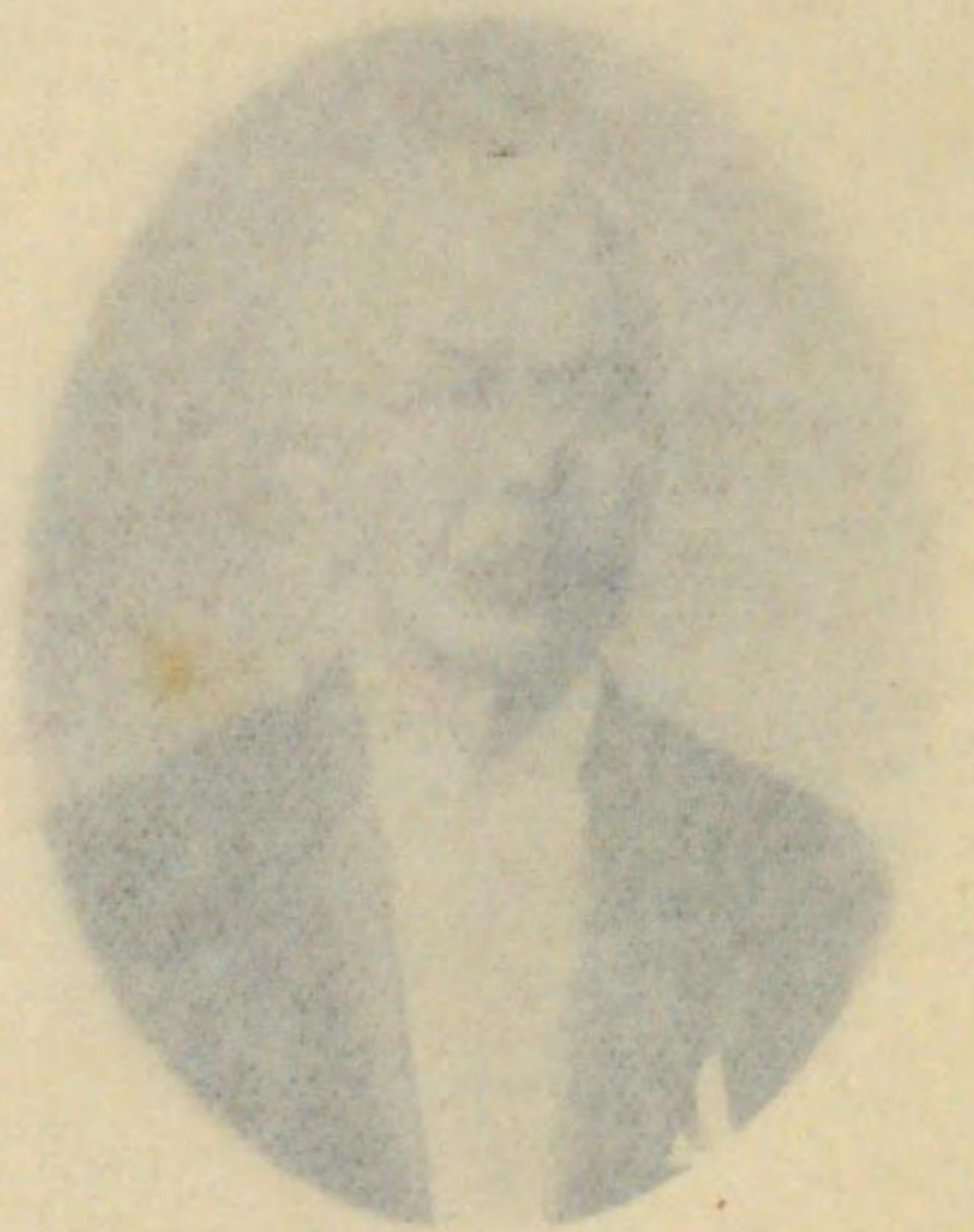
第三府會議長



第四府會議長



第五府會議長  
原榮三郎



第六府會議長  
藤孝治







沼間守一



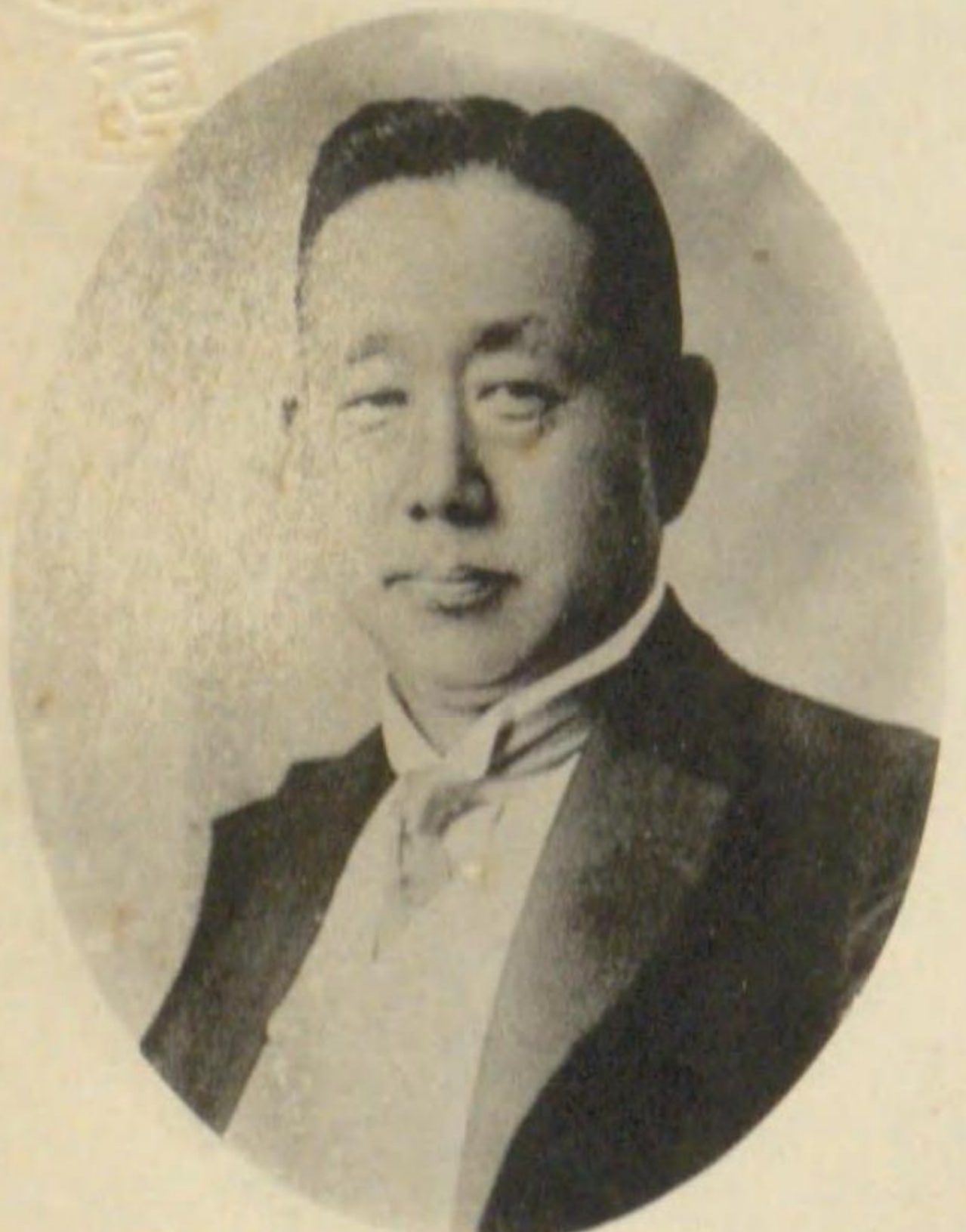
福地源一郎



須藤時一郎



芳野世經



杉原榮三郎



齋藤孝治

昇  
平  
會  
齋  
具





衛兵源井花



秦井酒



男賤野牧



郎三正江堀



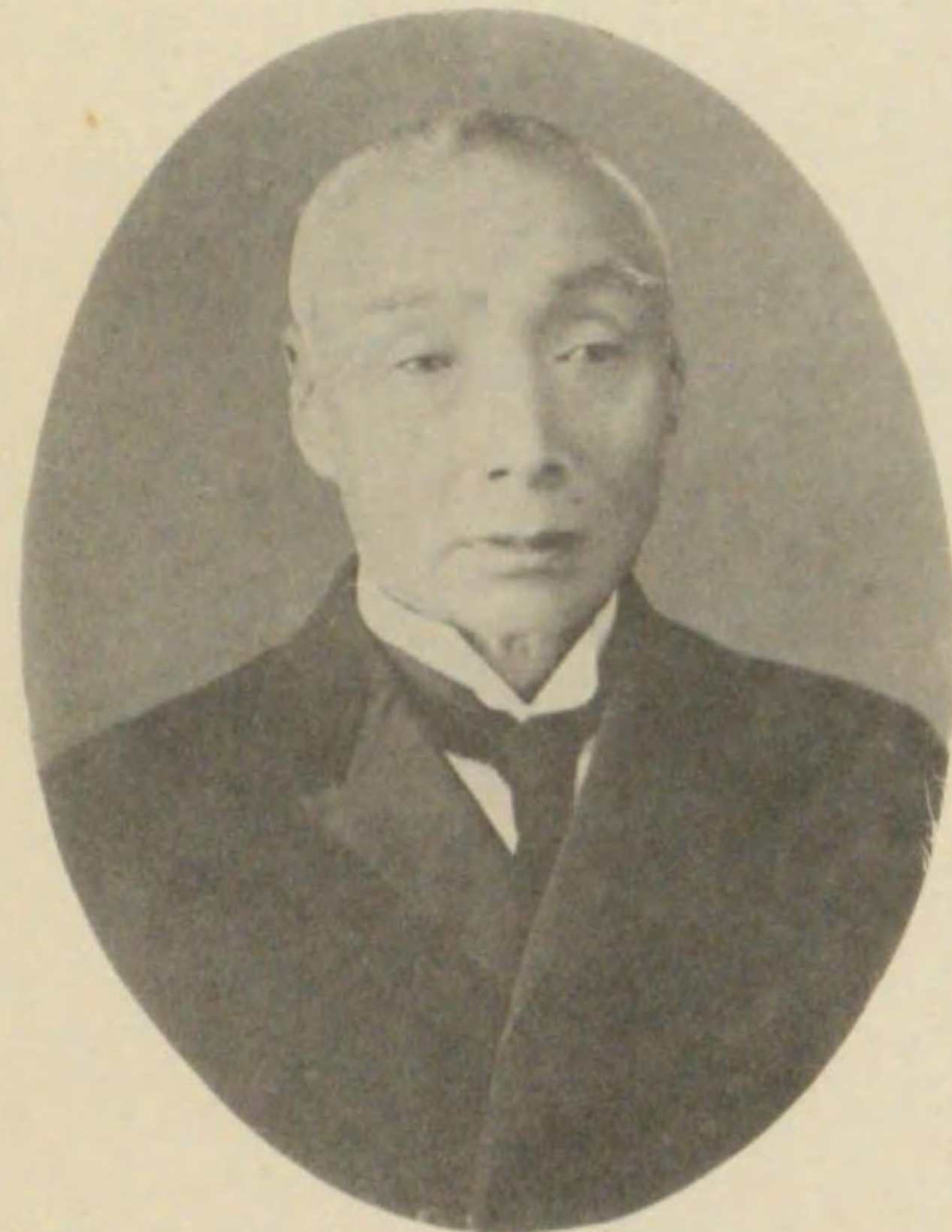
保石大



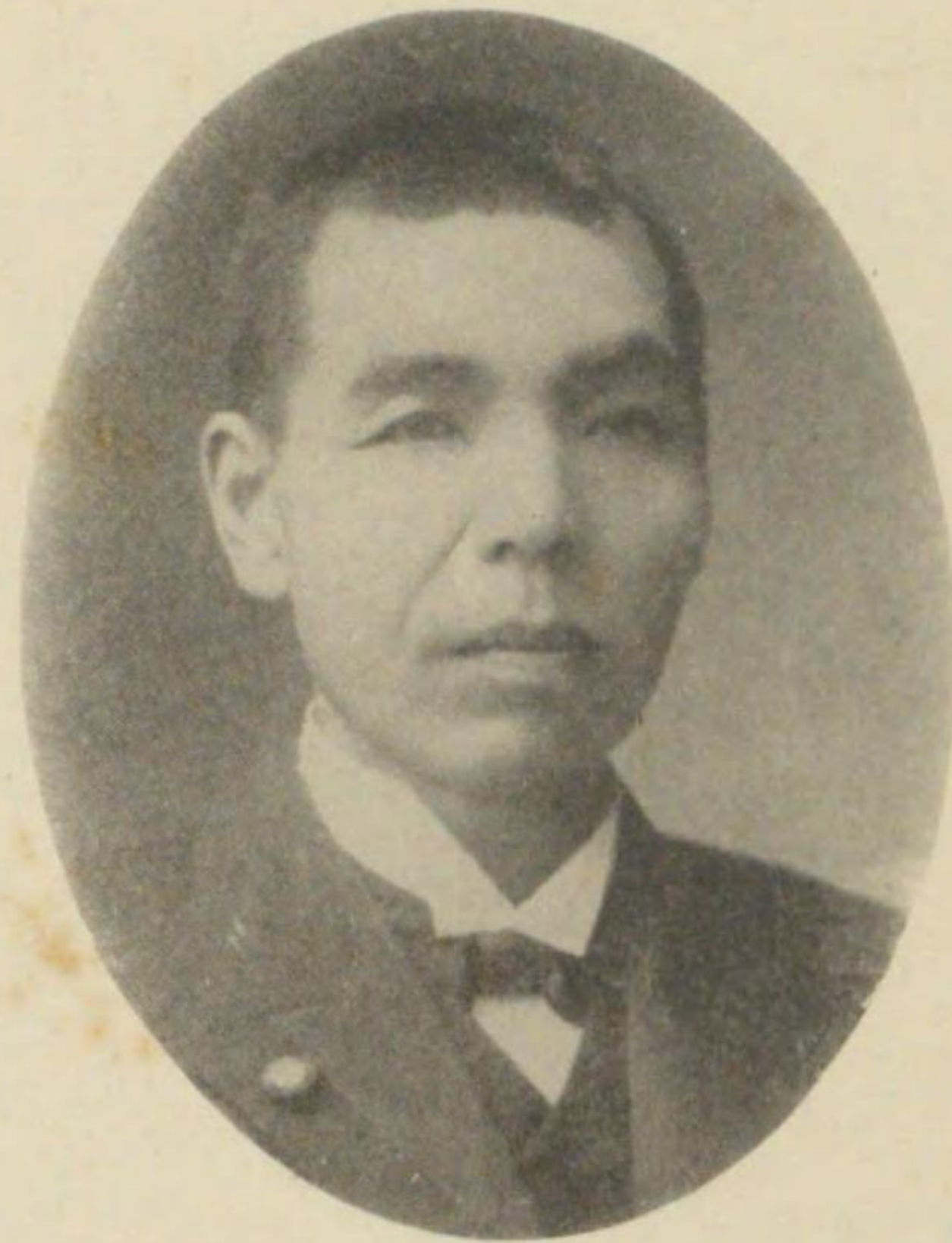
吉鼓野矢



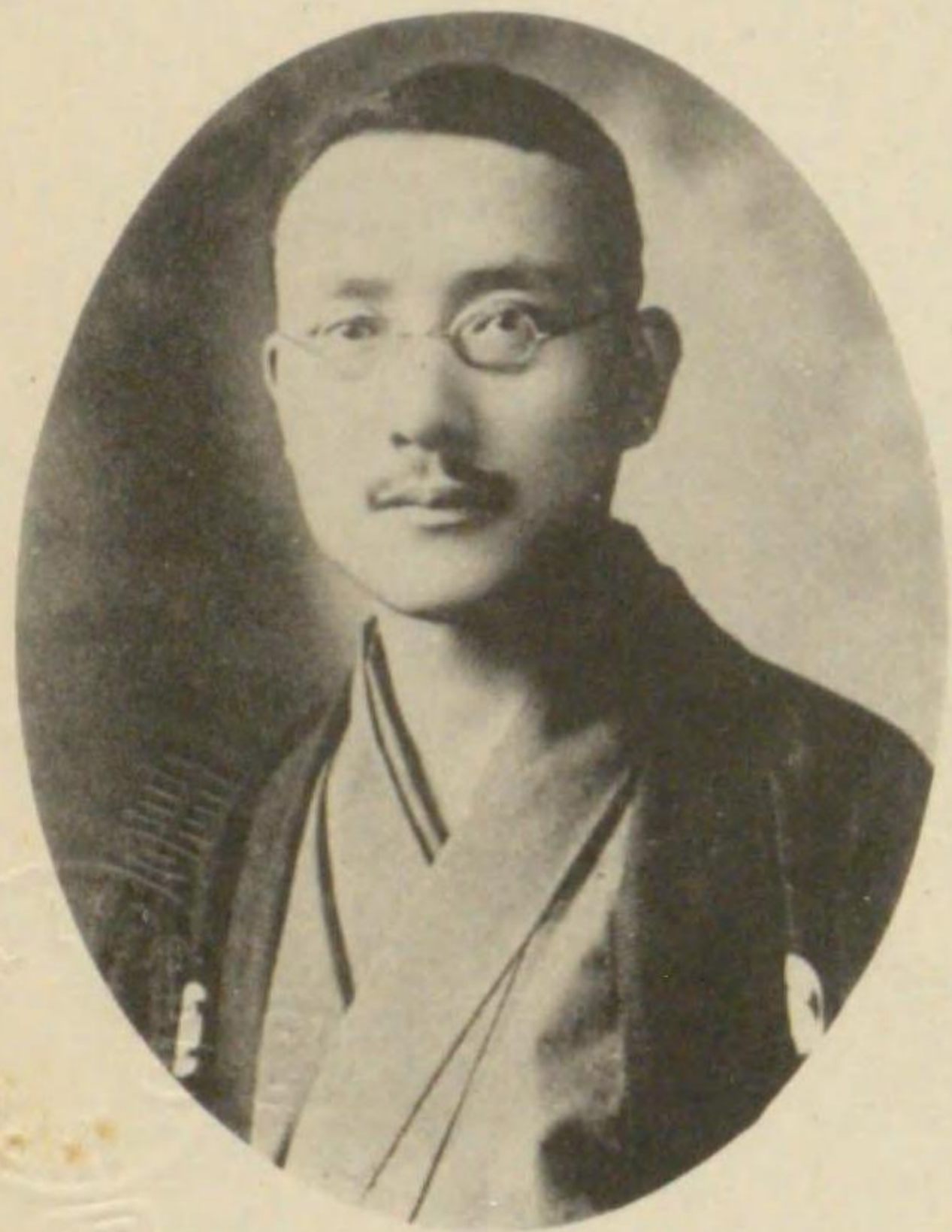




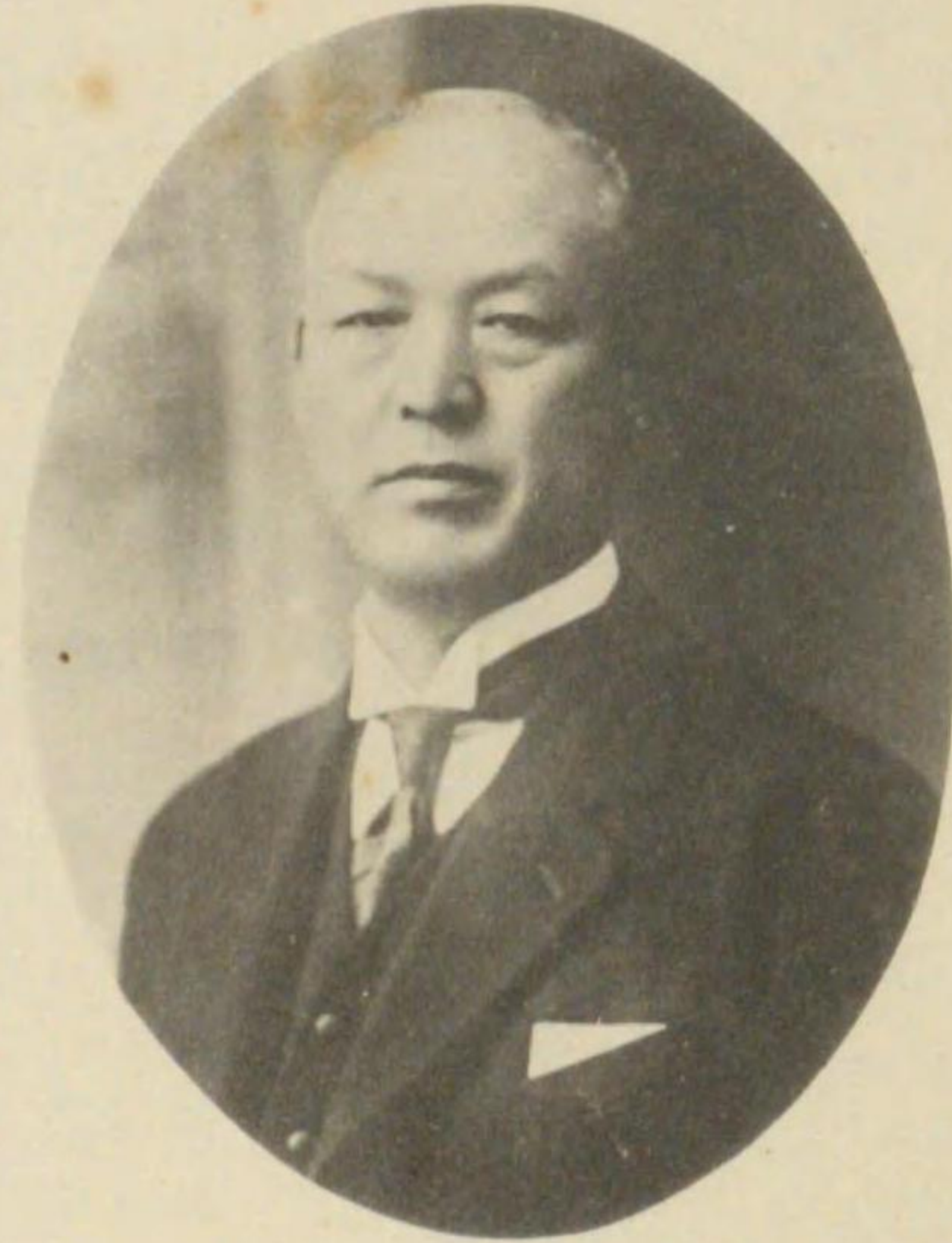
花井源衛兵



酒井泰



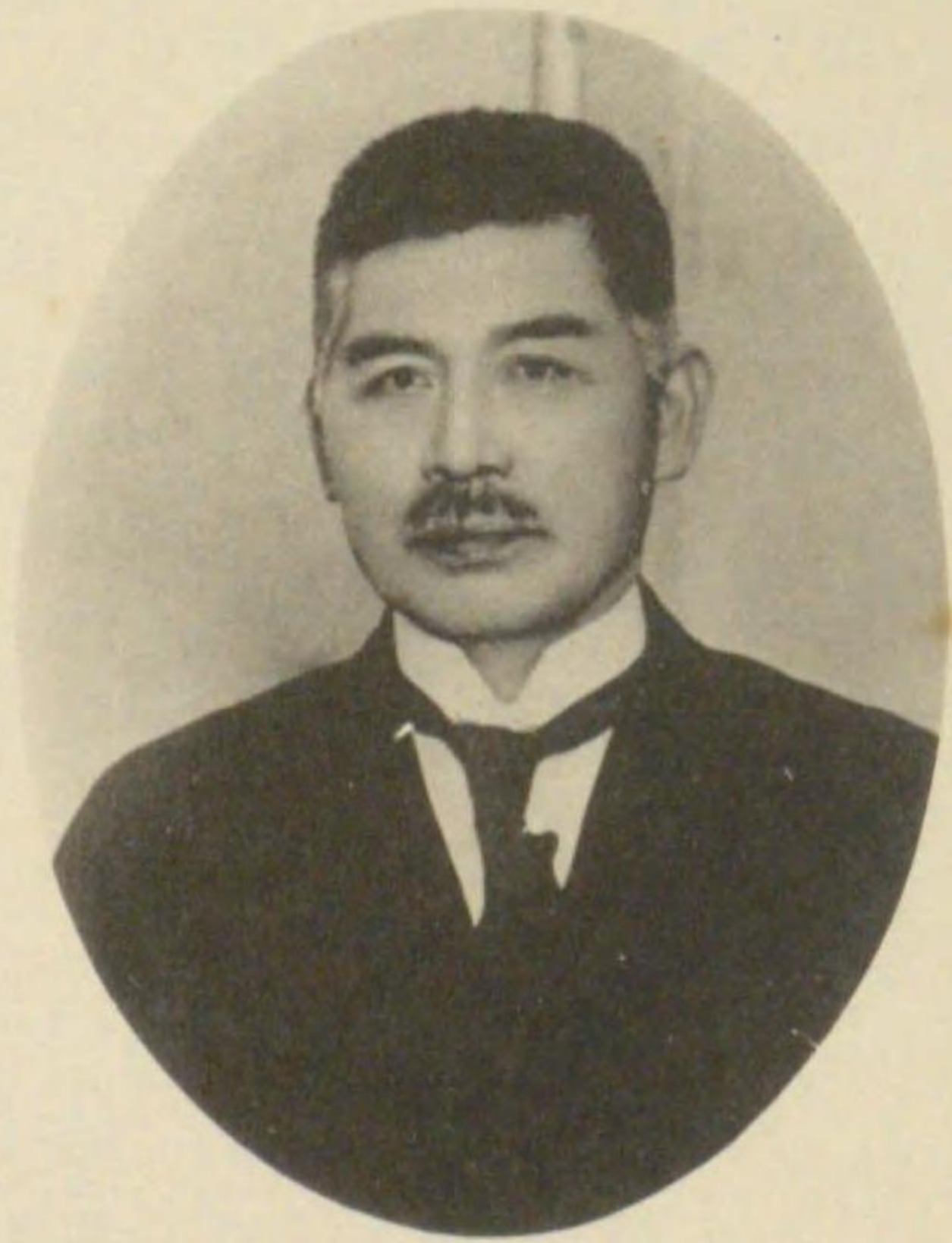
牧野賤男



堀江正三郎



大石保



矢野鉦吉





片山久藏



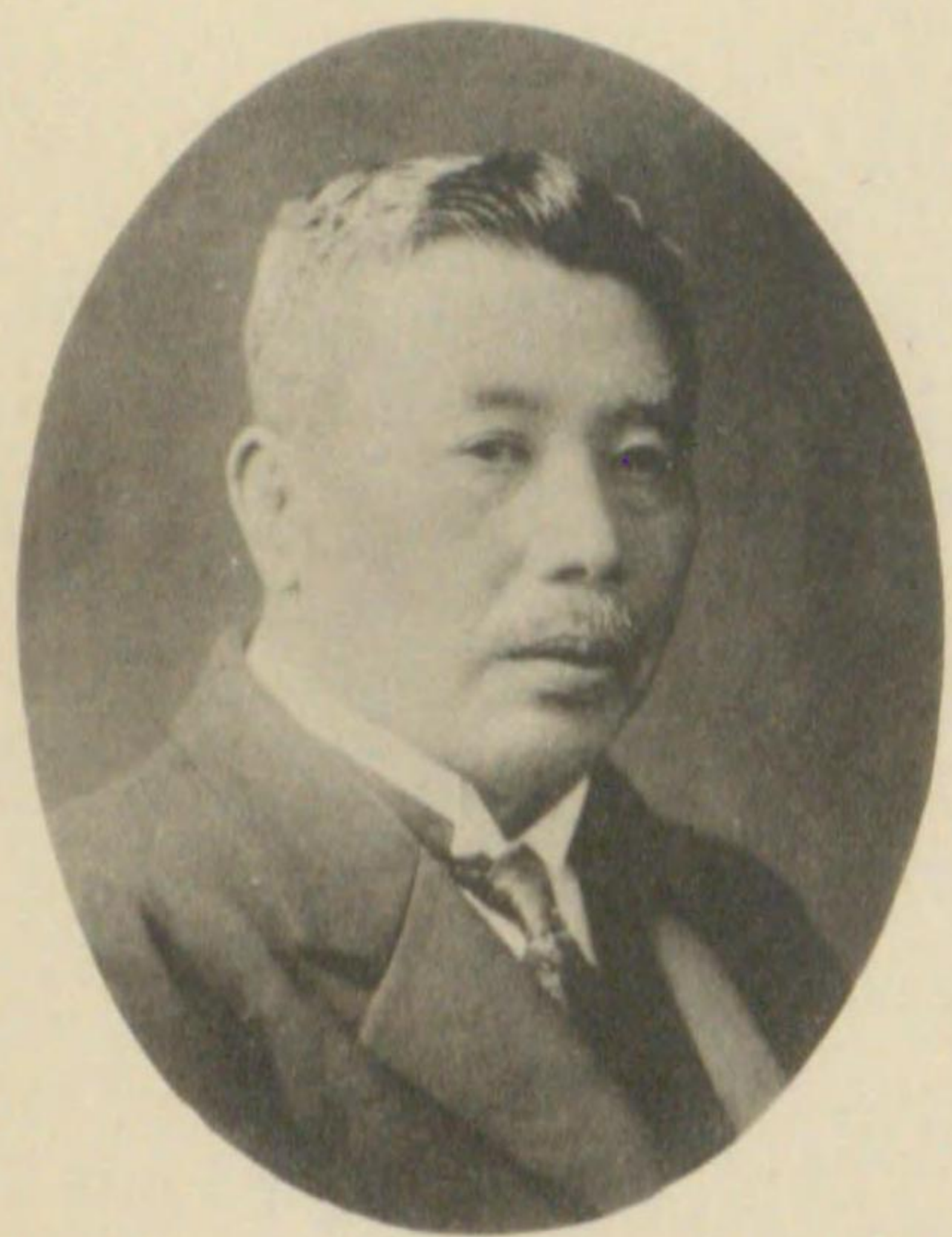
中村清正



赤塚五郎







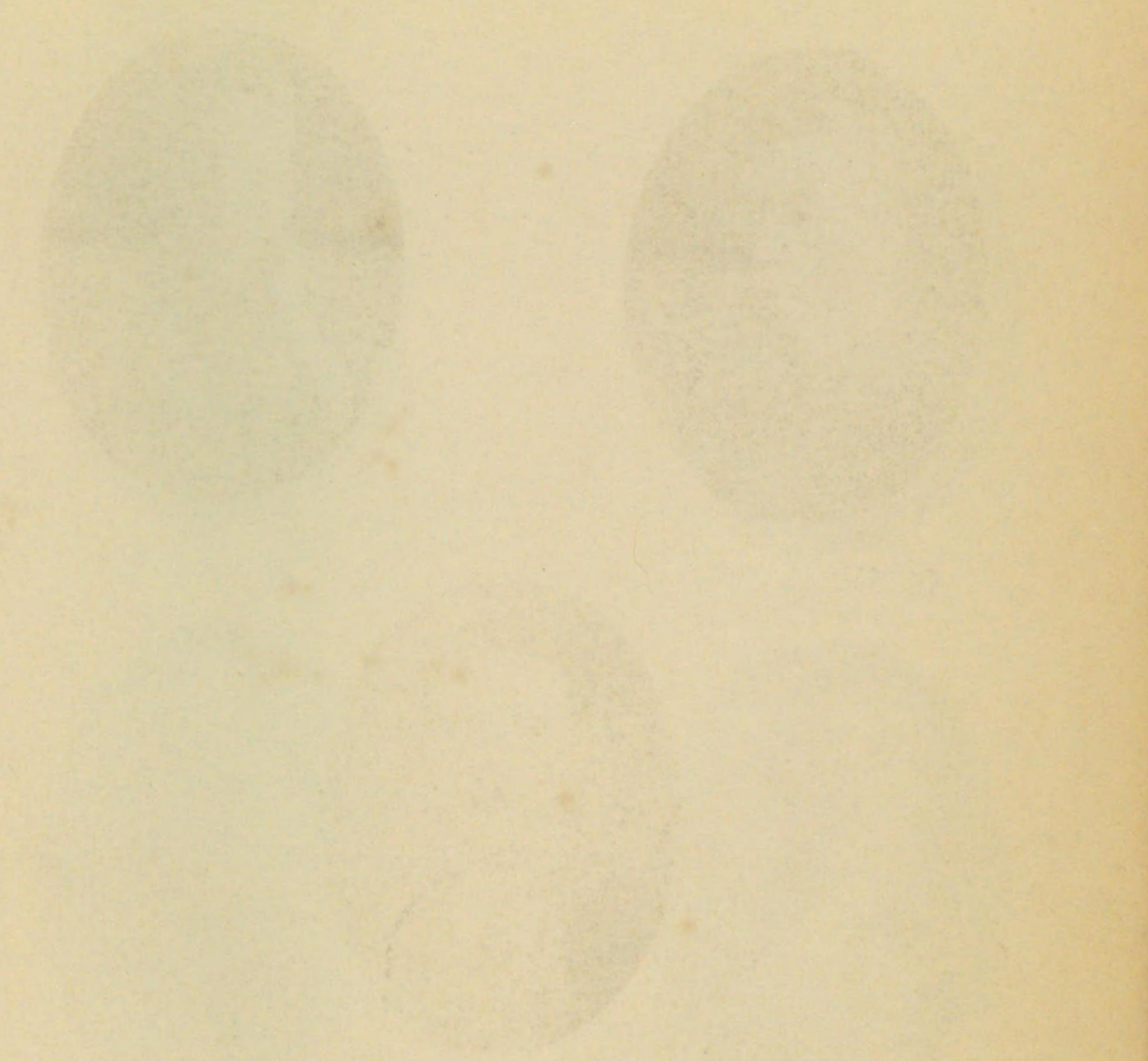
片山久藏



中野勇治郎

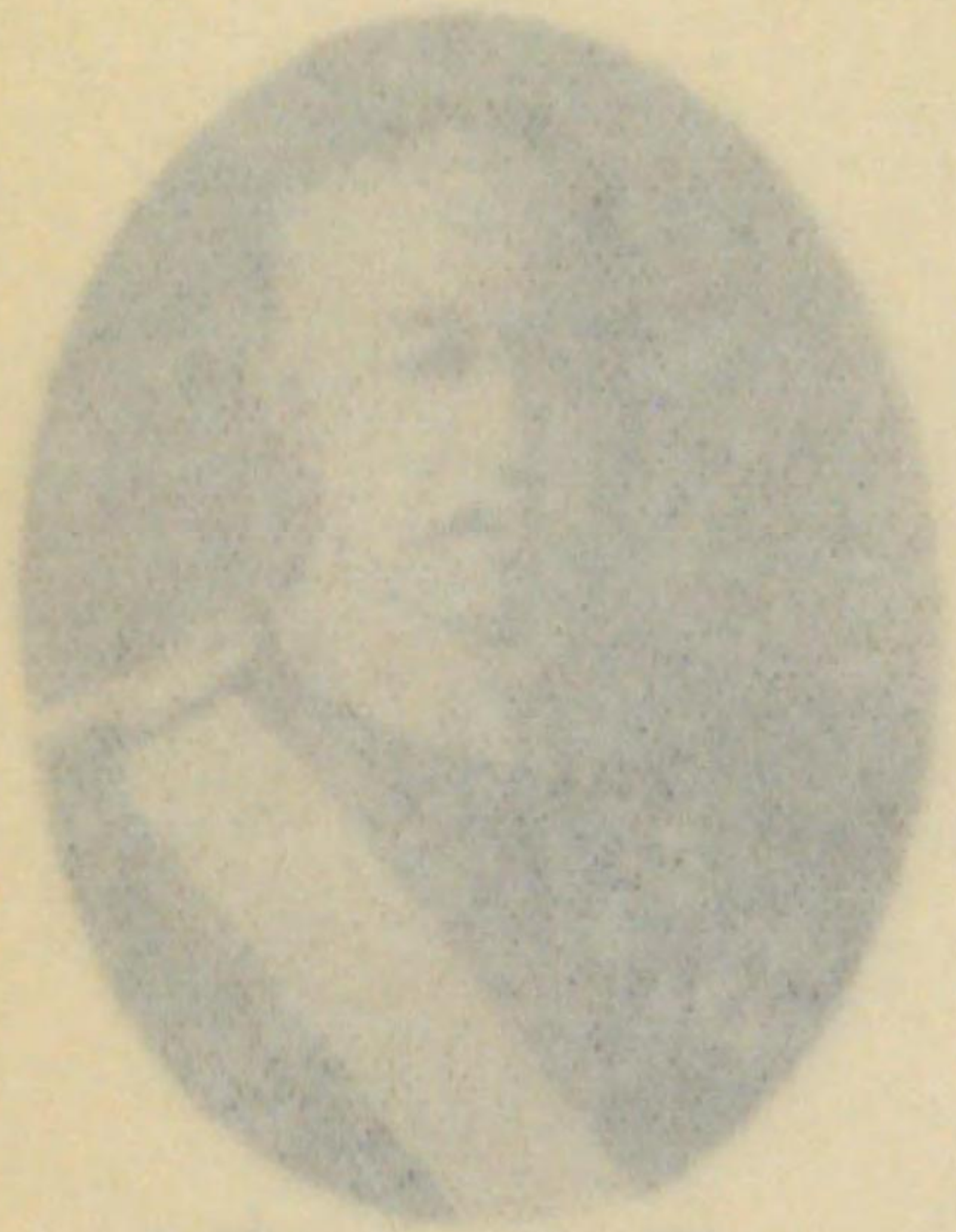


赤塚五郎





歷代府會副議長



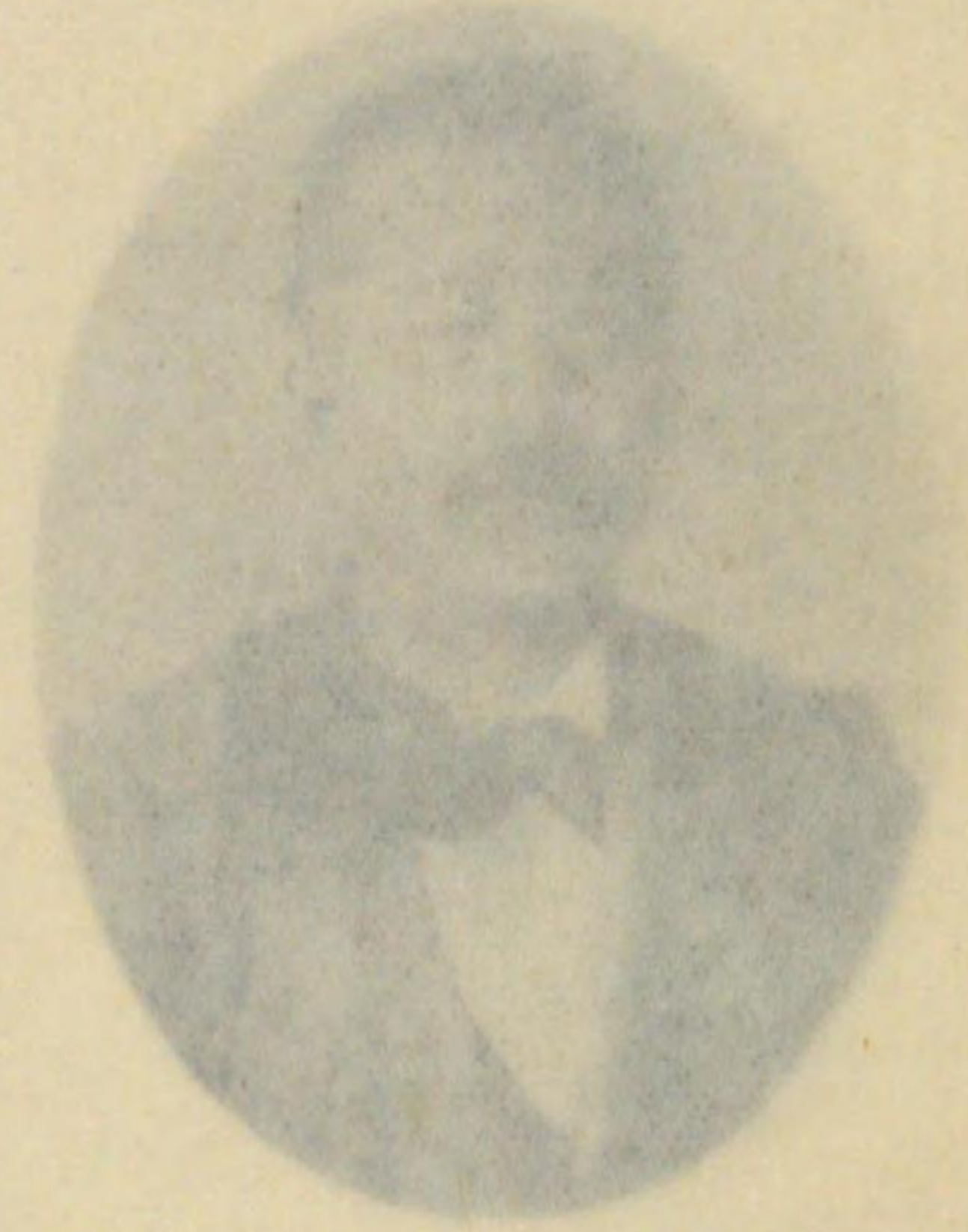
菅 正 隆



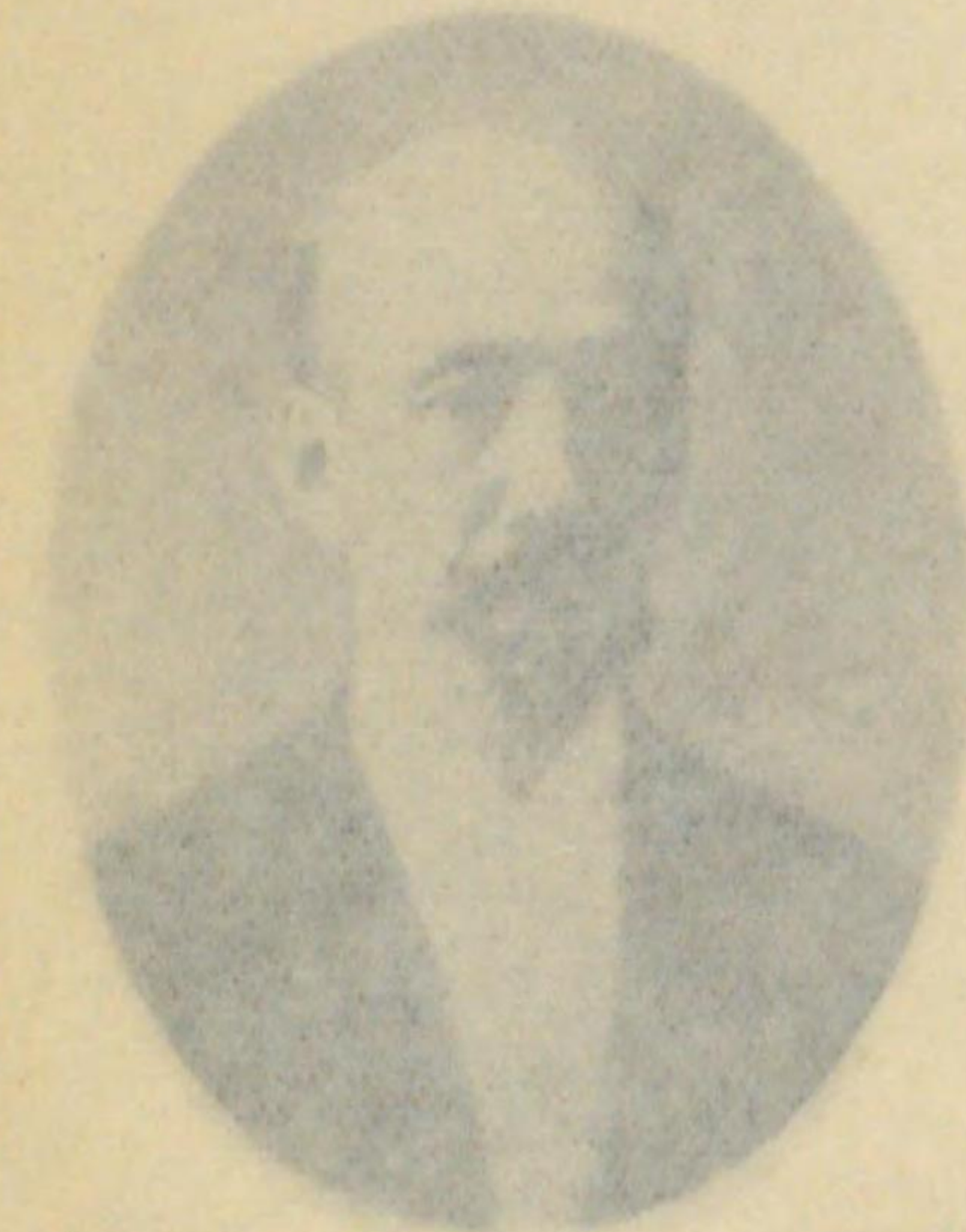
吉 野 源 一



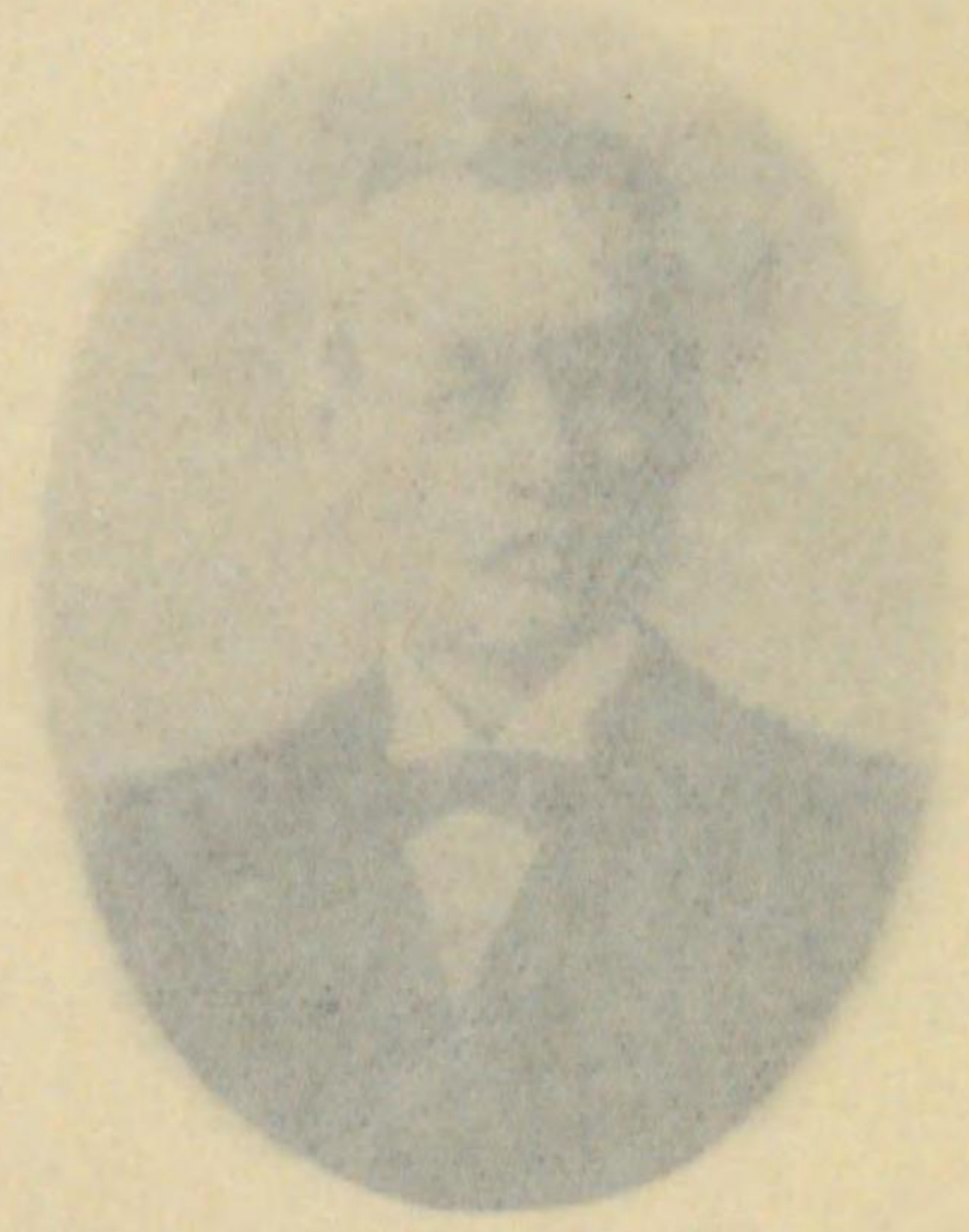
平 眞 田 角



吉 野 源 一



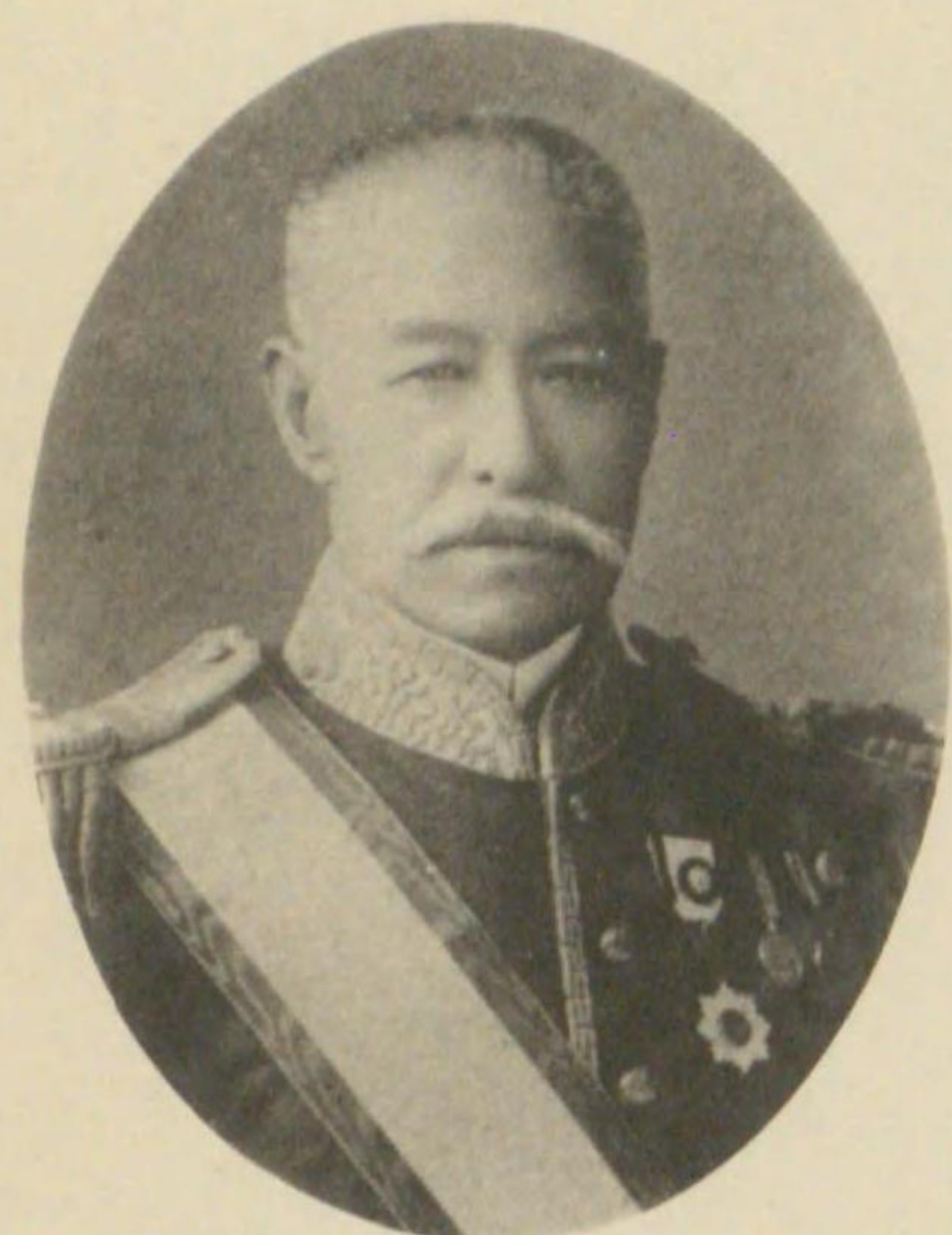
英 杉 仁



雄 秀 田 松







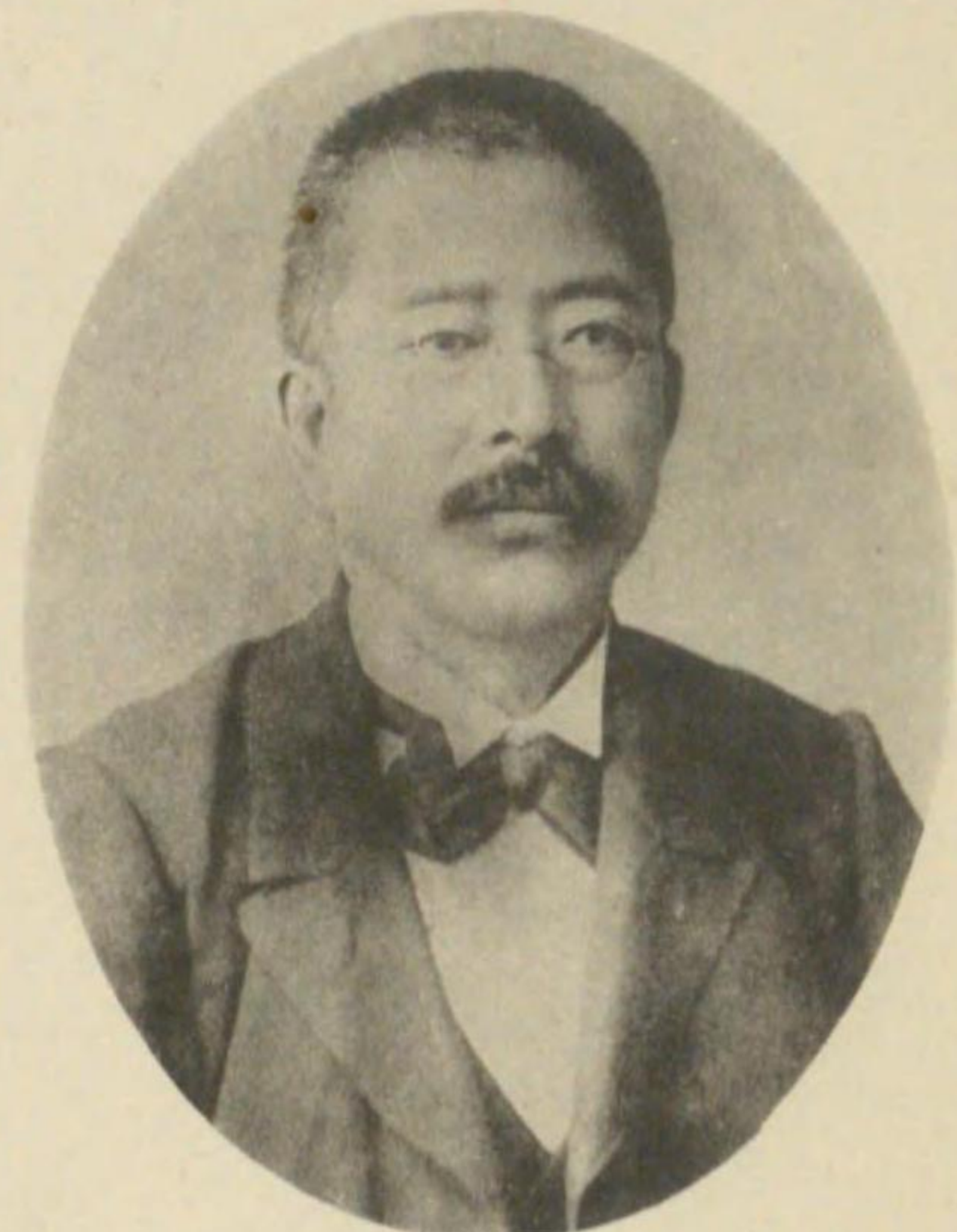
田堀正



福澤諭吉



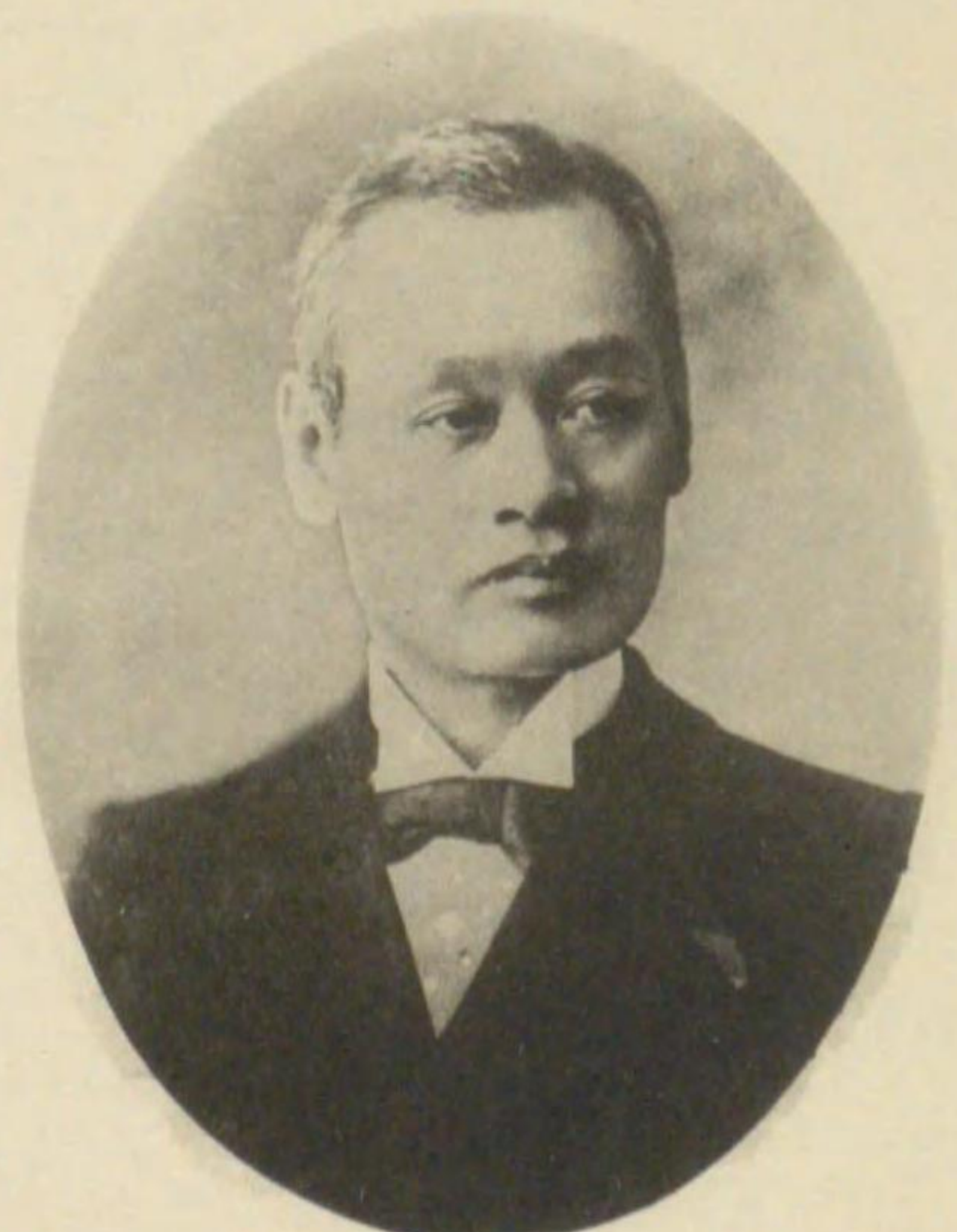
角田眞平



田口卯吉



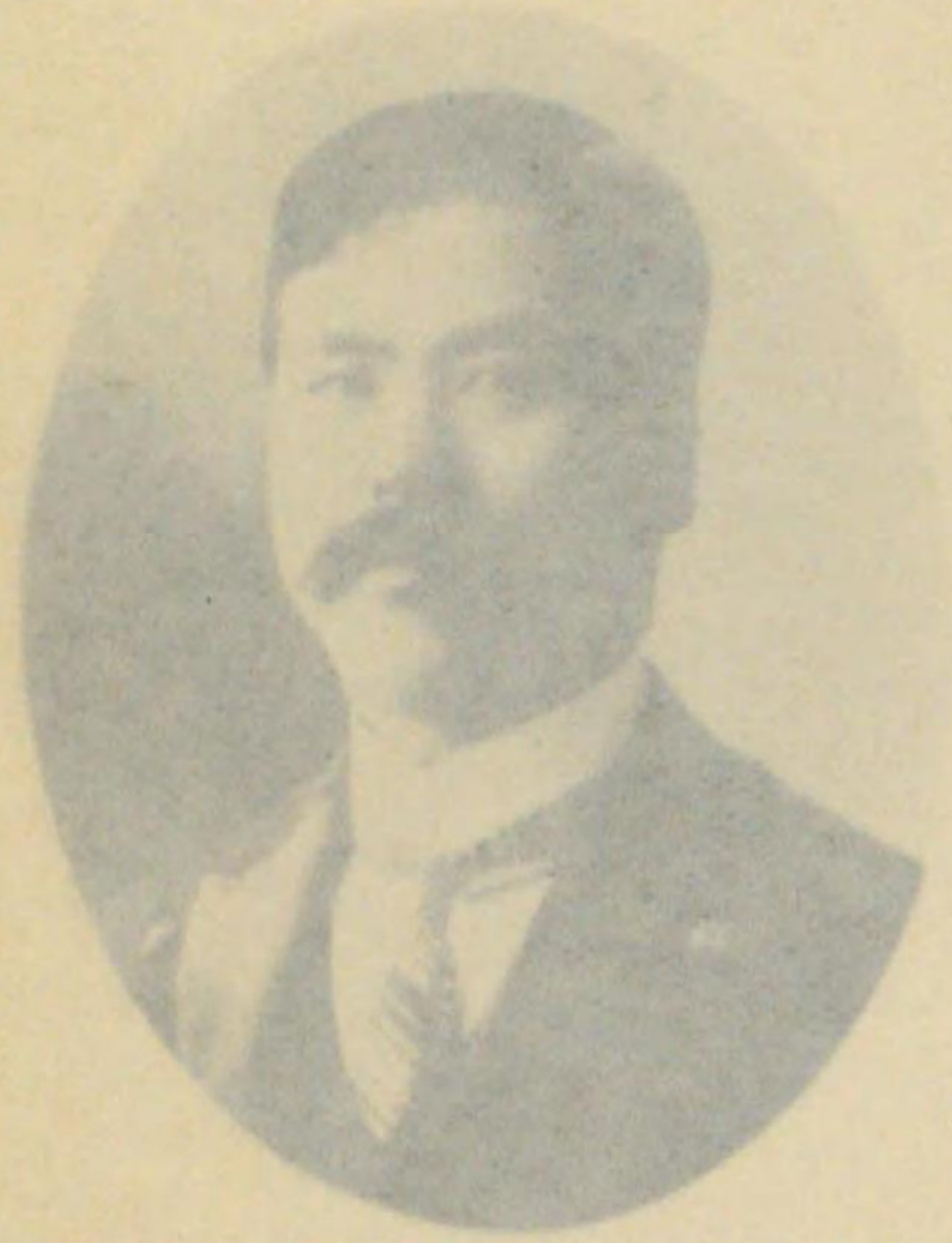
仁杉英



松田秀雄

魁升會臨齋





江間俊一



齋藤正造



小林一生



井上吉之助



小島官吾



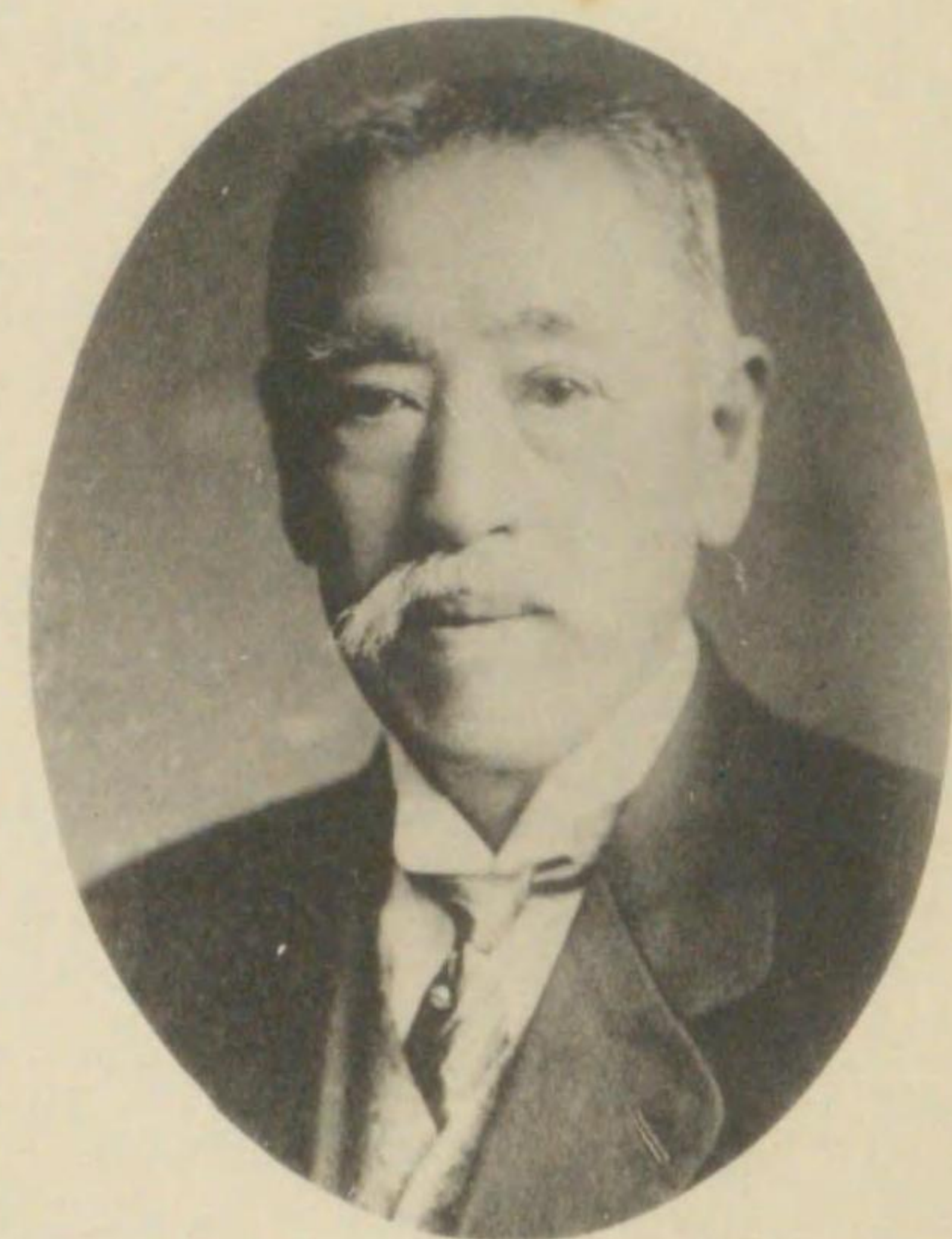
田村光顯







江間俊一



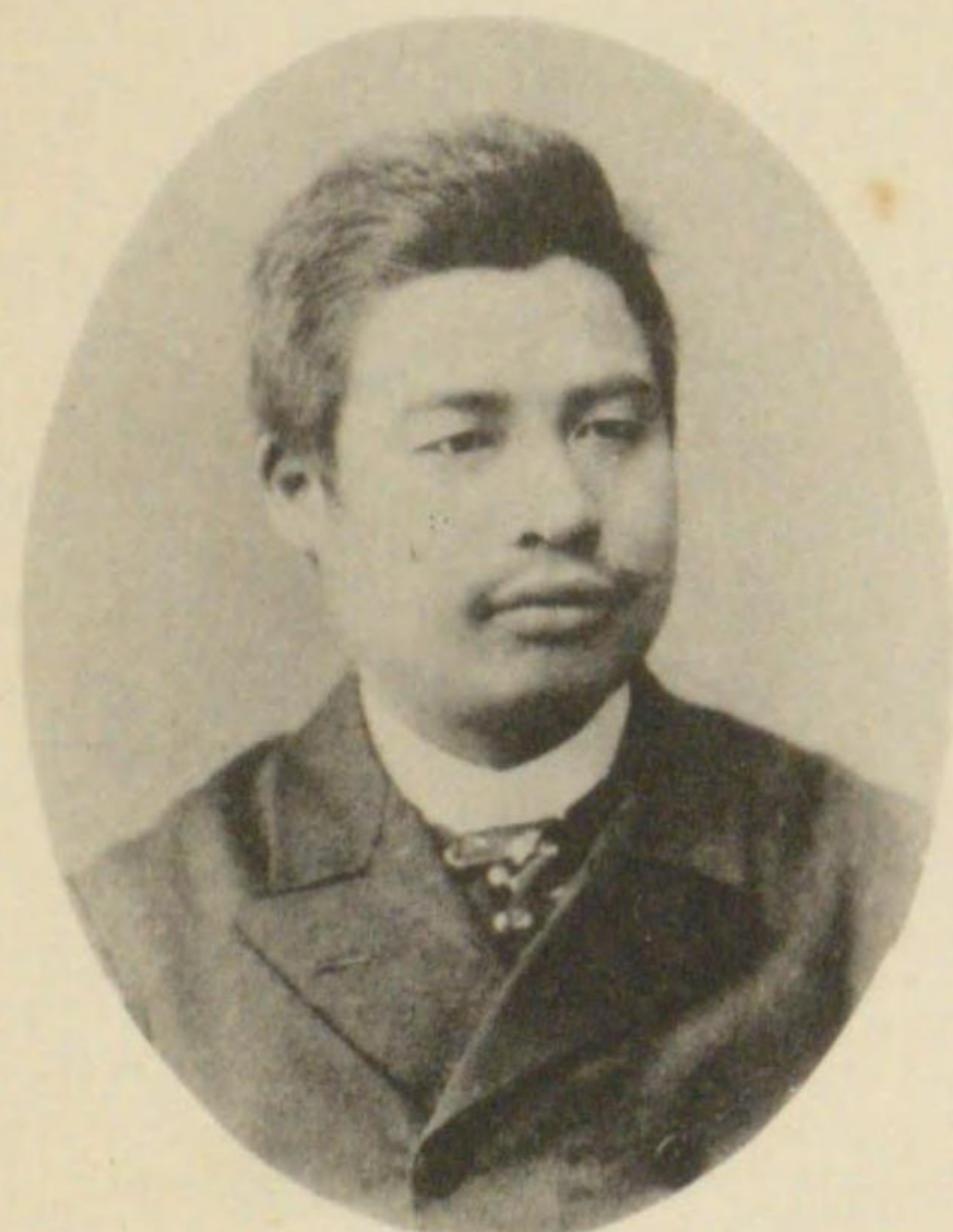
相澤喜兵衛



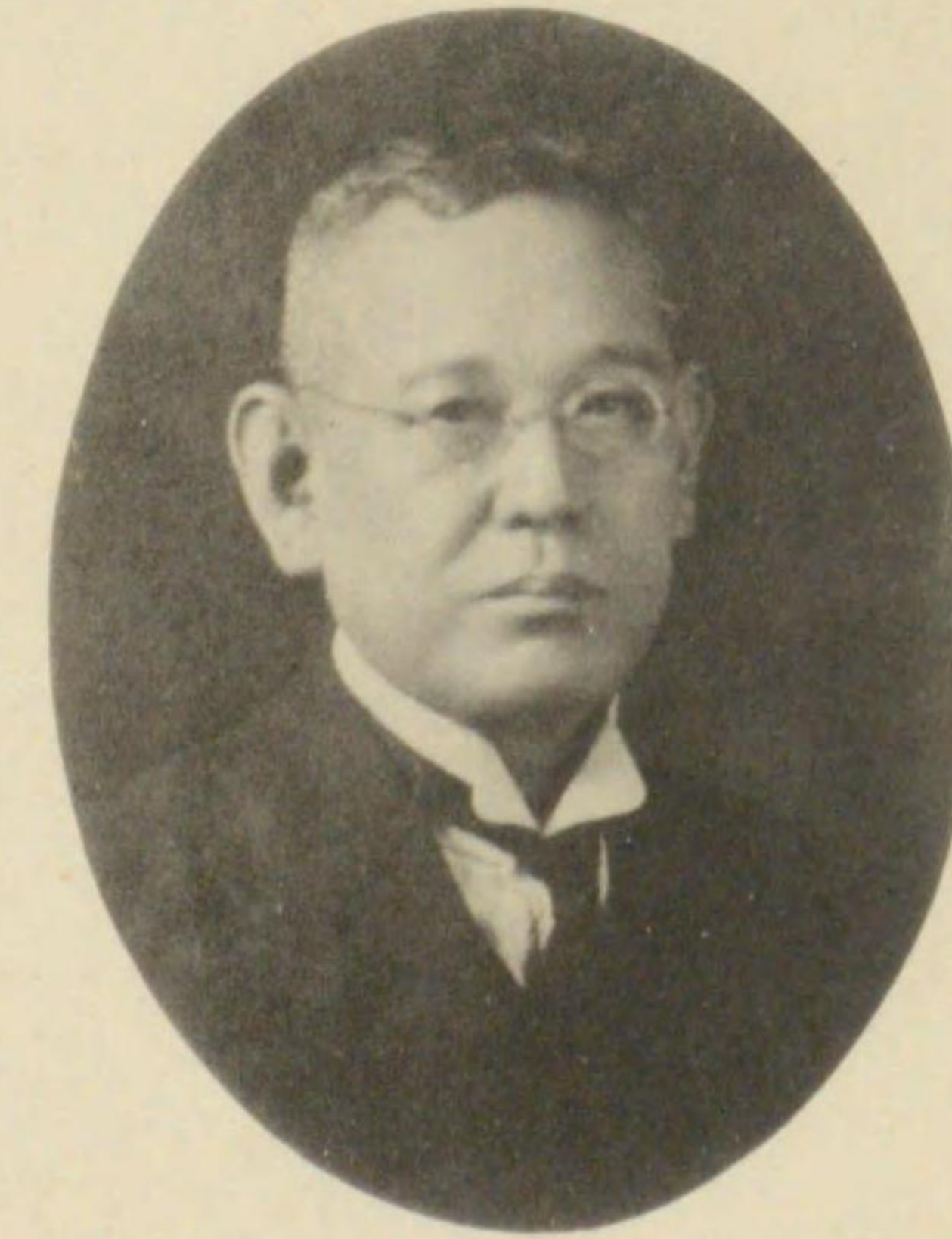
小林一生



井上吉之助



小島官吾

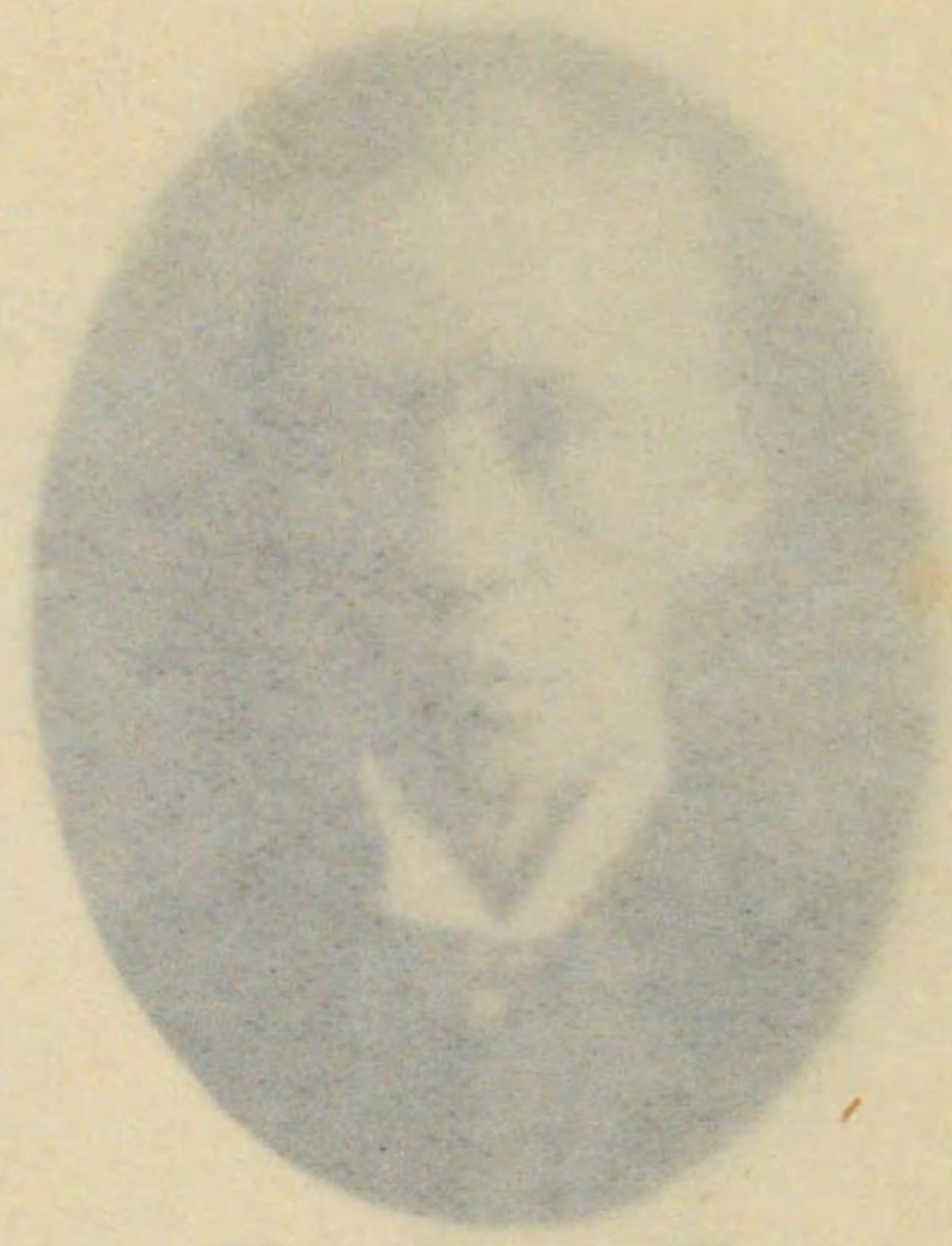


田村光顯

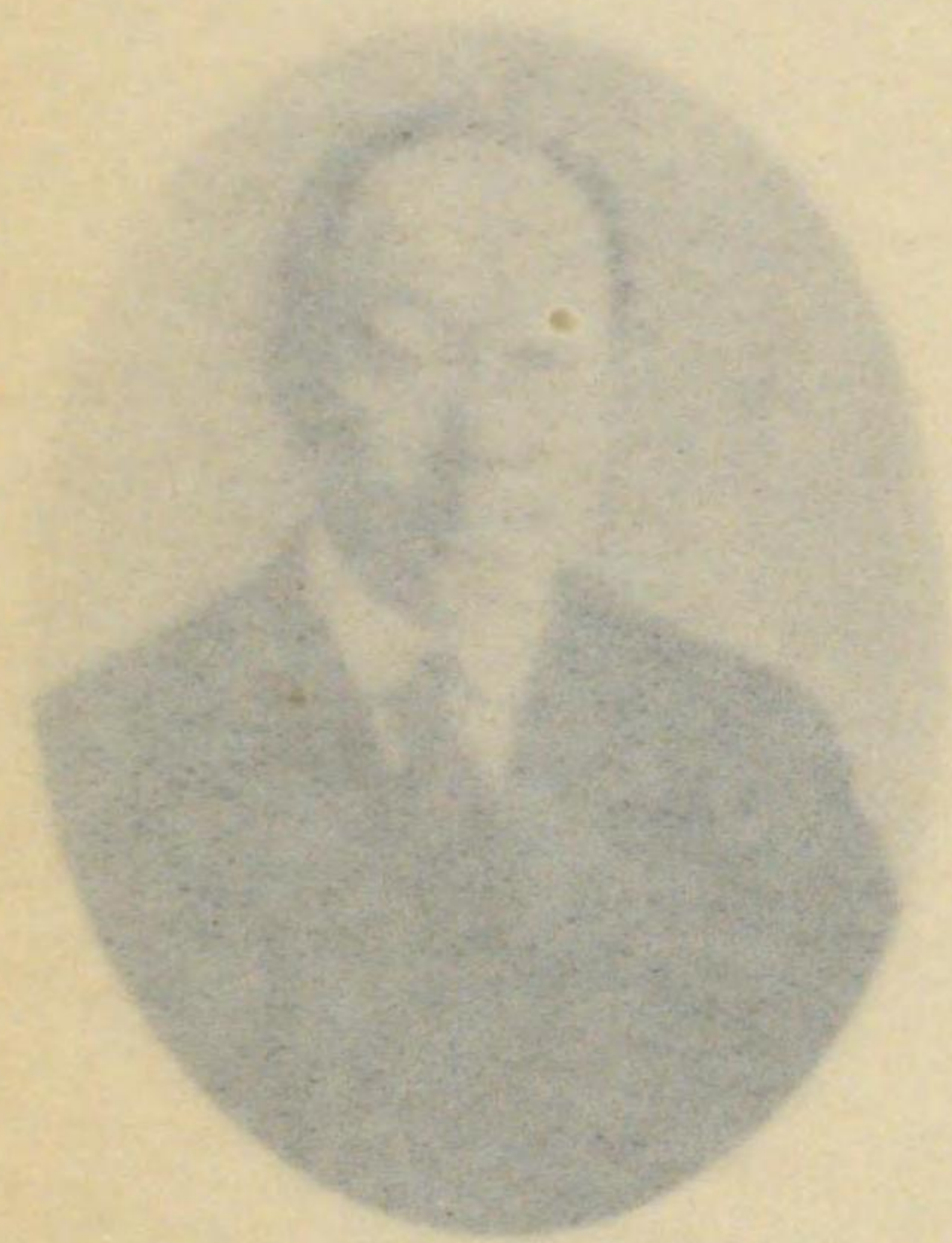




藤田 龍溪



源 祐



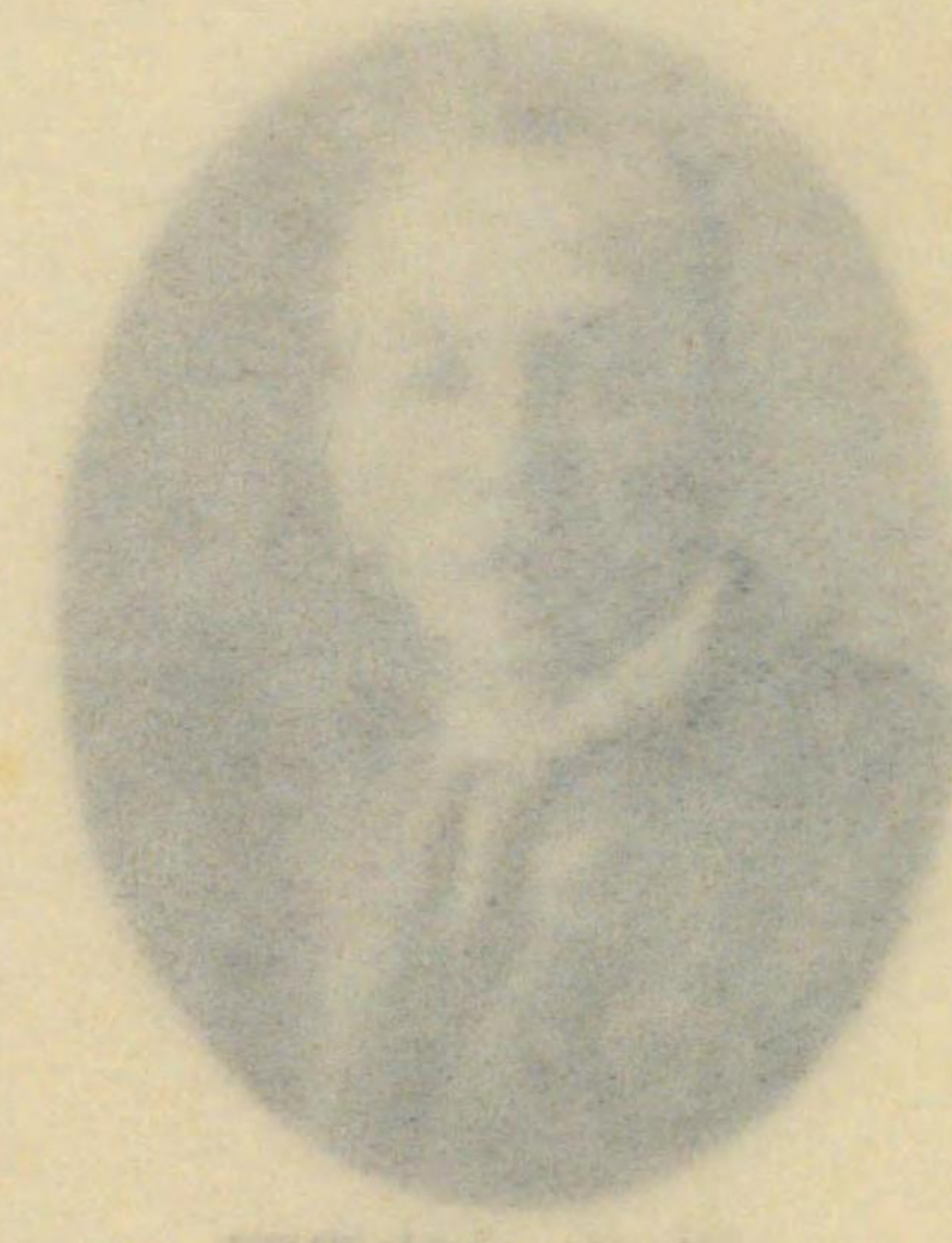
松見 文平



西 隆



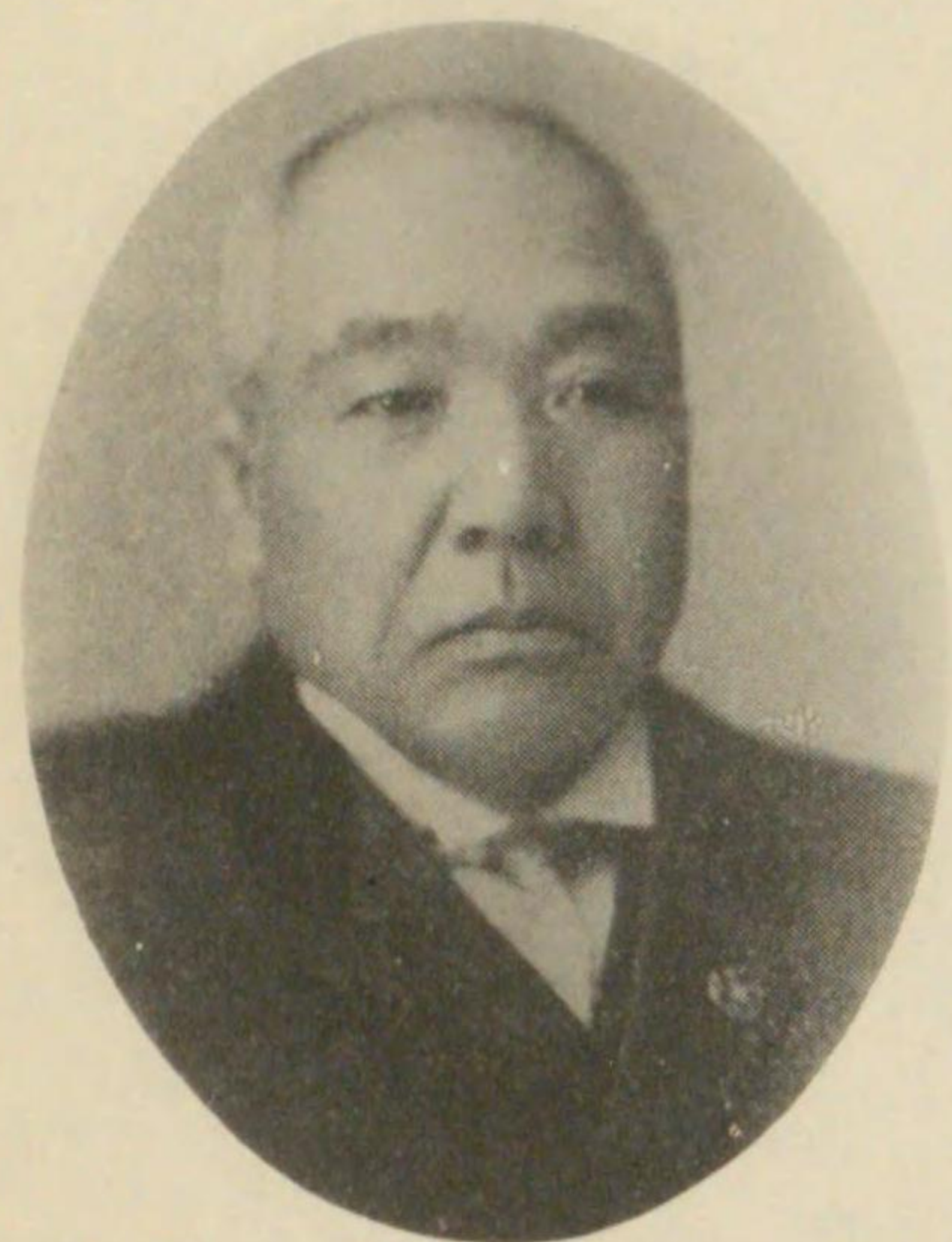
大木 金兵衛



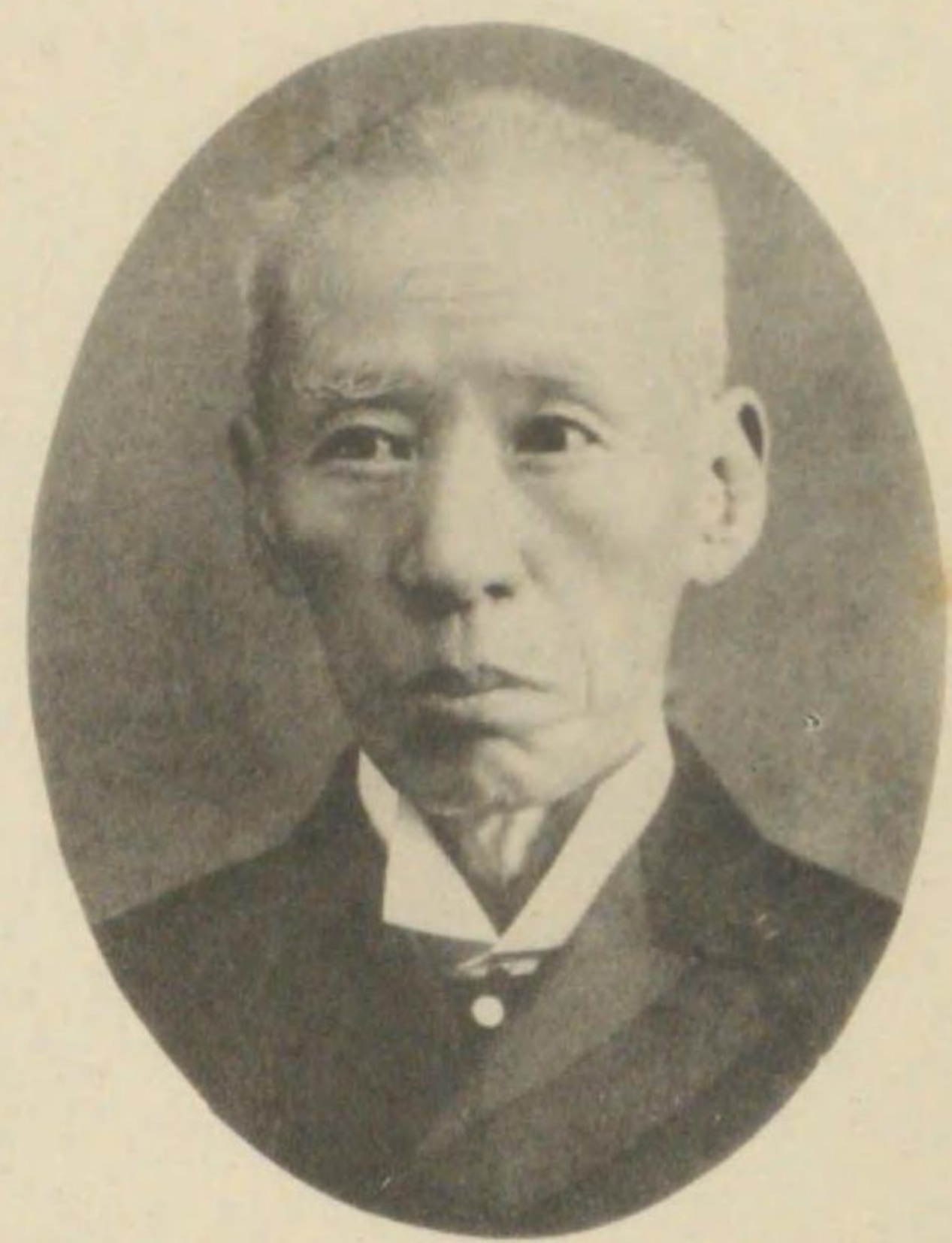
田中 大石







郎三瀧田袴



祐源秦



平文見松



雄彦田内

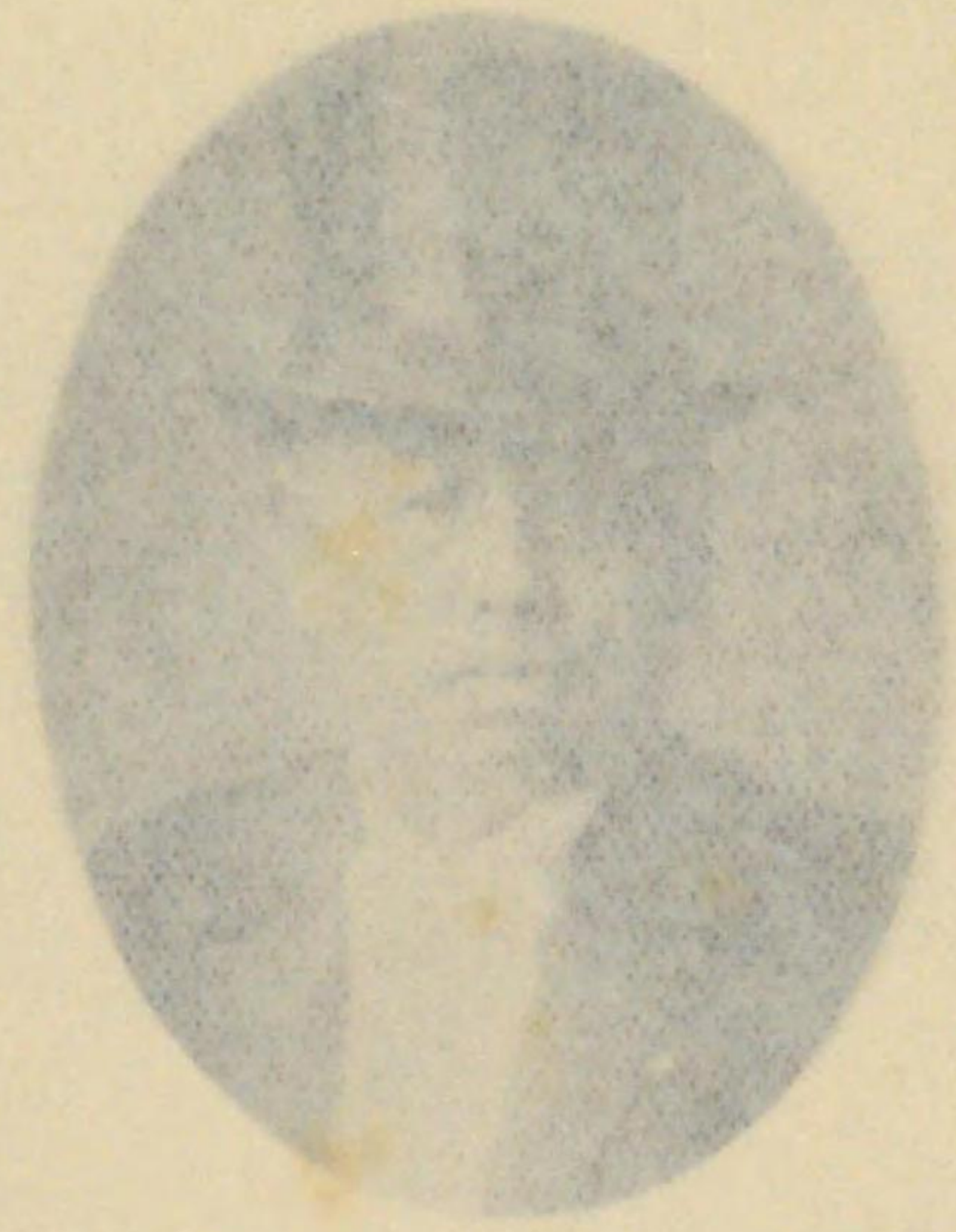


衛兵金木大



門衛右友中田





伊藤武七郎



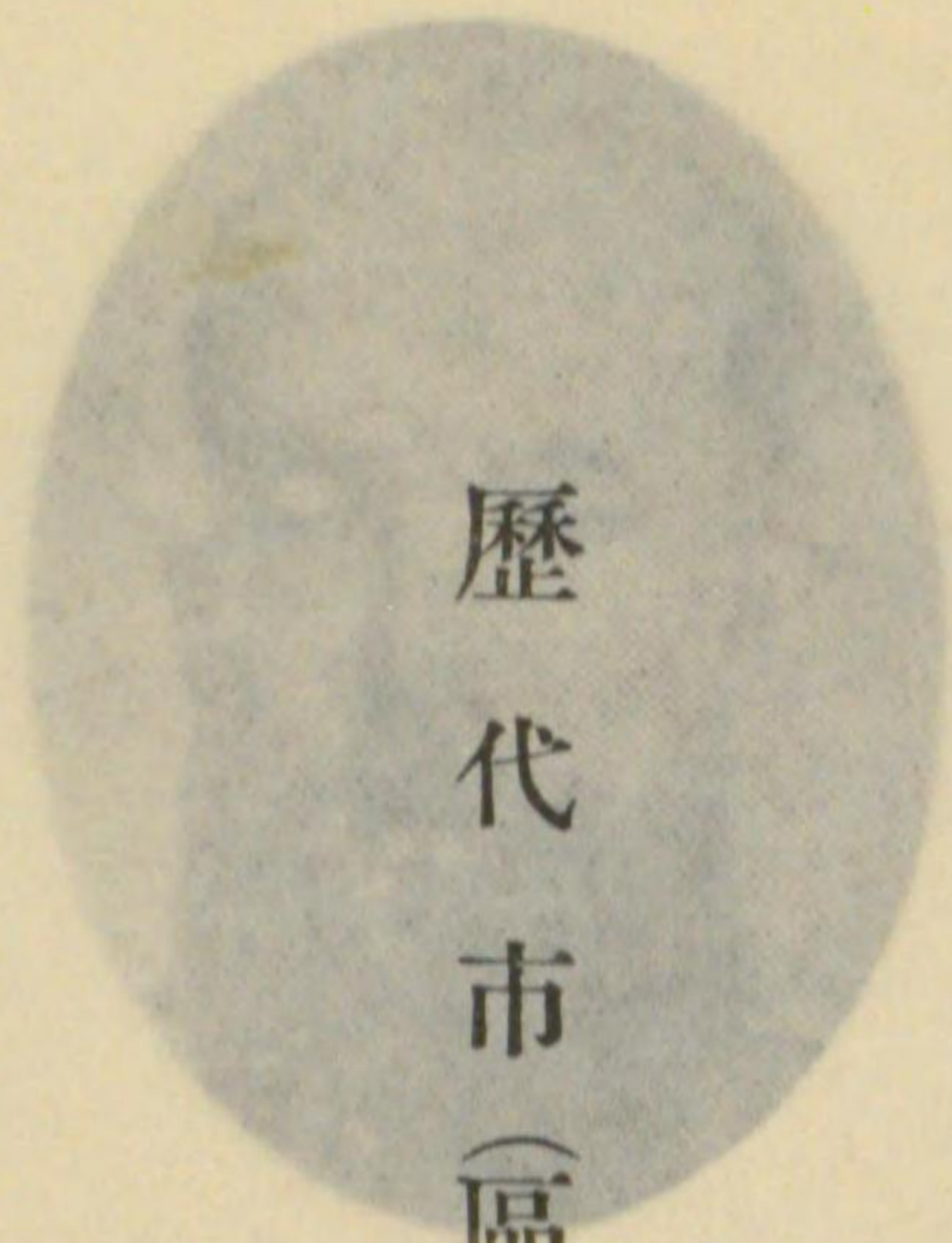




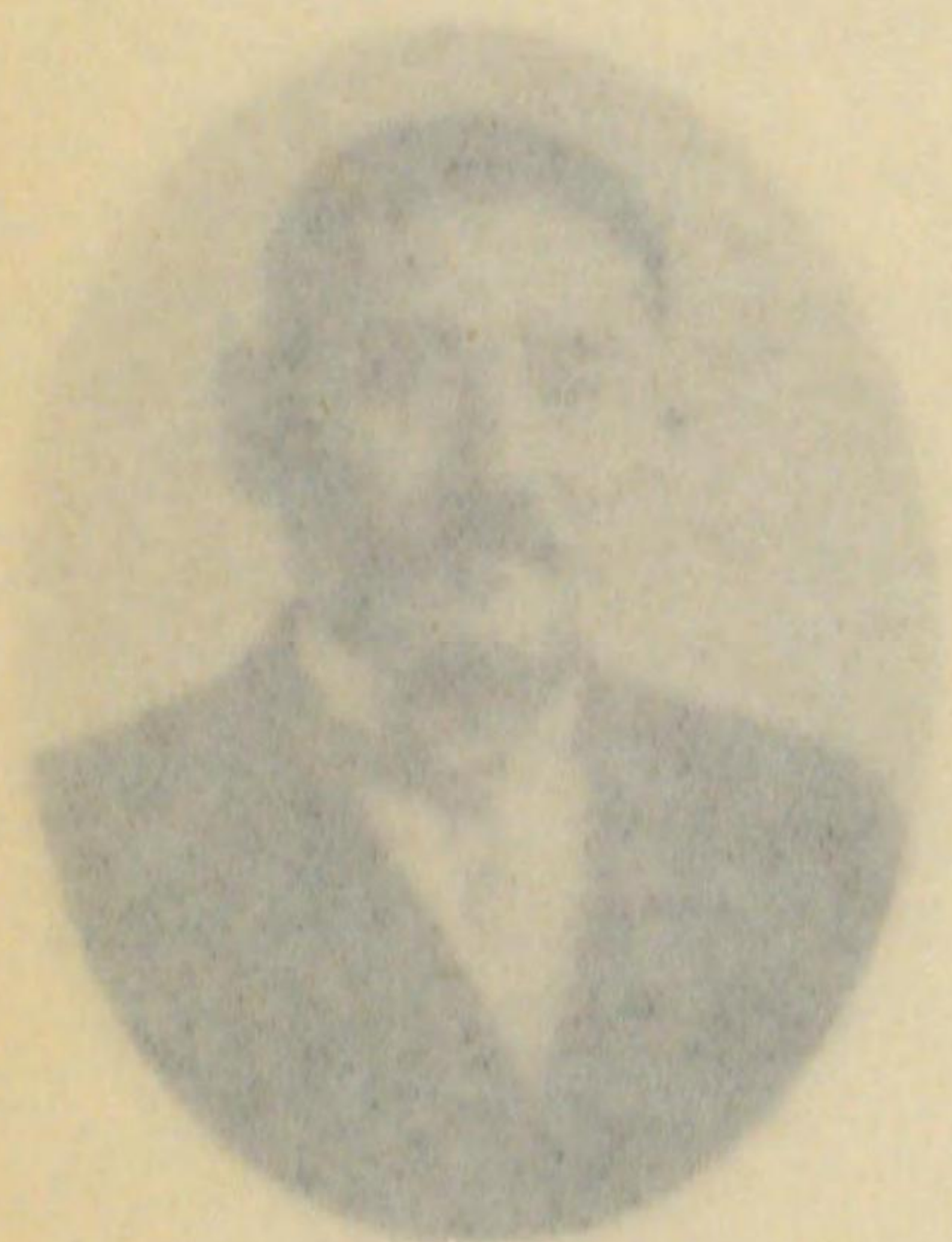
伊藤武七郎



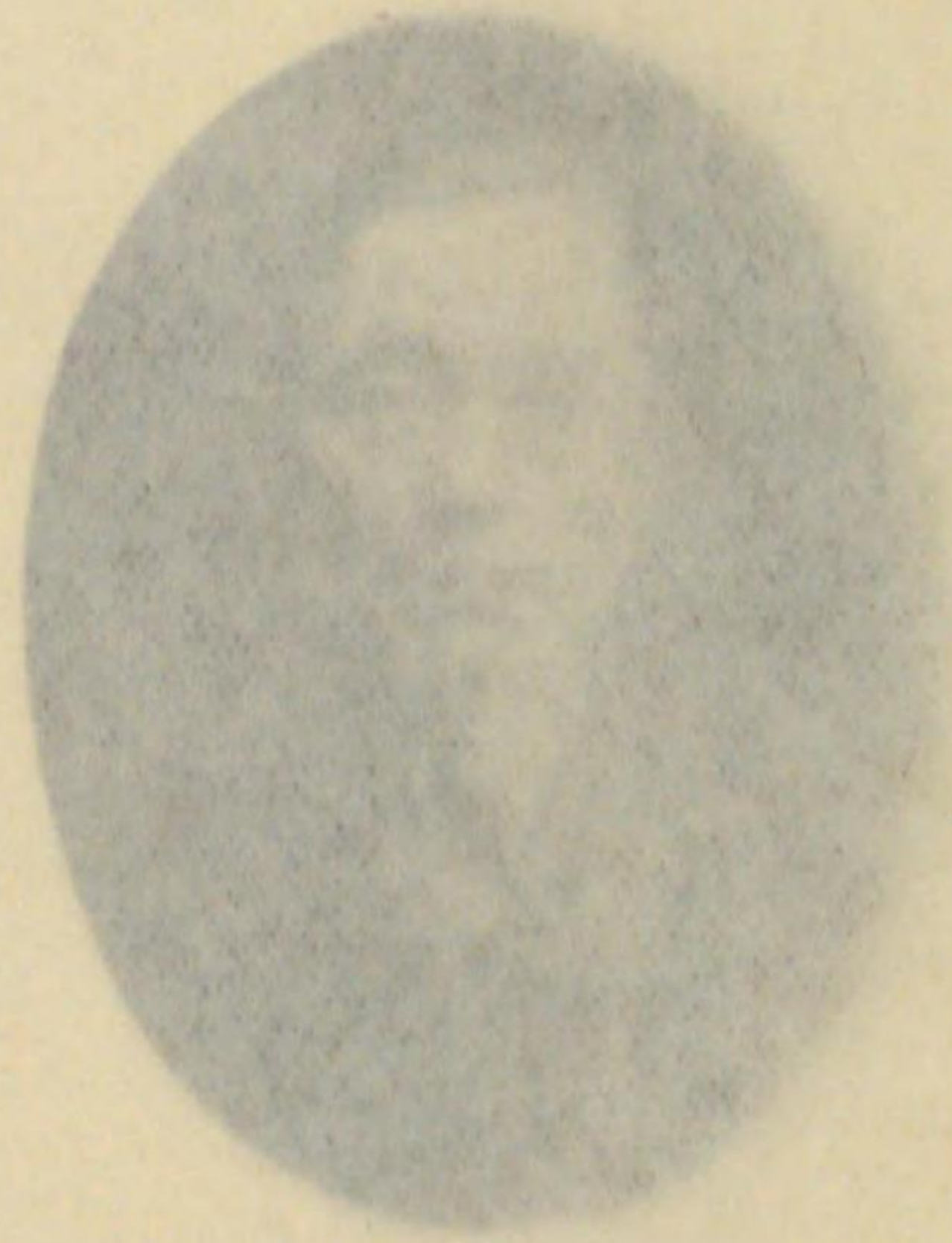
歷代市(區)部會議長



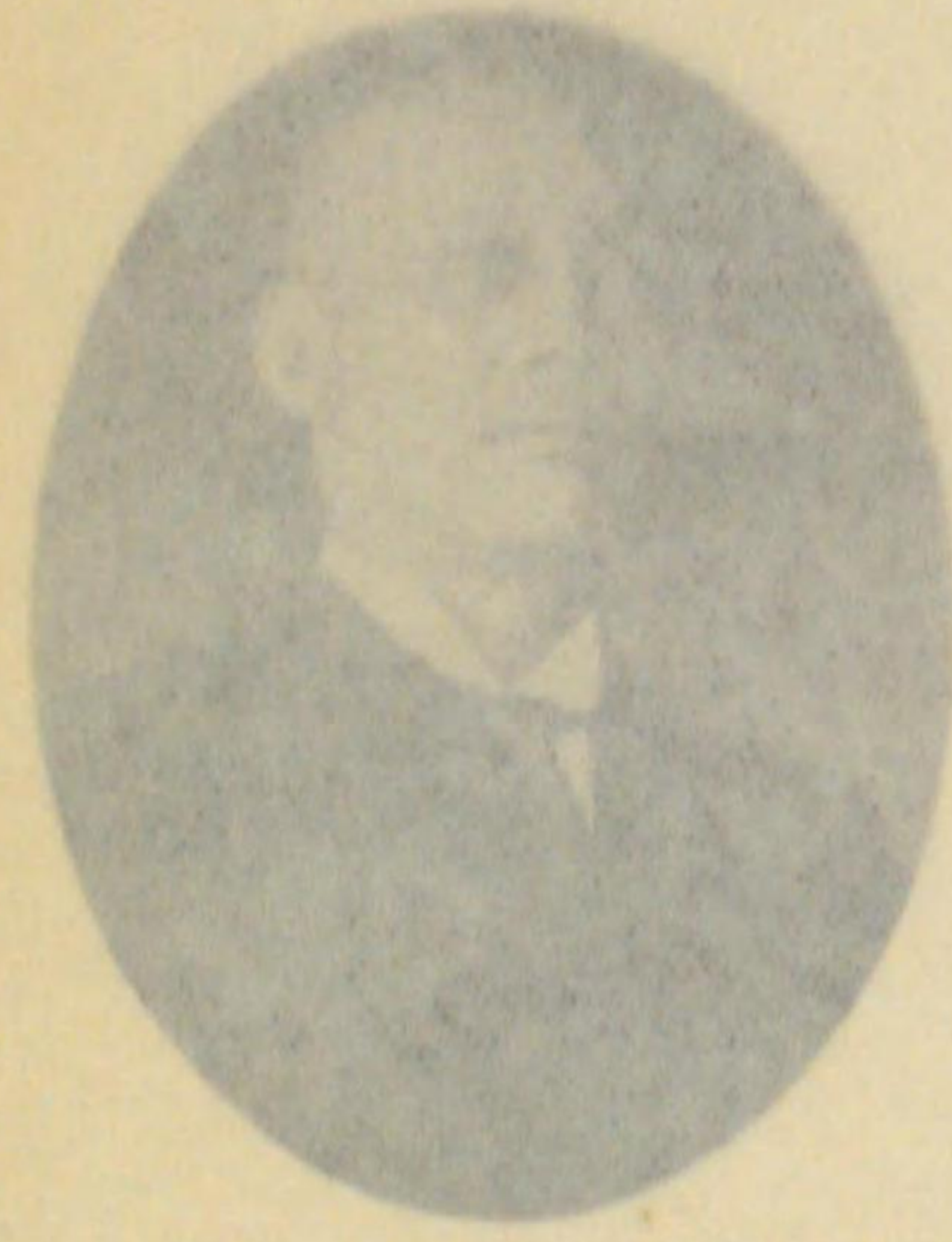
河野



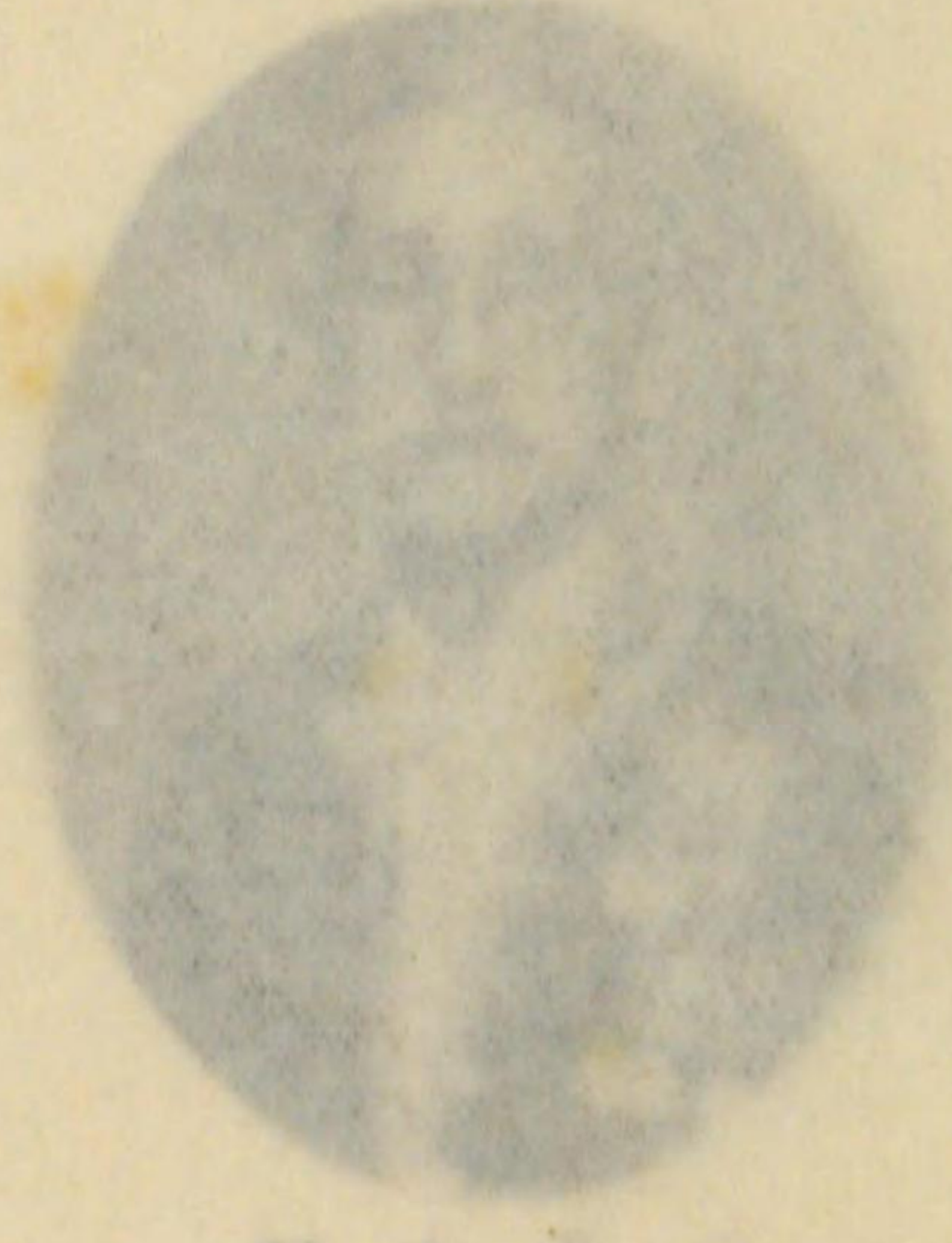
村上



林



木内

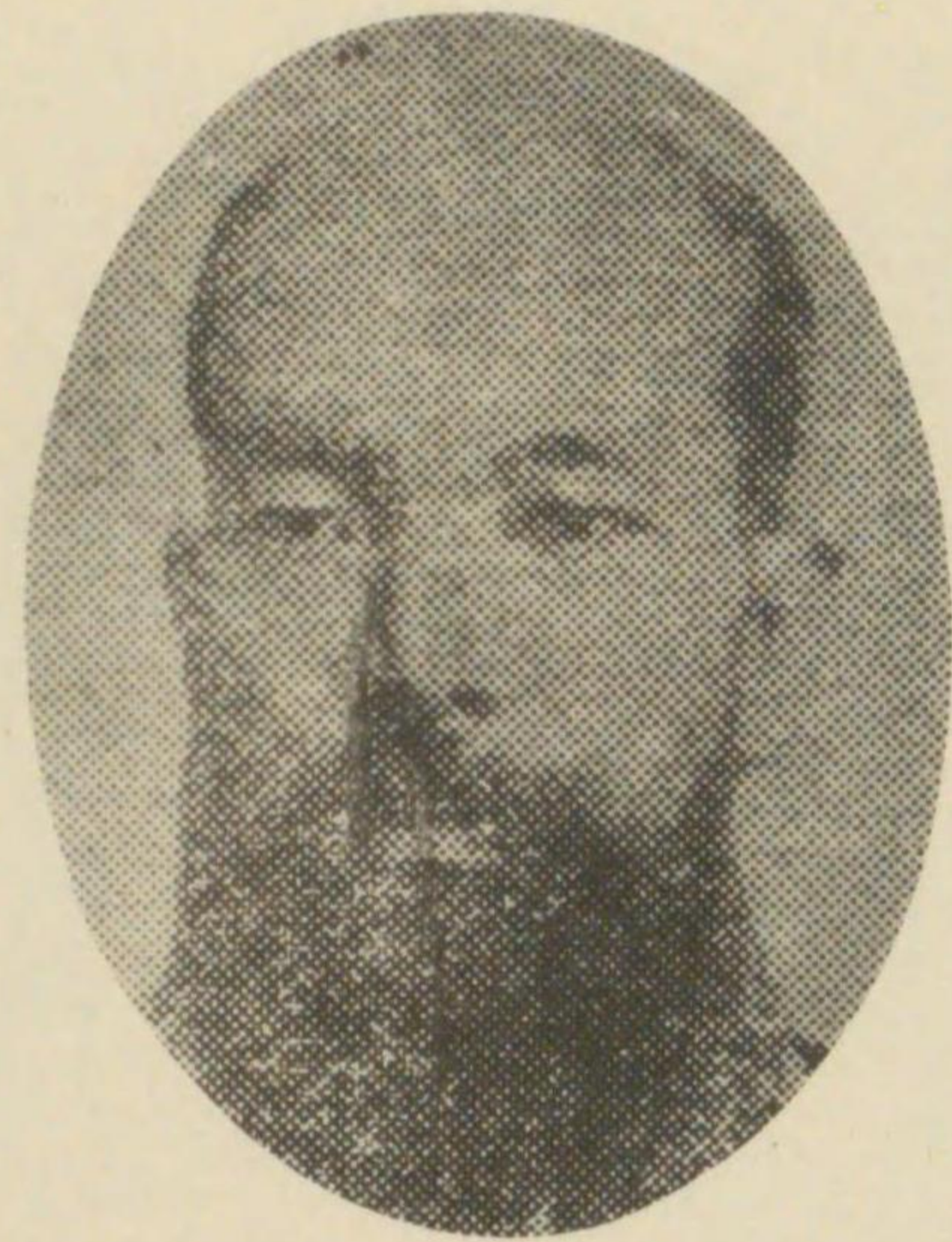


木内

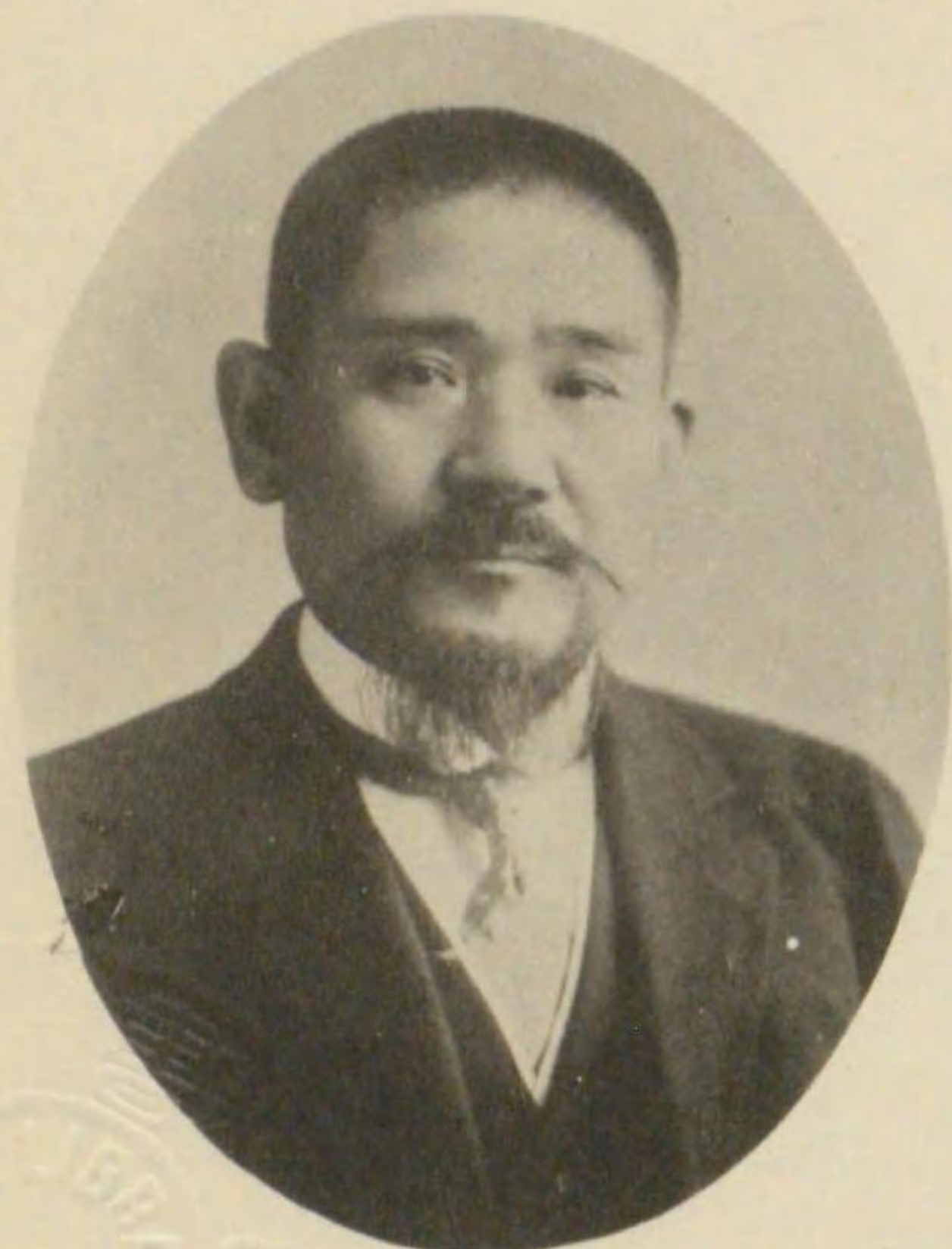
市(區)部會議







河野敏鎌



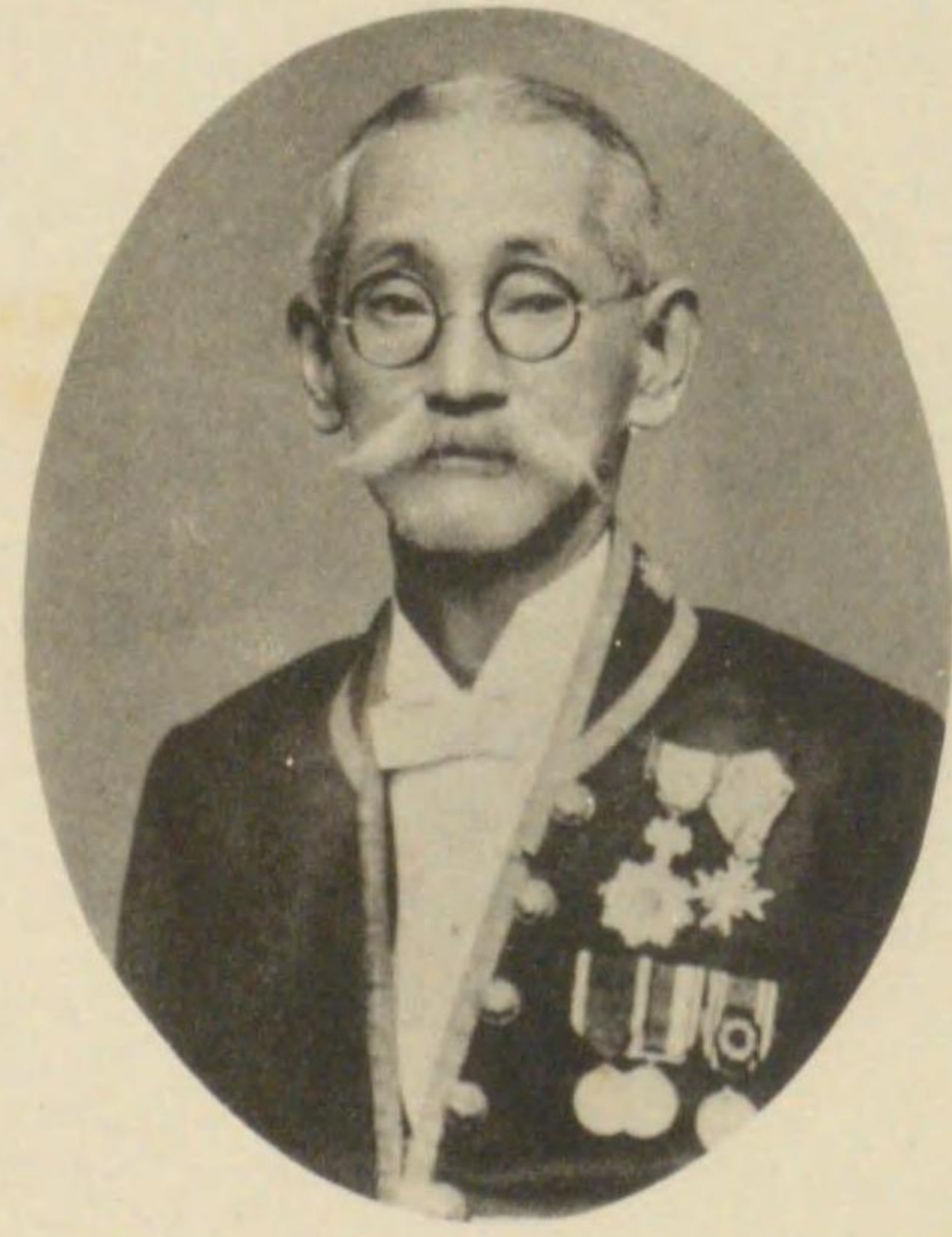
村上熊八



長谷川吉次



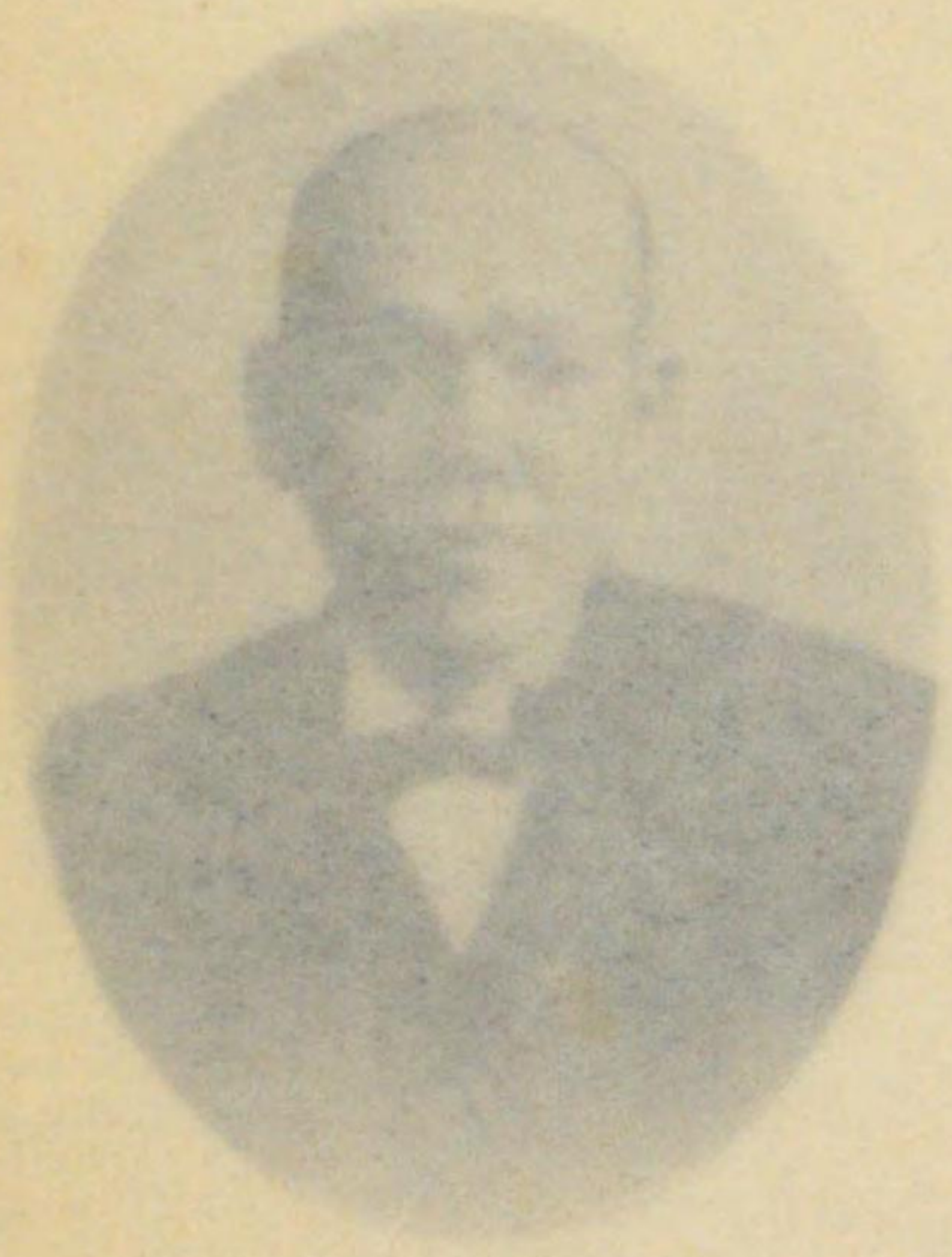
木内傳之助



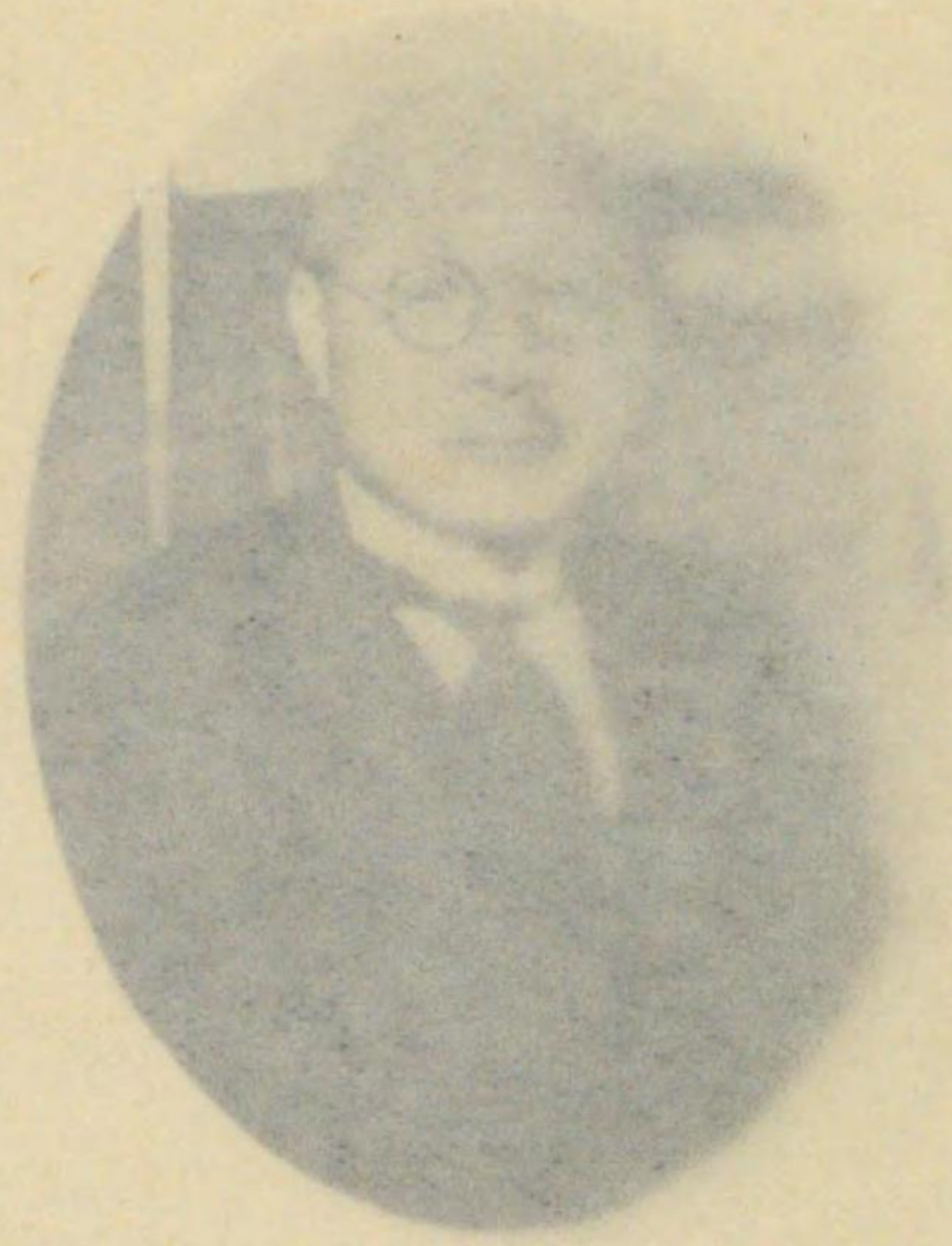
大井玄洞

瀬市(画)濳會齋

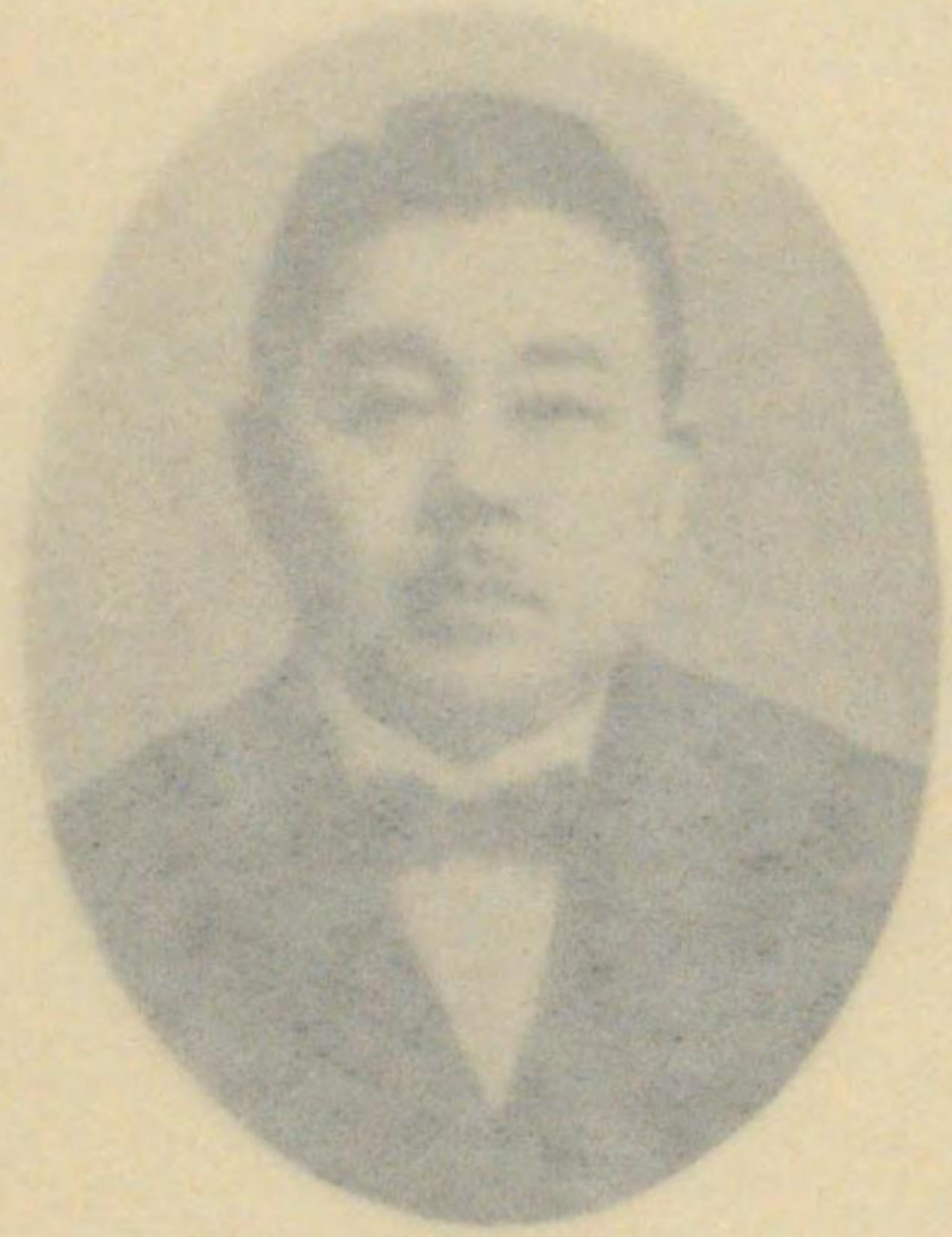




津谷一治郎



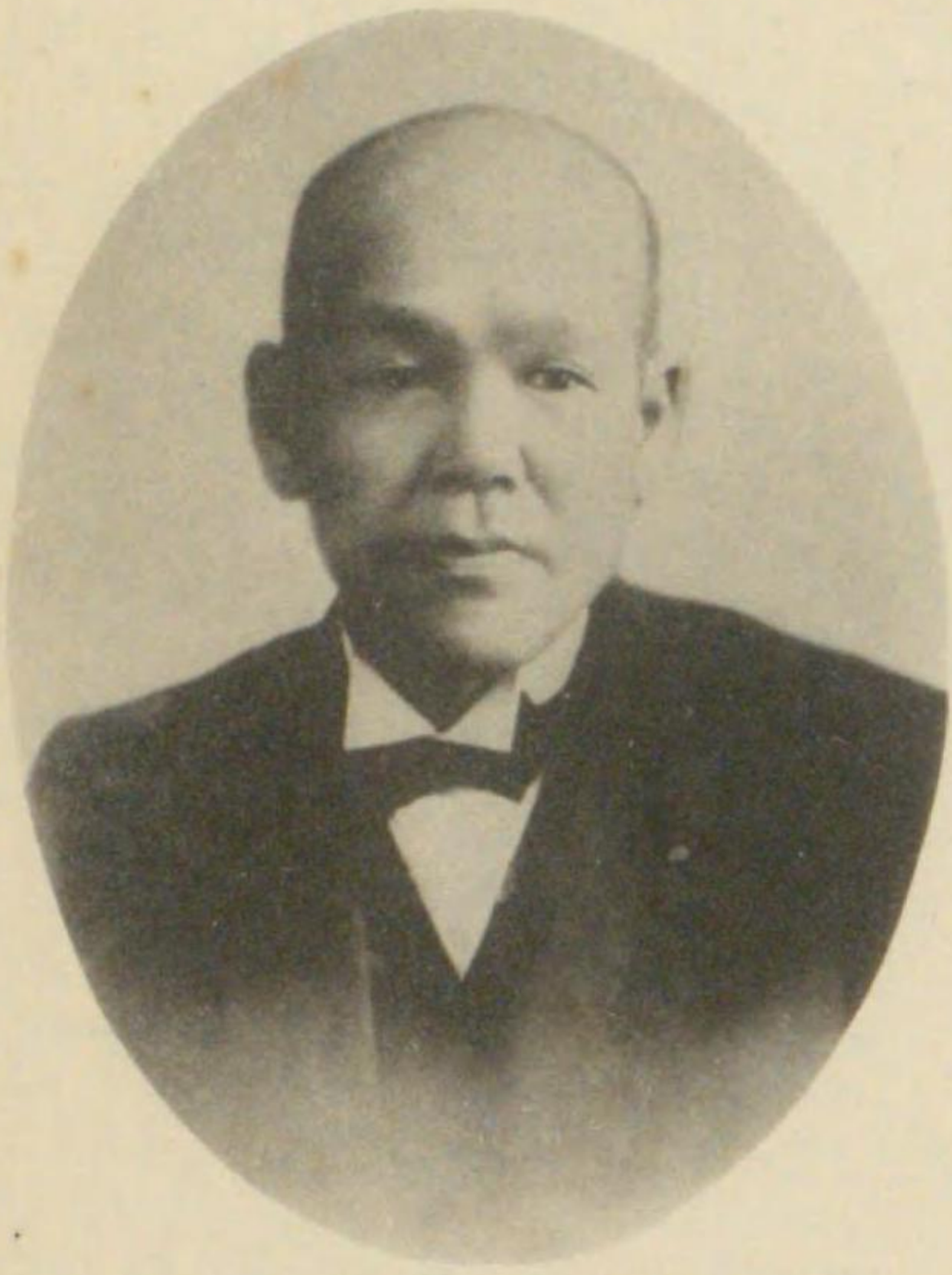
大塚三友



大神田軍治



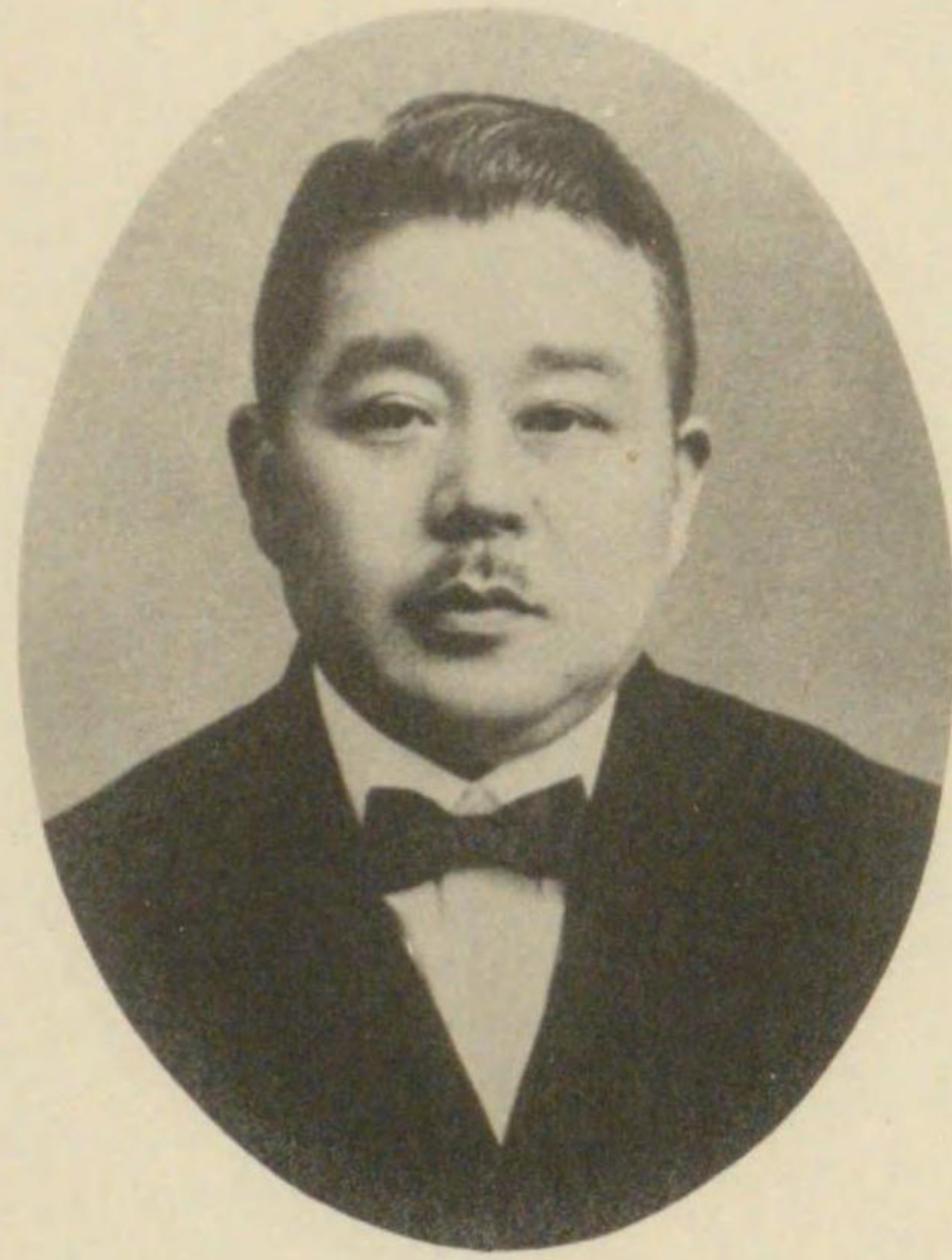




郎治一谷津



友三保久



治軍田神大



歷代市(區)部會副議長



吉田幸作



吉田茂



古川孝七



若出惣兵衛



永田義原



德岡梅吉

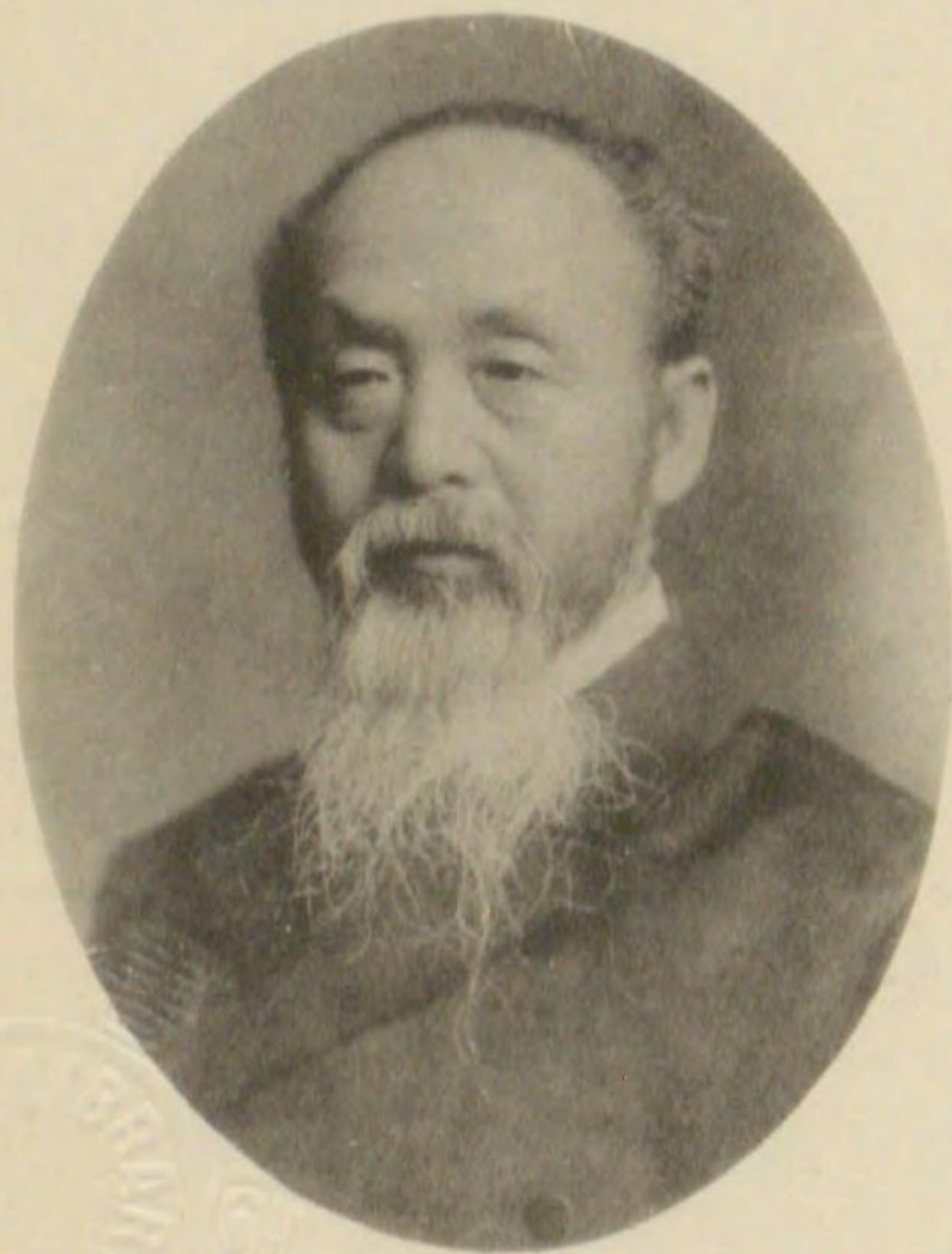




吉田幸作



藤田茂吉



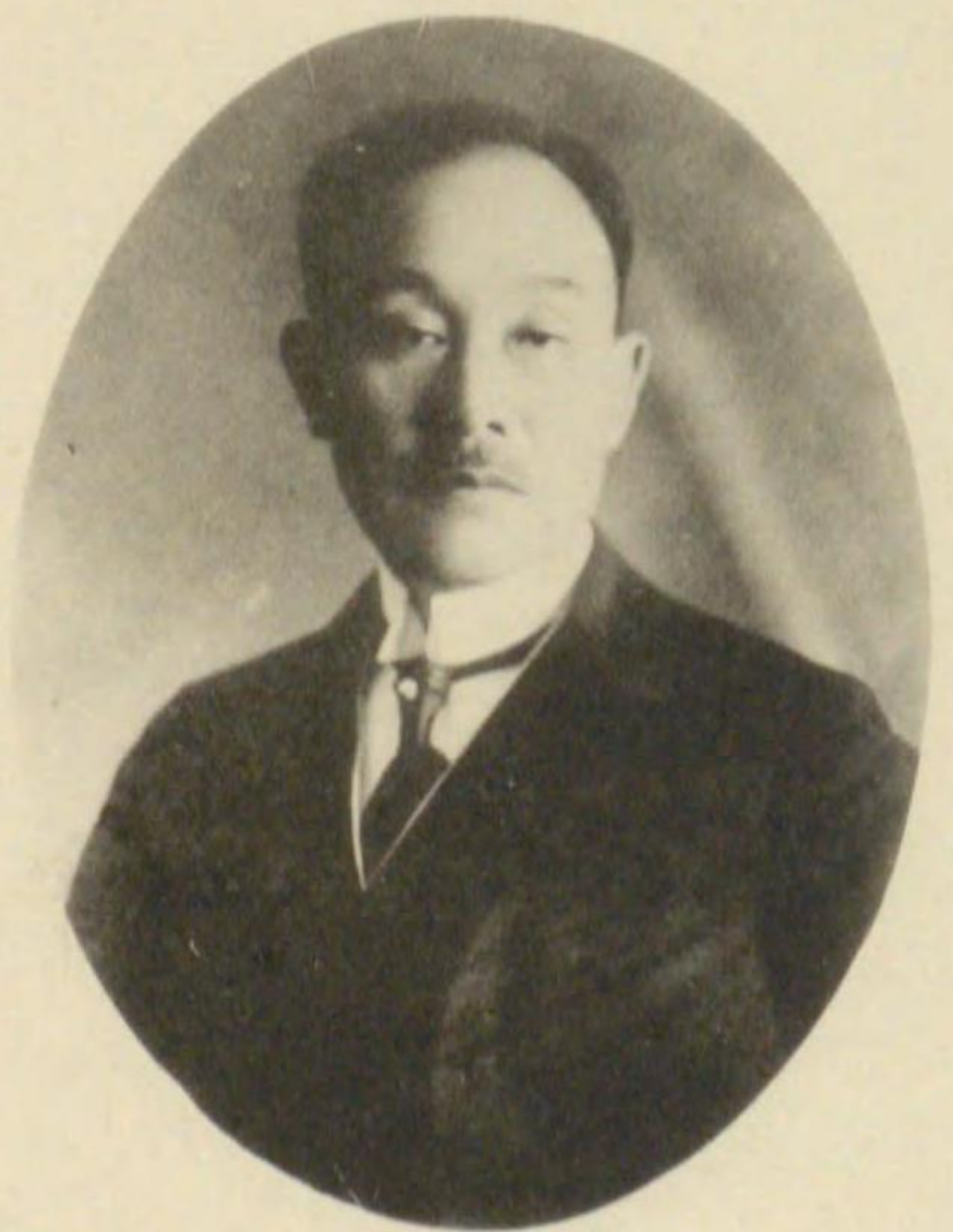
古川孝七



岩出惣兵衛



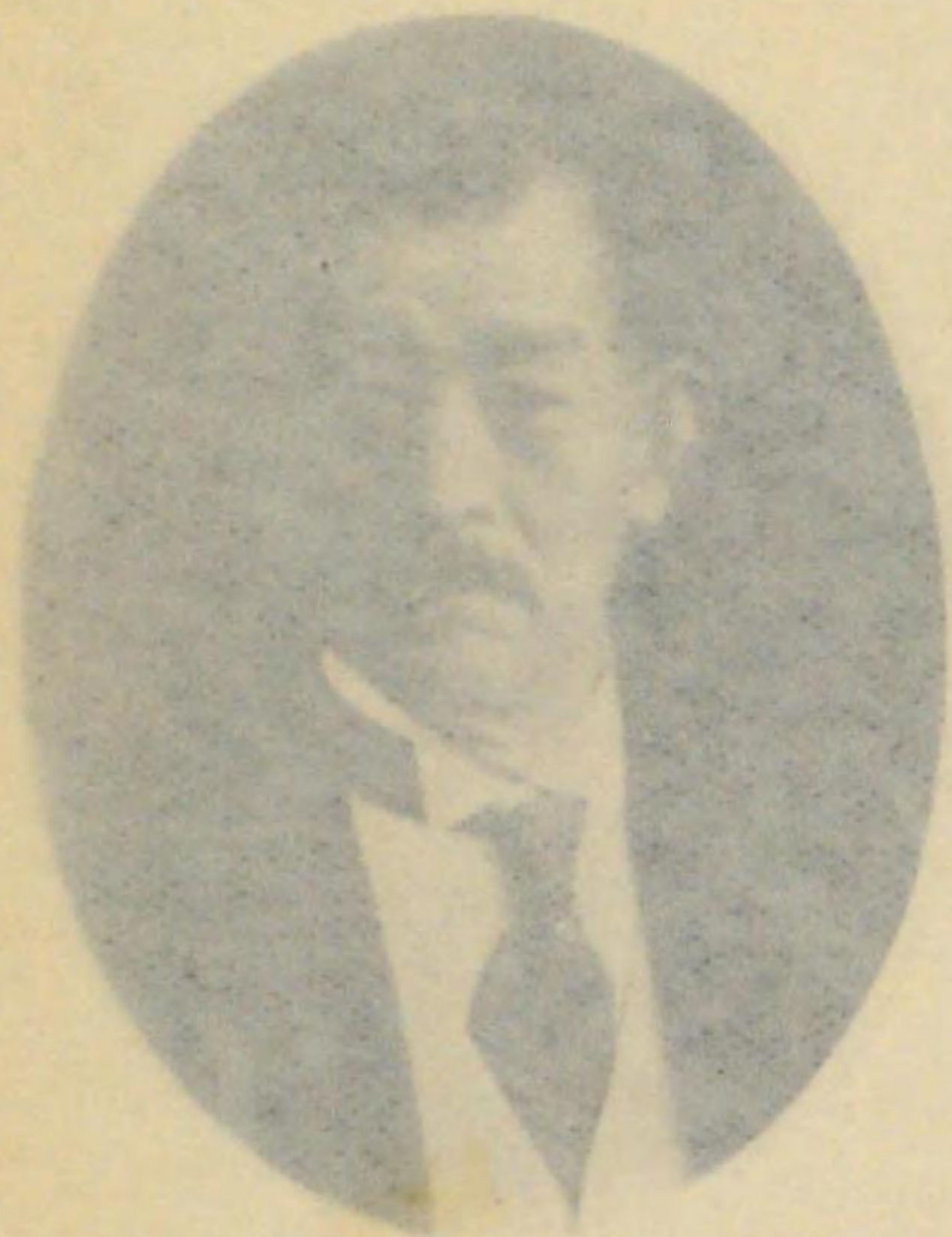
永田義原



徳岡梅吉

昇市(副)協會臨議員





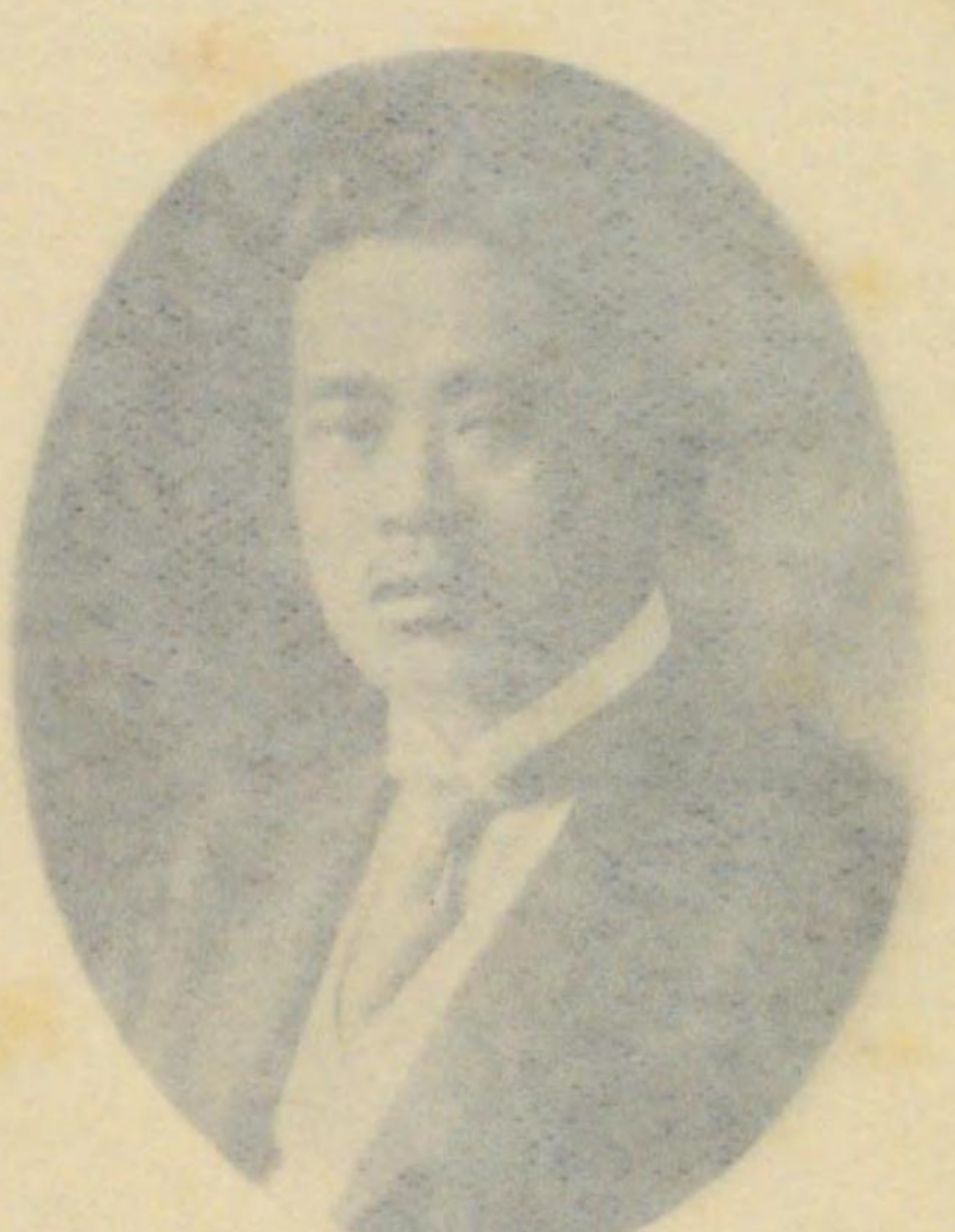
郎太 鎌谷 細



郎三 仁竹 大



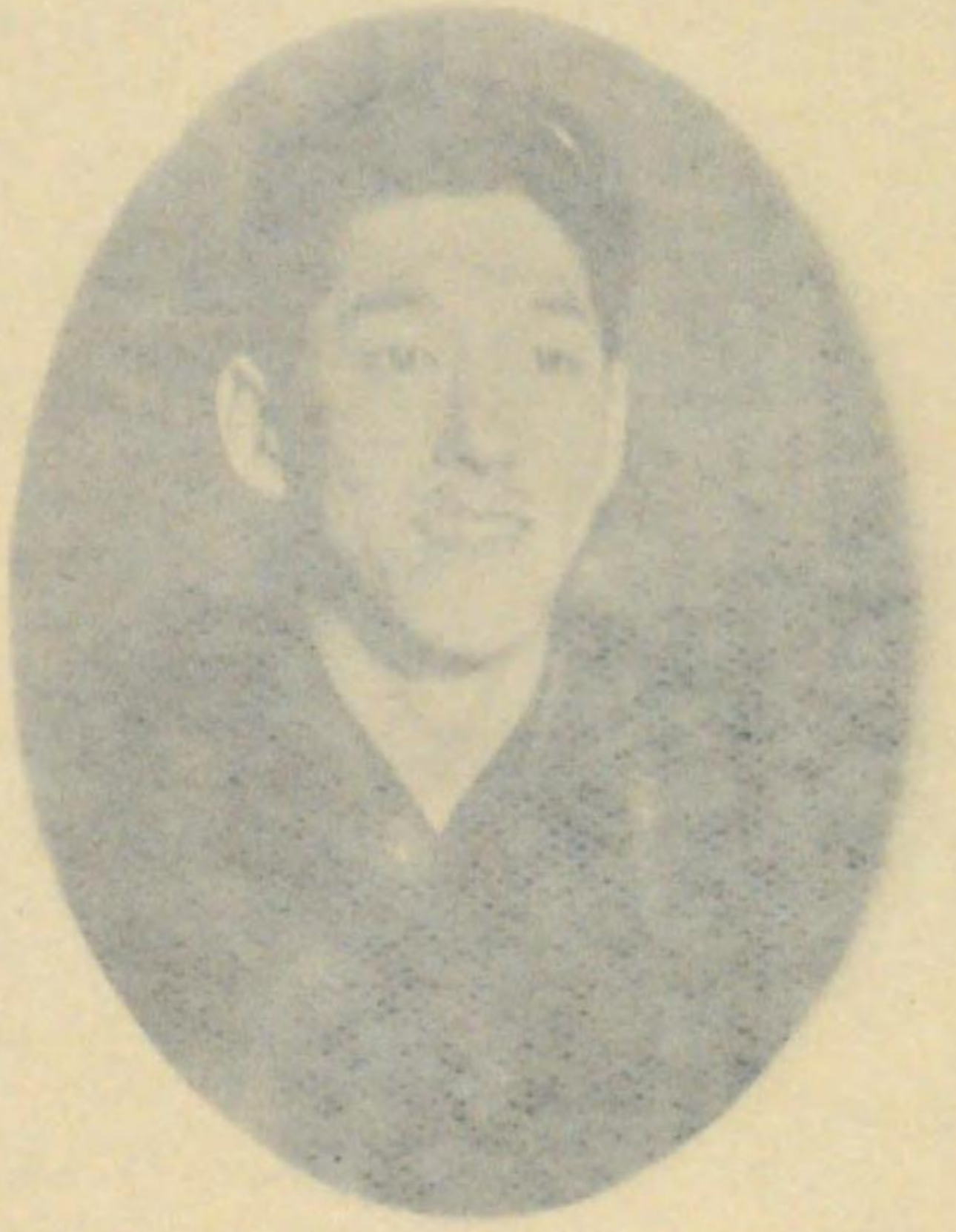
郎太 庄山 向



三 菊野 大



郎一 嘉助 足

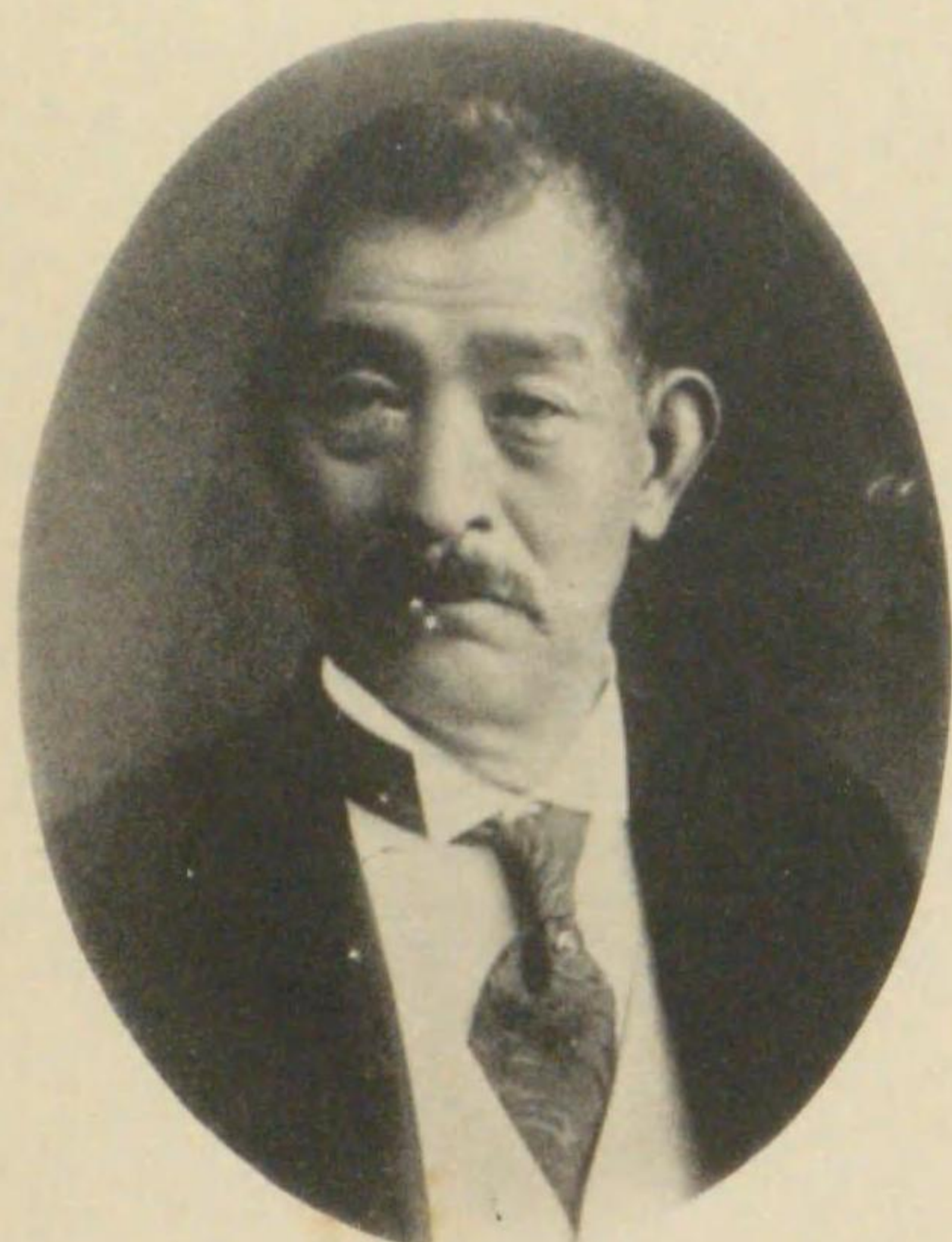


郎一 友塚 飯

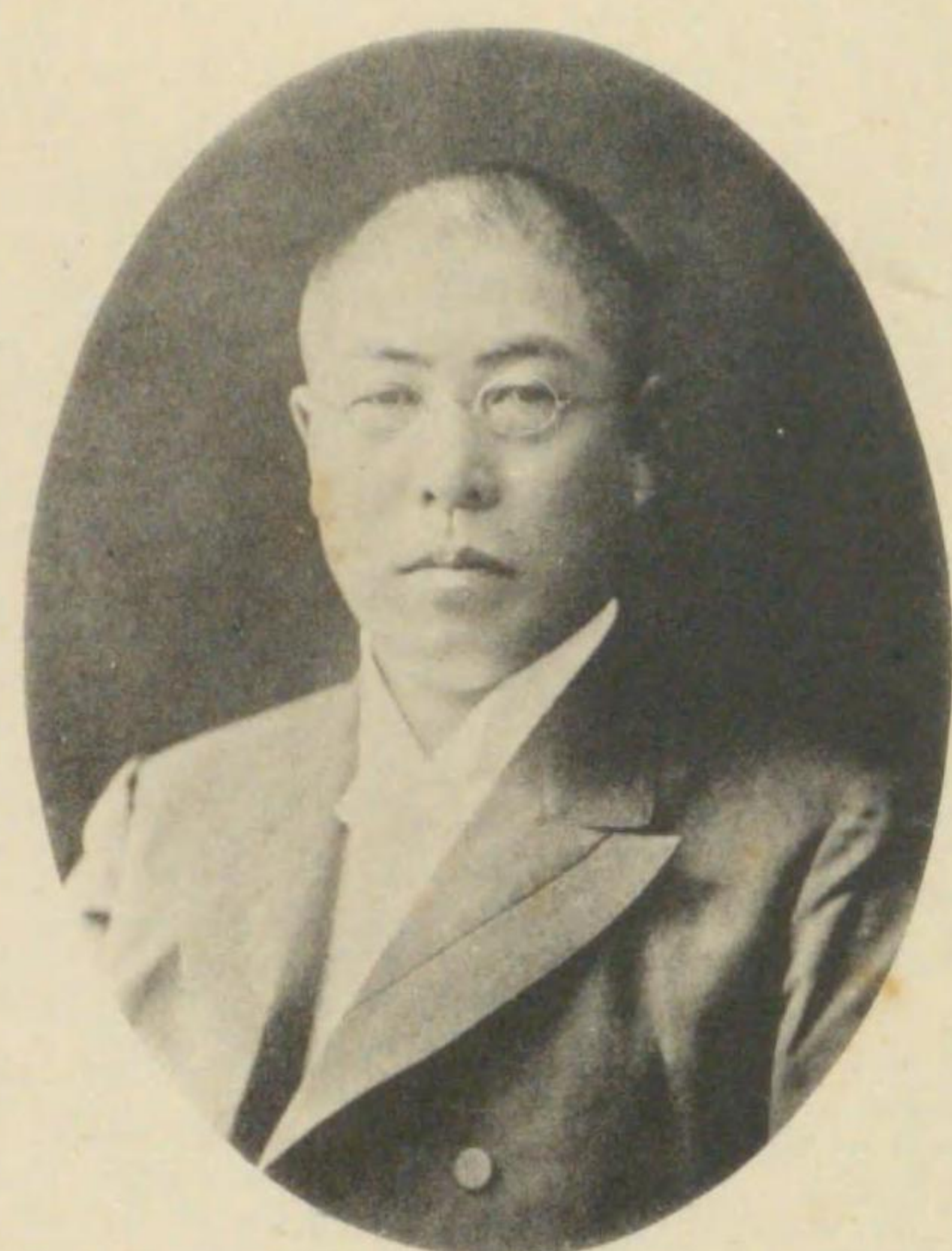
書 田 子 宗







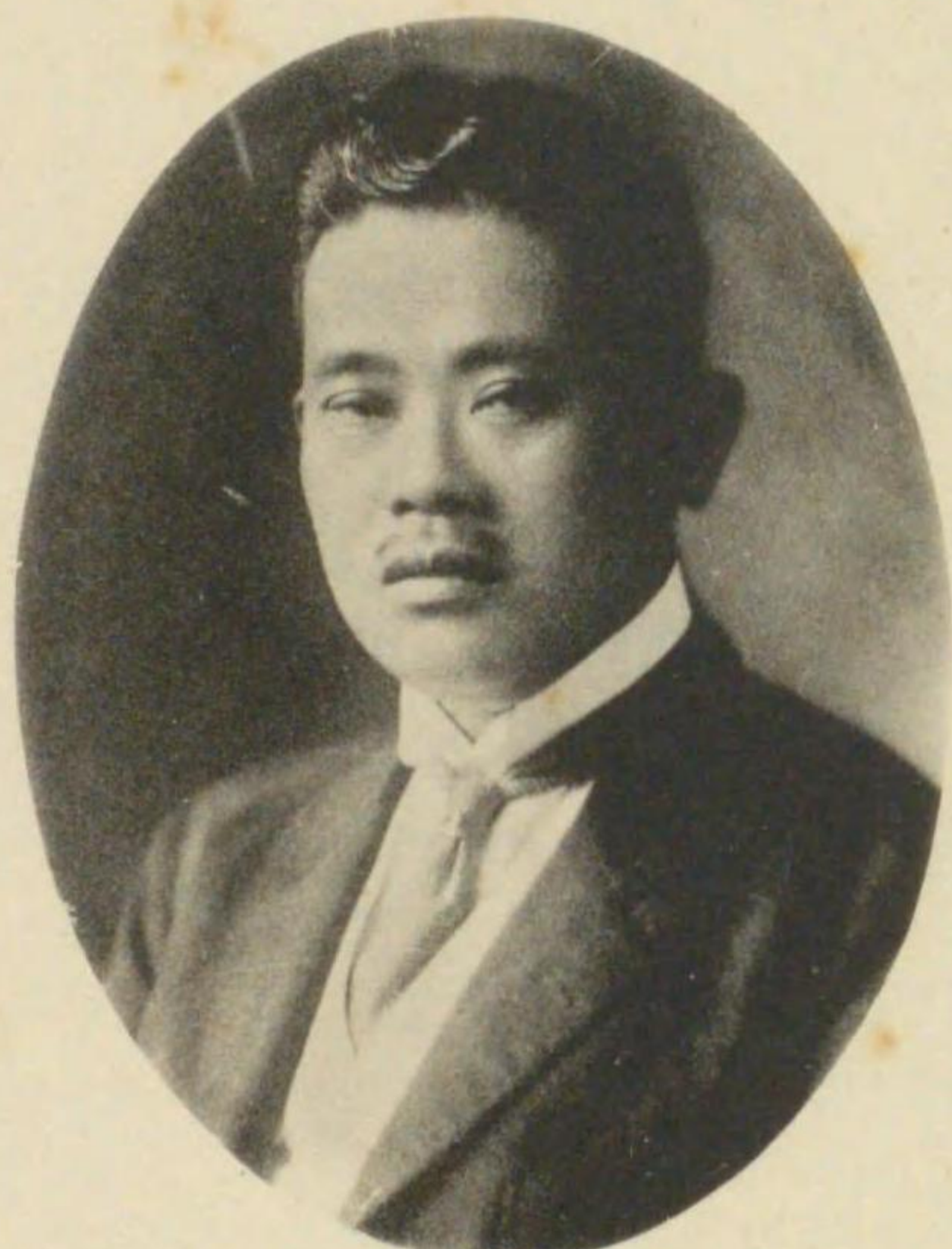
郎太鎌谷細



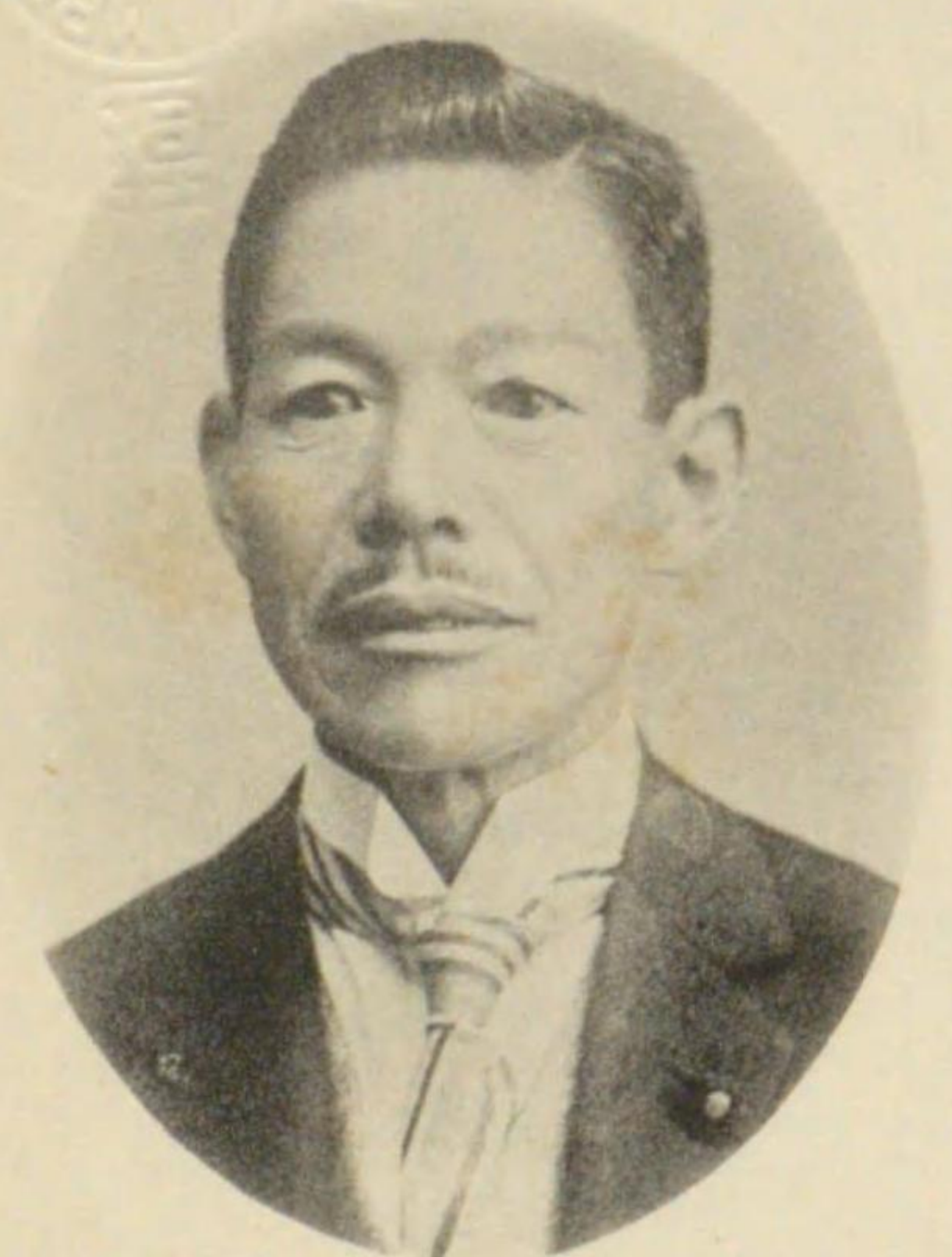
郎三仁竹大



郎太庄山向



三菊野大

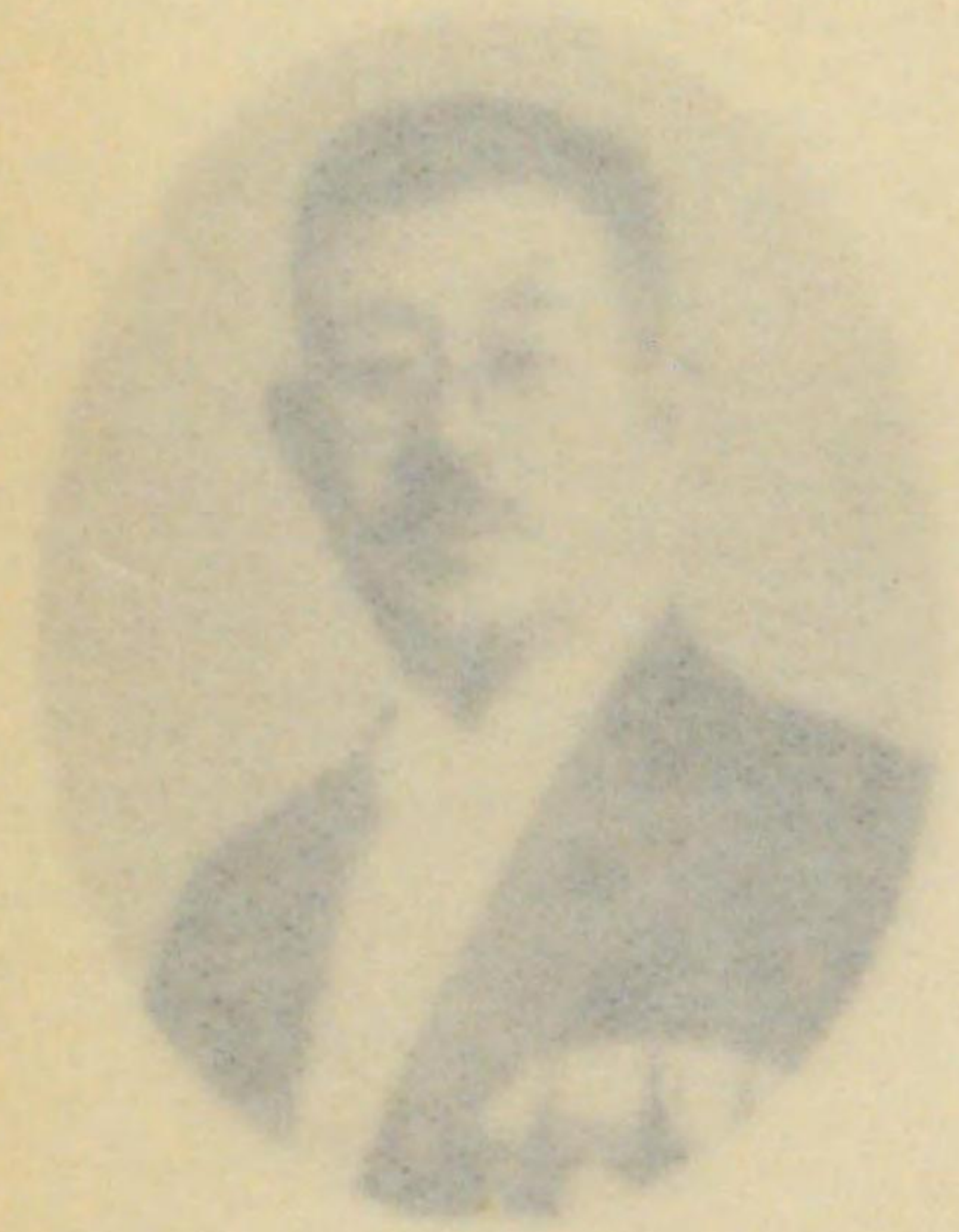


郎一嘉助足

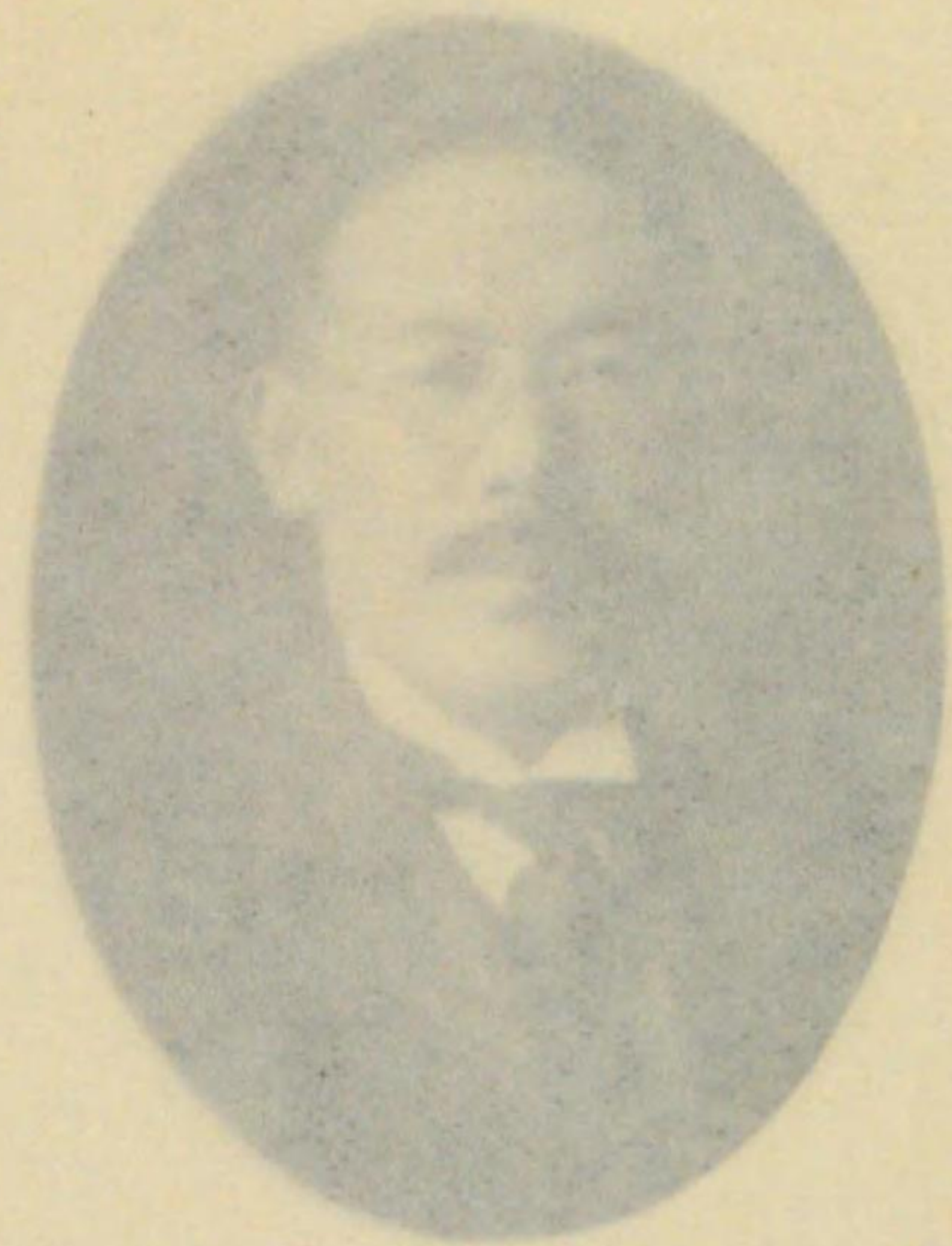


郎一友塚飯





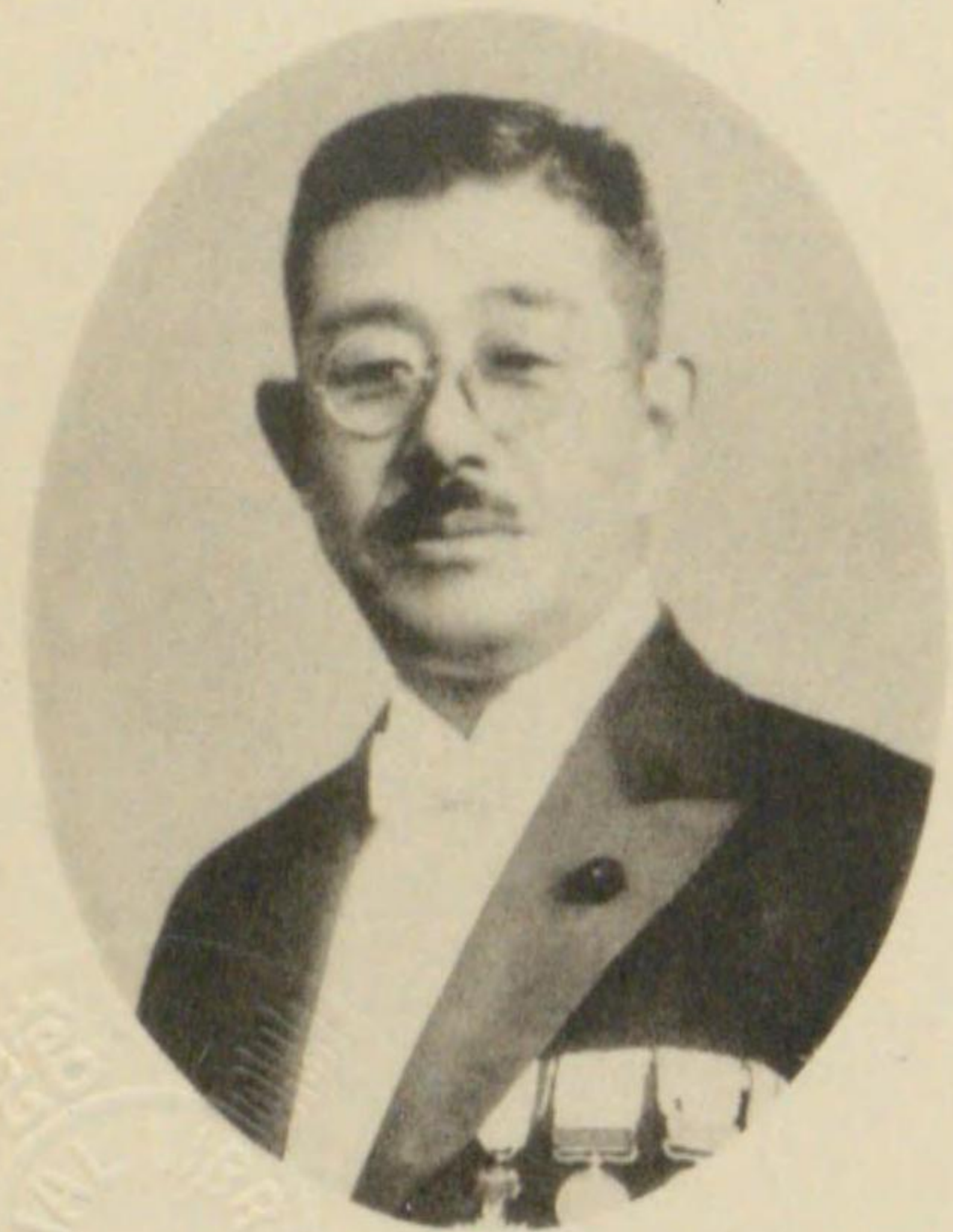
一 藤村玄



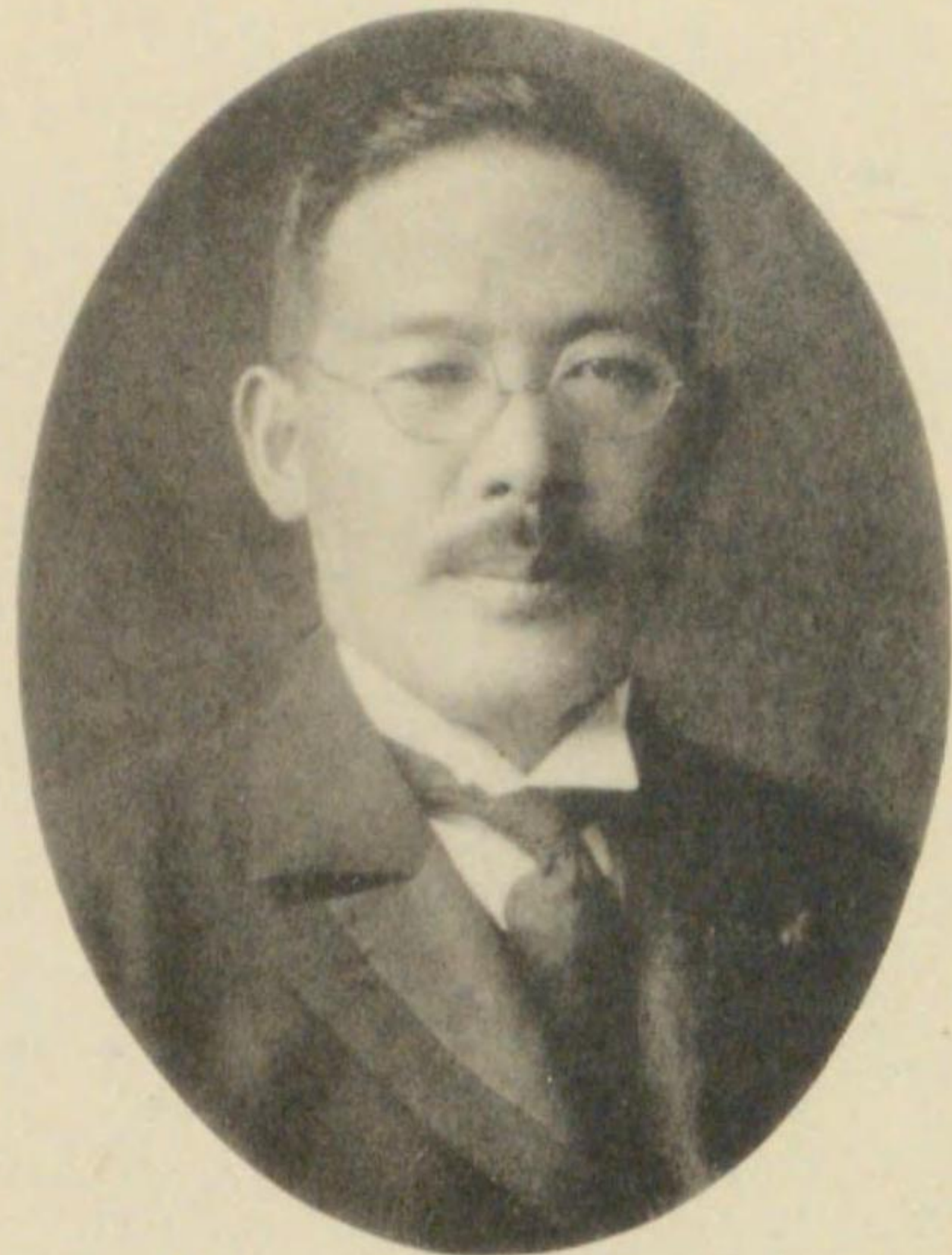
千 森 山 深







宮村龜一



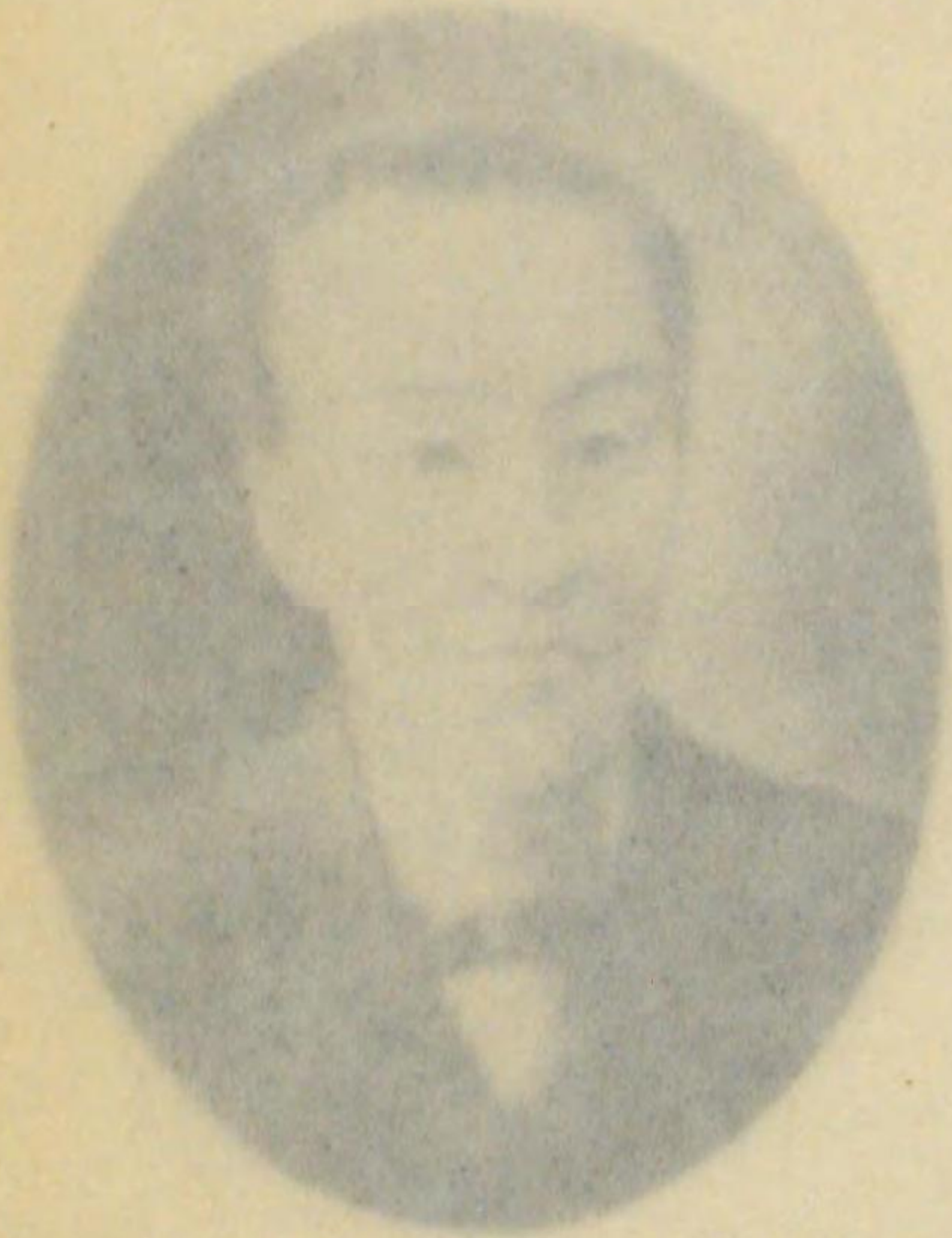
深山彦平







夫和山鳩



彌兵九林平



治慶岡谷

歷代郡部會議長







夫和山鳩



利貞山鳥



衛兵九林平



造育岡大



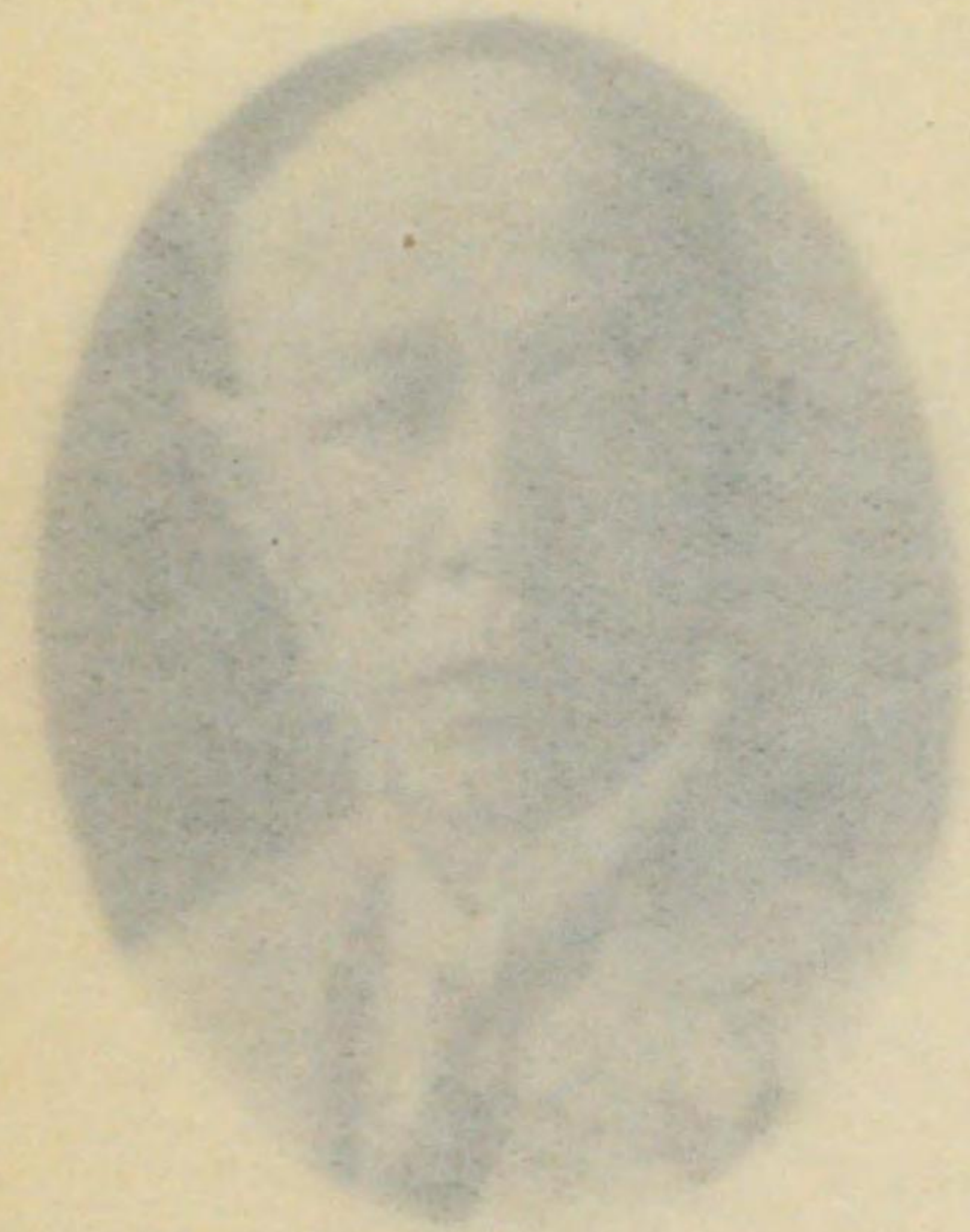
治慶岡谷



三頼本宮

翹升涯陪會齋員





信田 忠



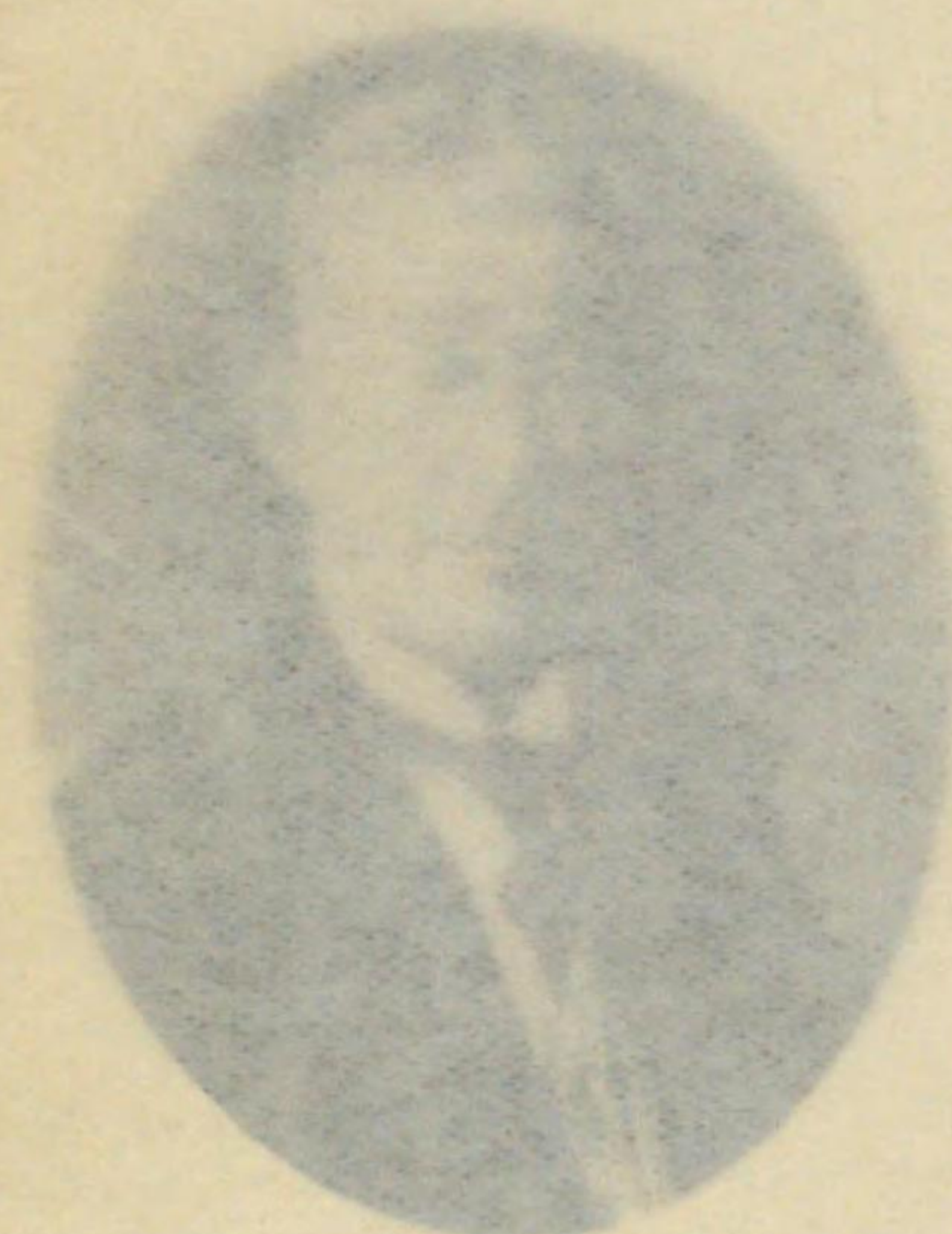
信田 忠



信田 忠



信田 忠



信田 忠



信田 忠







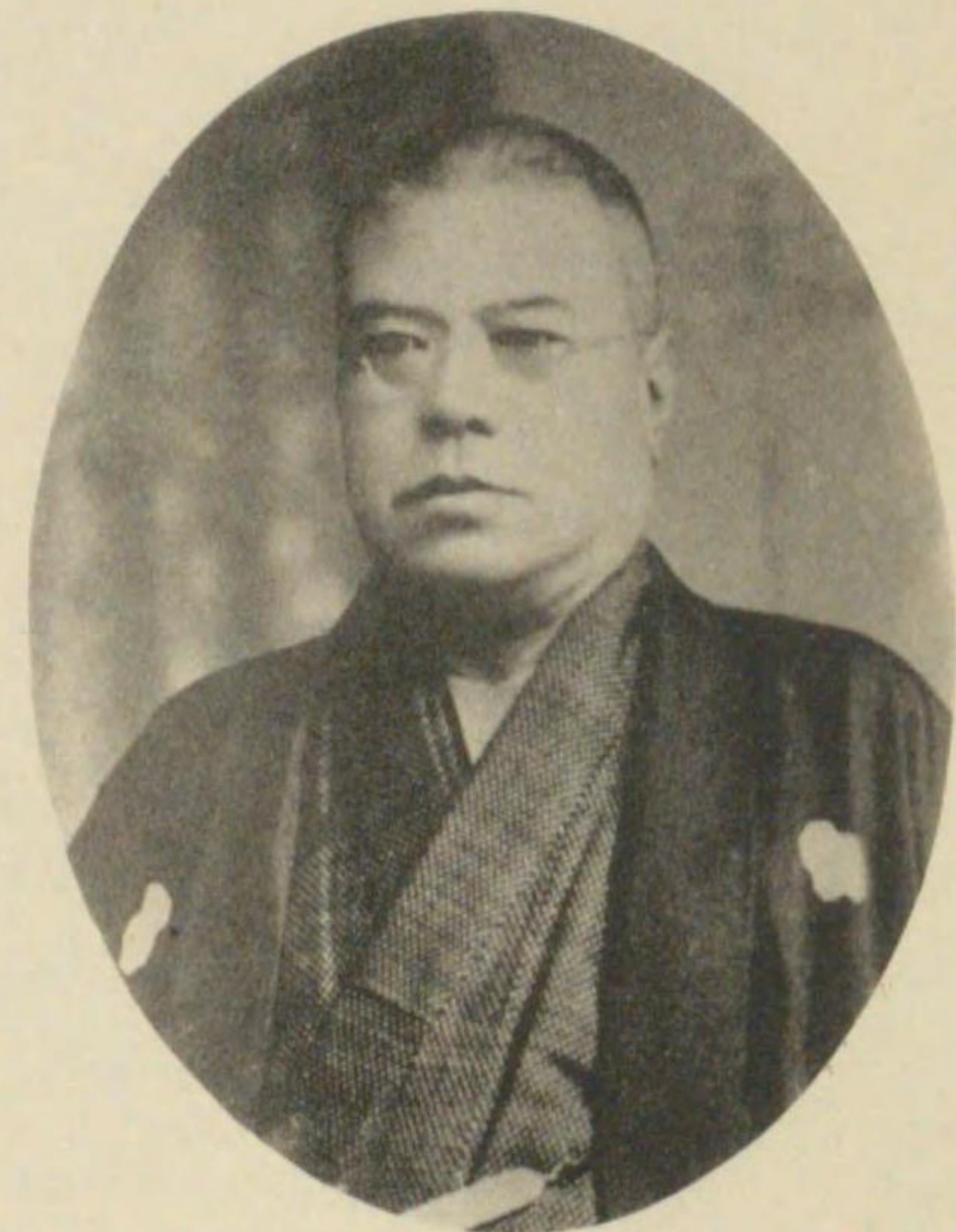
衛兵伊沼瀬



七喜本秋



郎太彦岡富



郎太寅井松



信忠田井



之彦林村





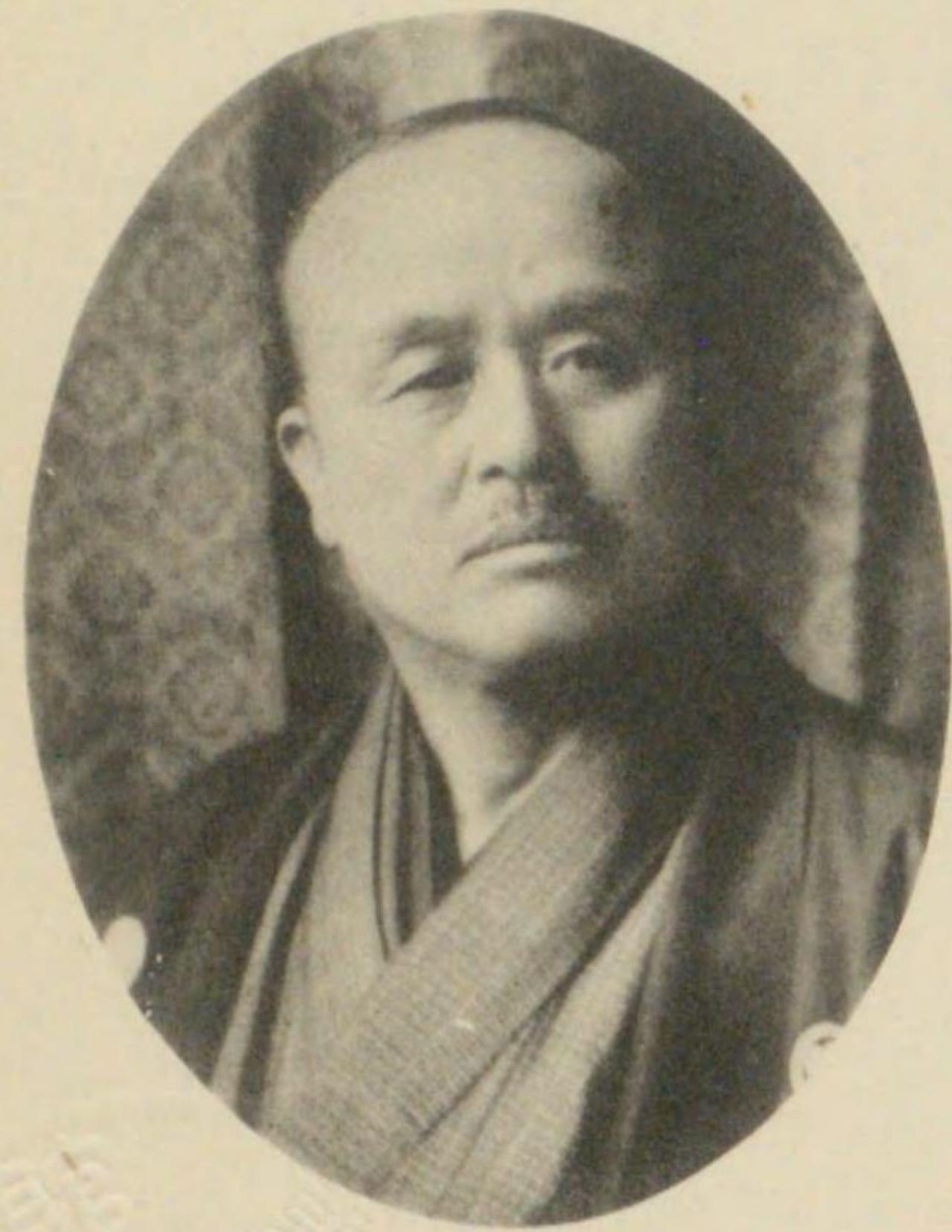
明會虎治郎



伊藤 嘉治郎





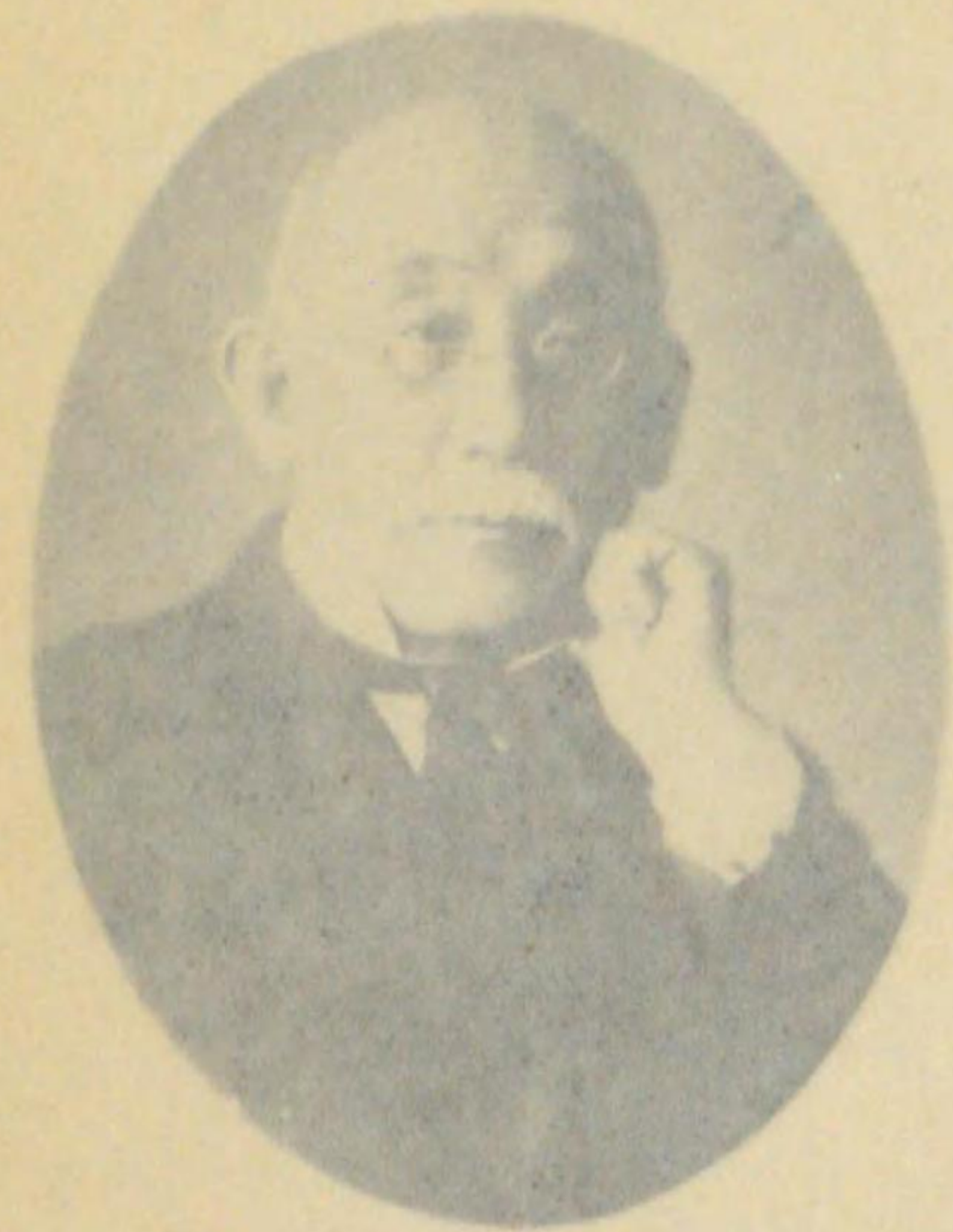


朝倉虎治郎



伊藤祐治





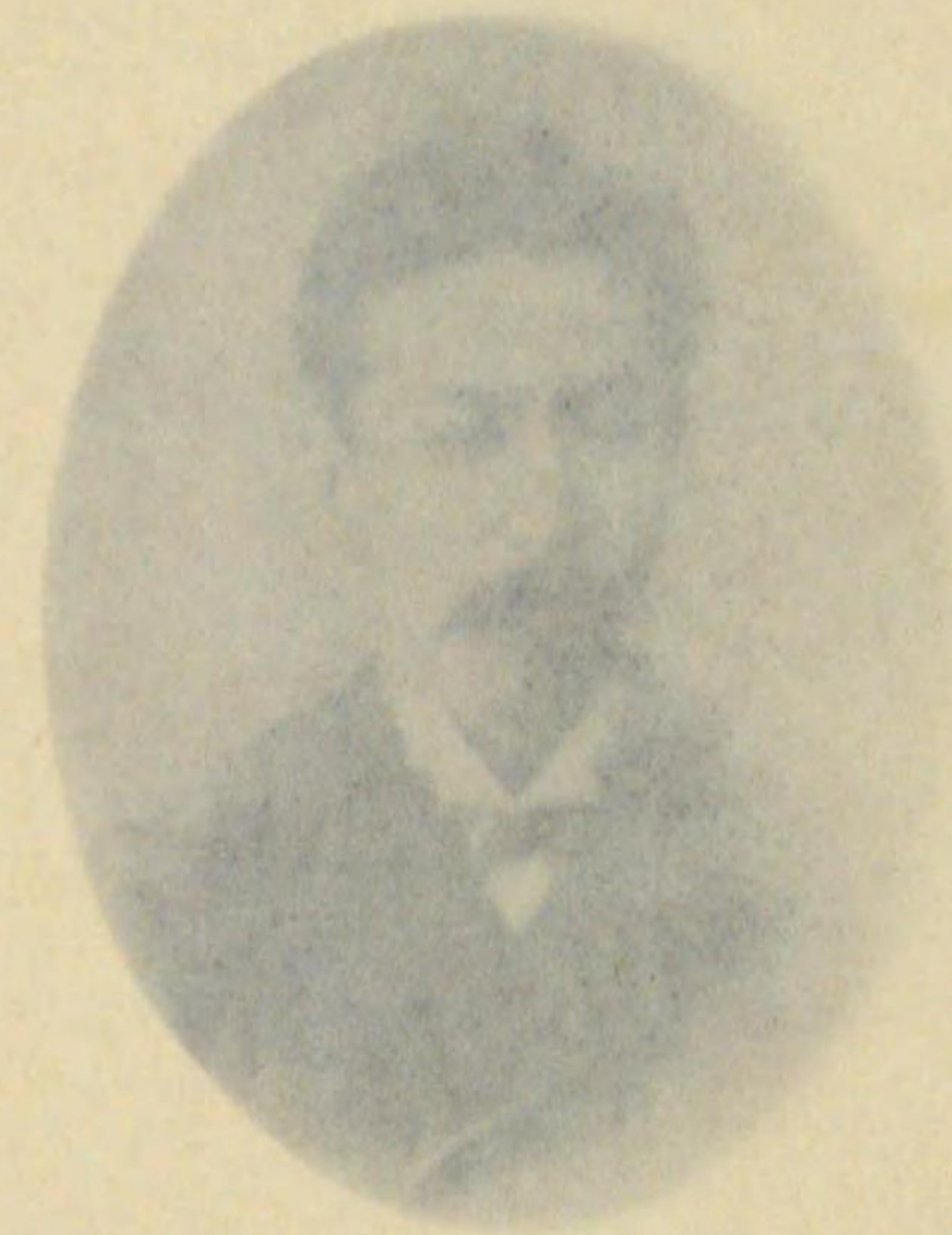
島増一郎



子健重



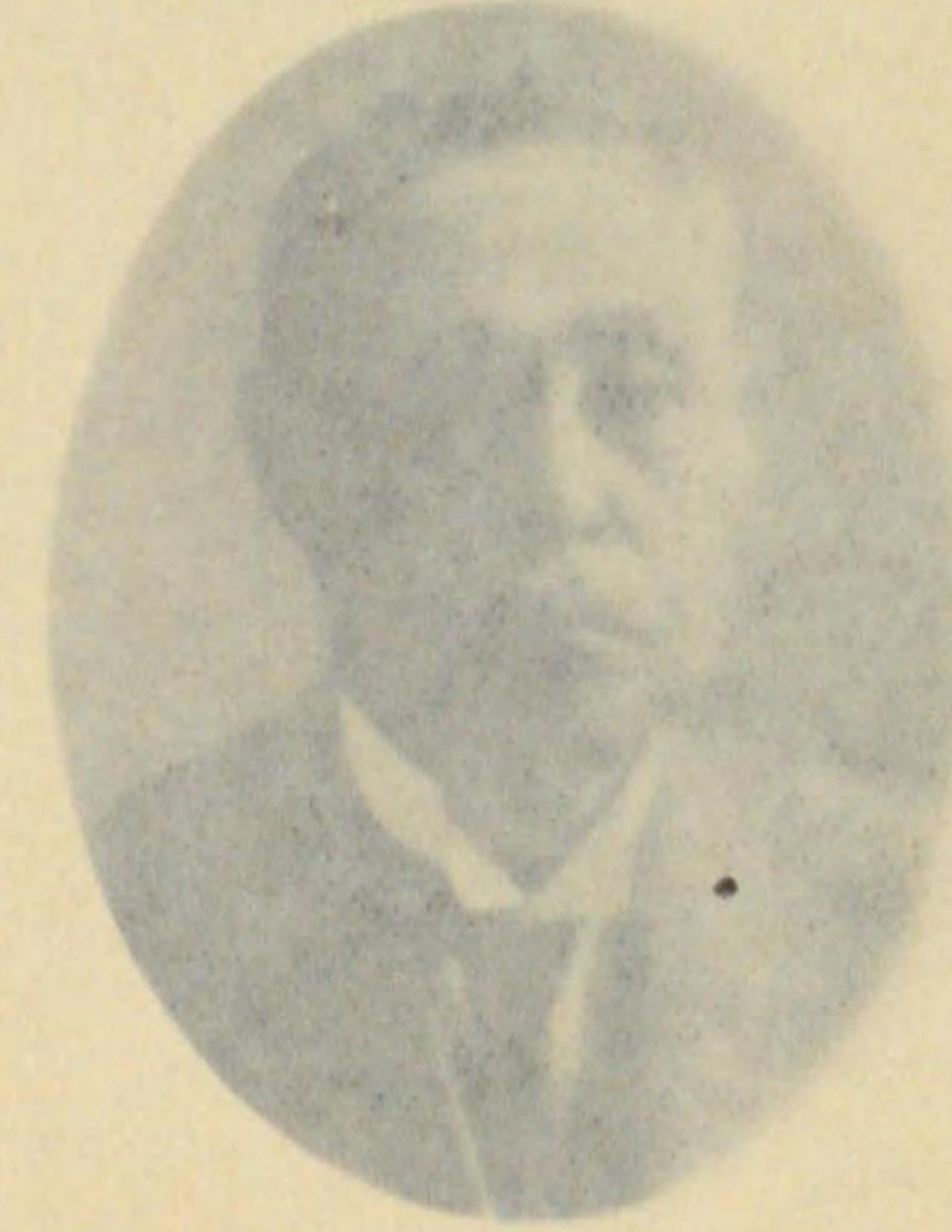
橋本善吾



清吉克孝



土方三郎



西内安兵衛

歷代郡部會副議長



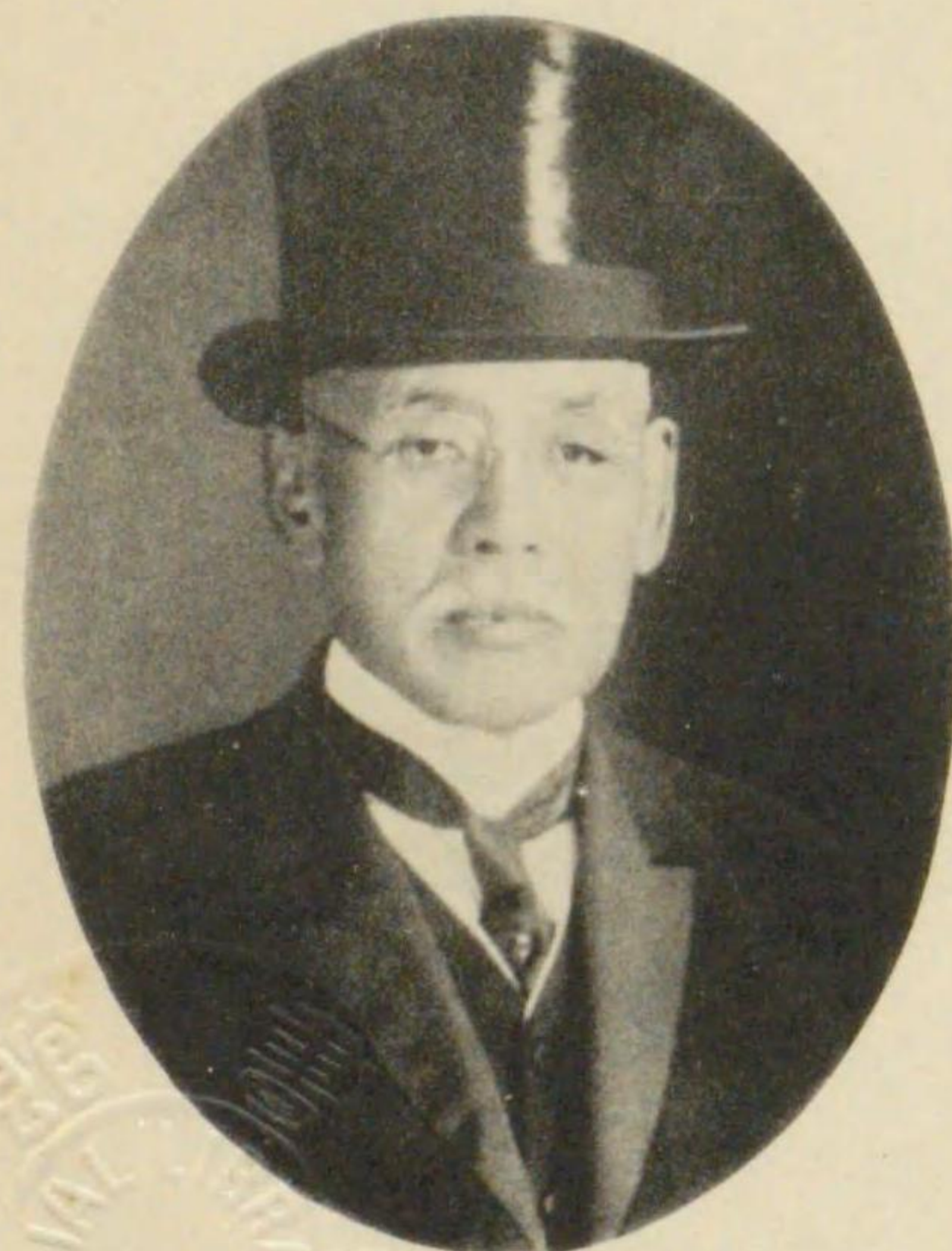




増島六一郎



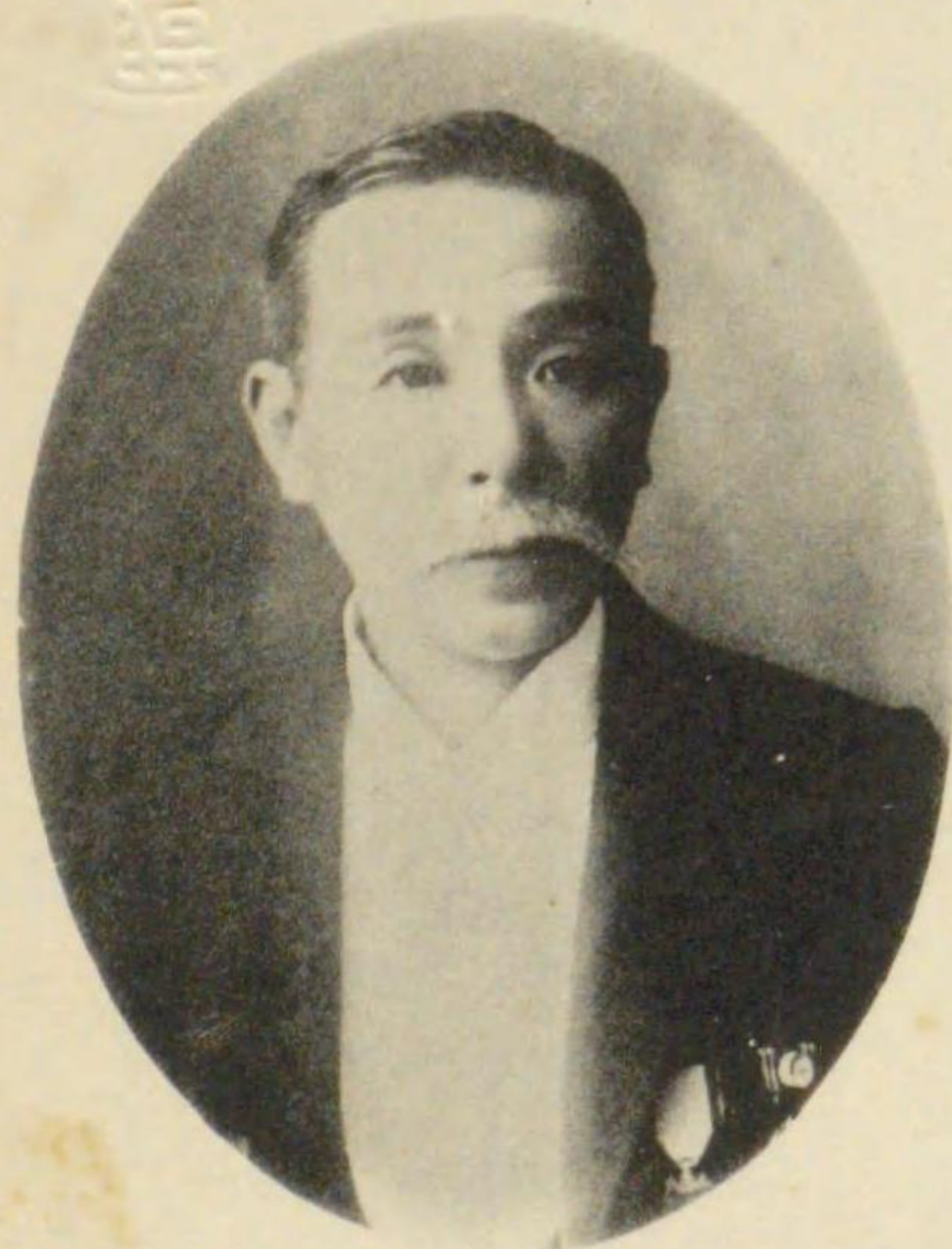
金子健重



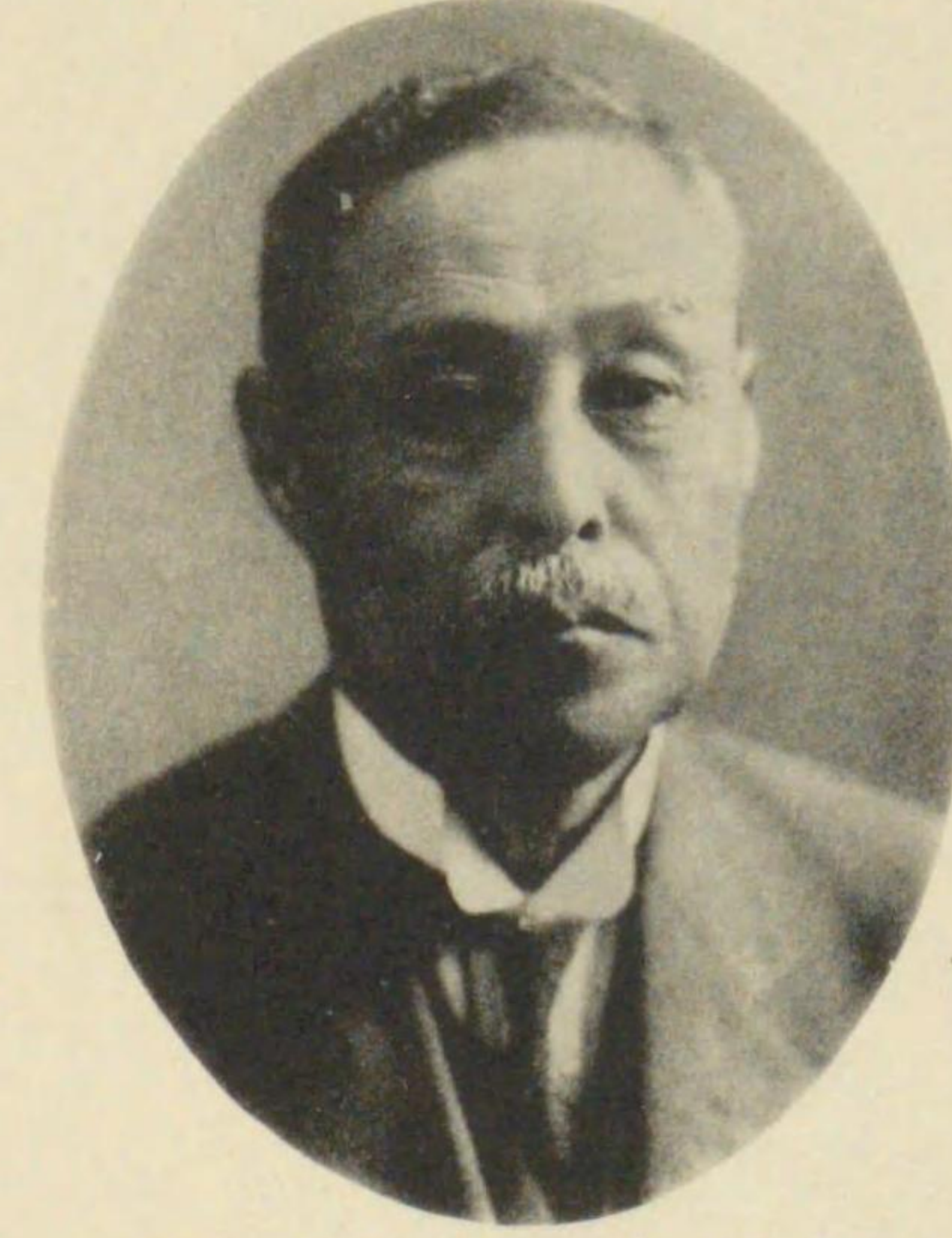
橋本省吾



浅香克孝



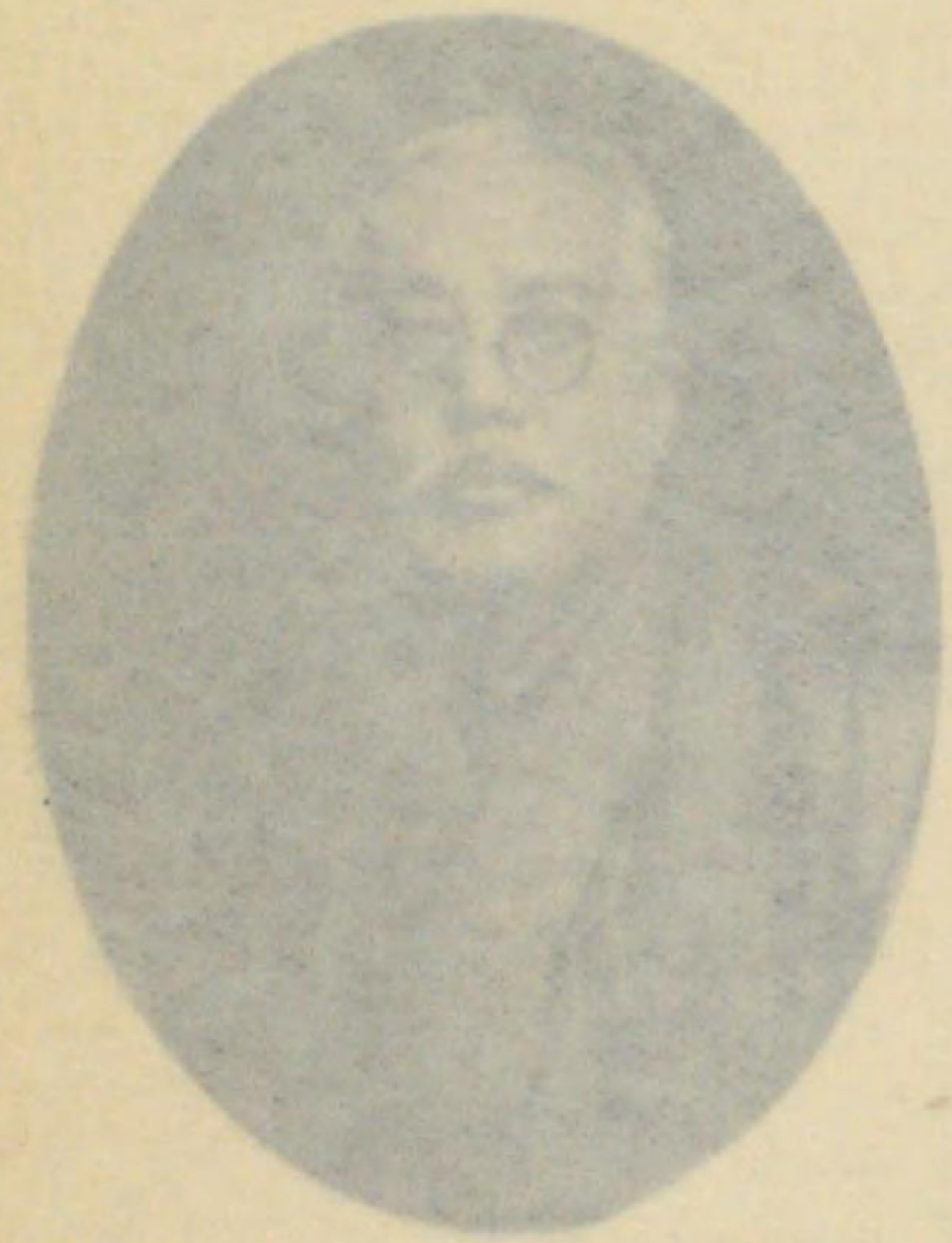
山田方三郎



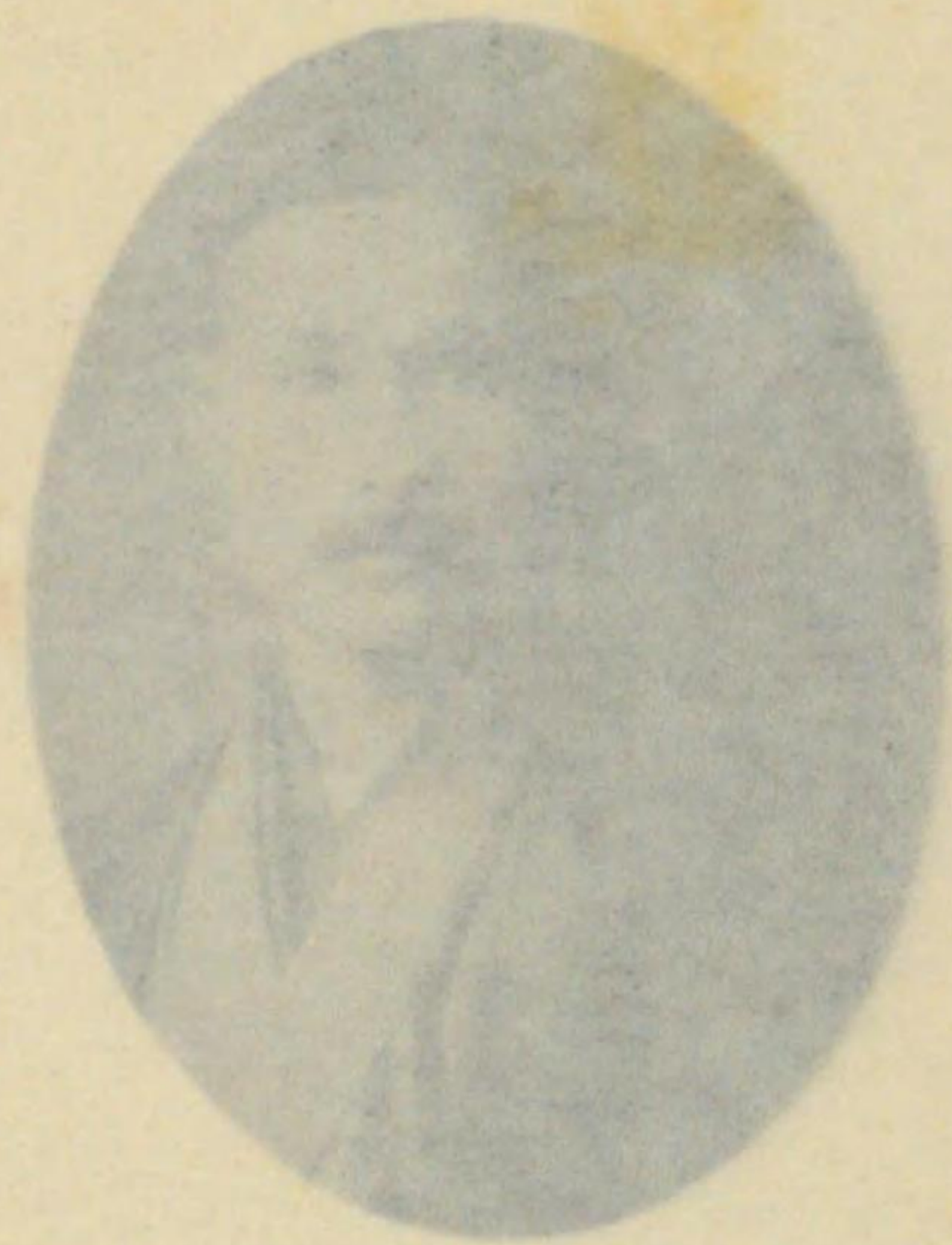
山内安兵衛

翼升雅濶會臨齋旻





森 退 藏



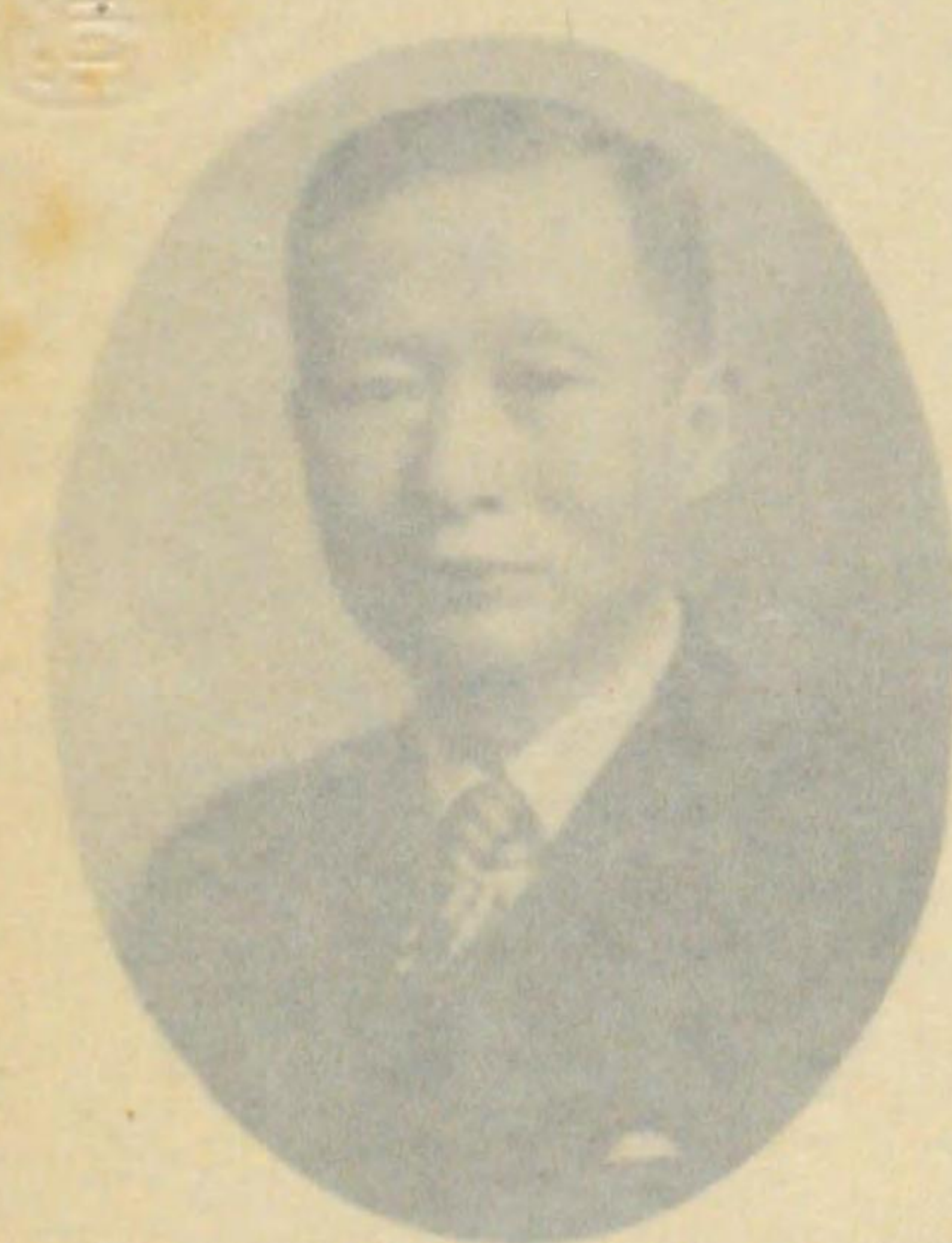
大 久 保 善 左 衛 門



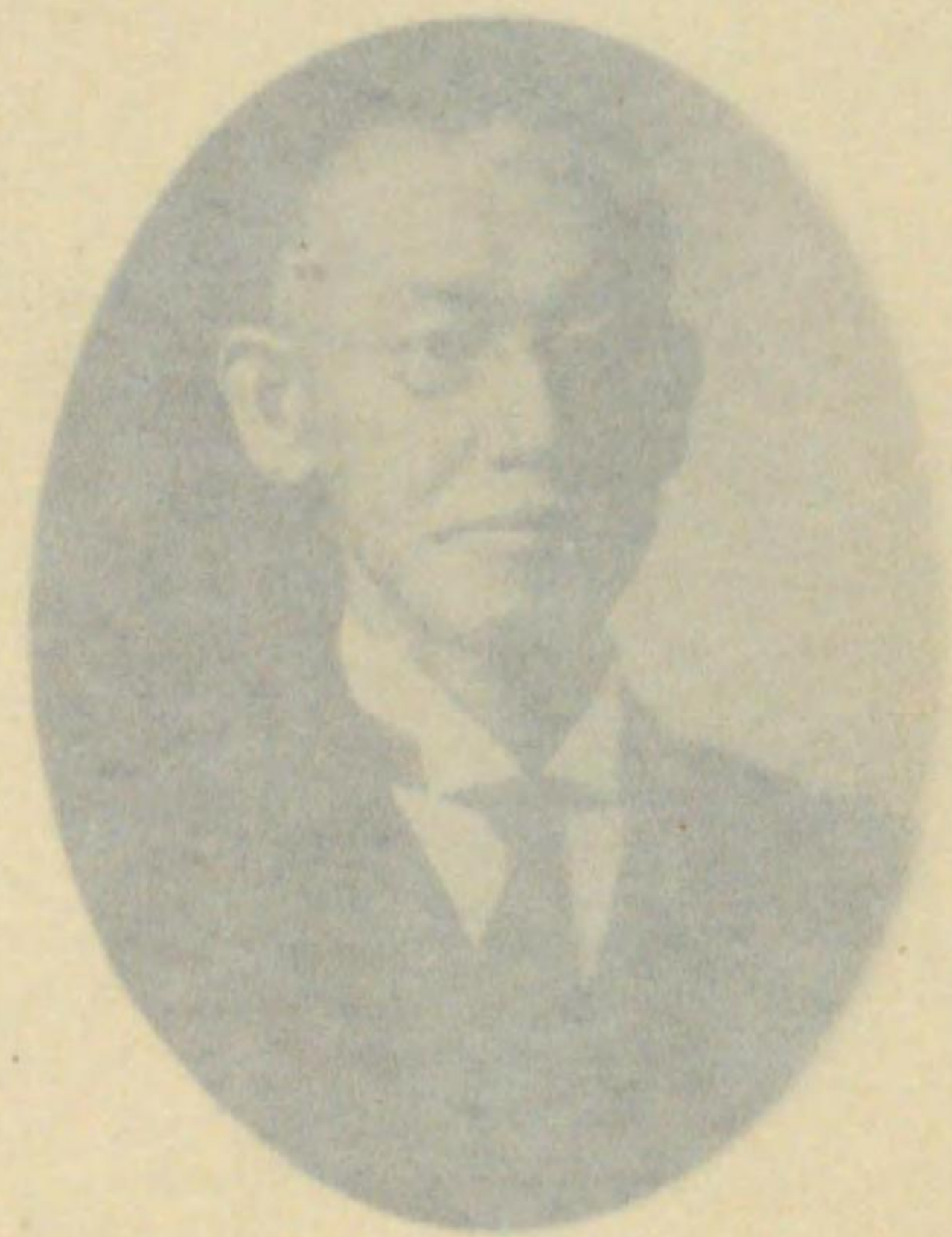
鶴 岡 英 文



小 澤 芳 重



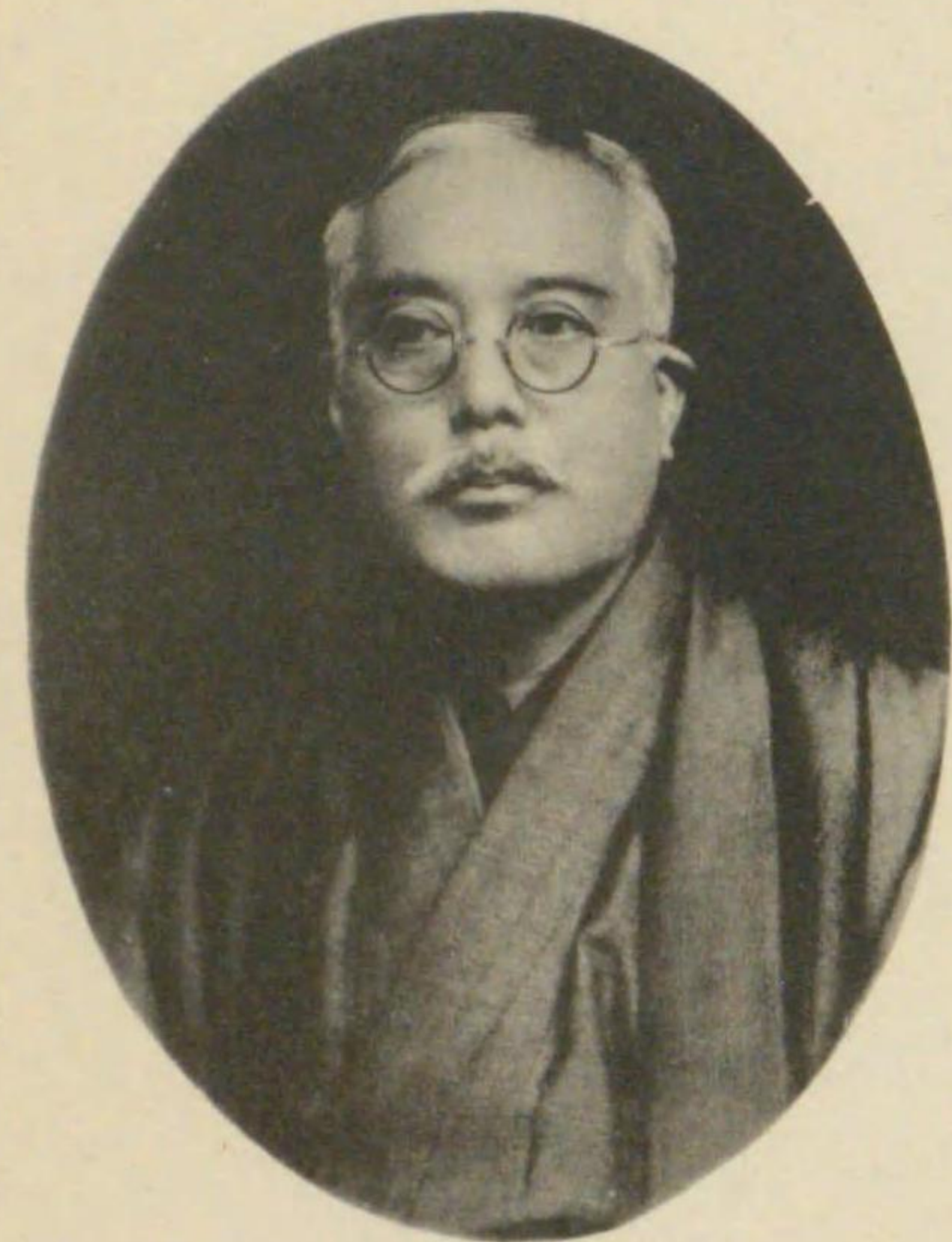
中 島 守 利



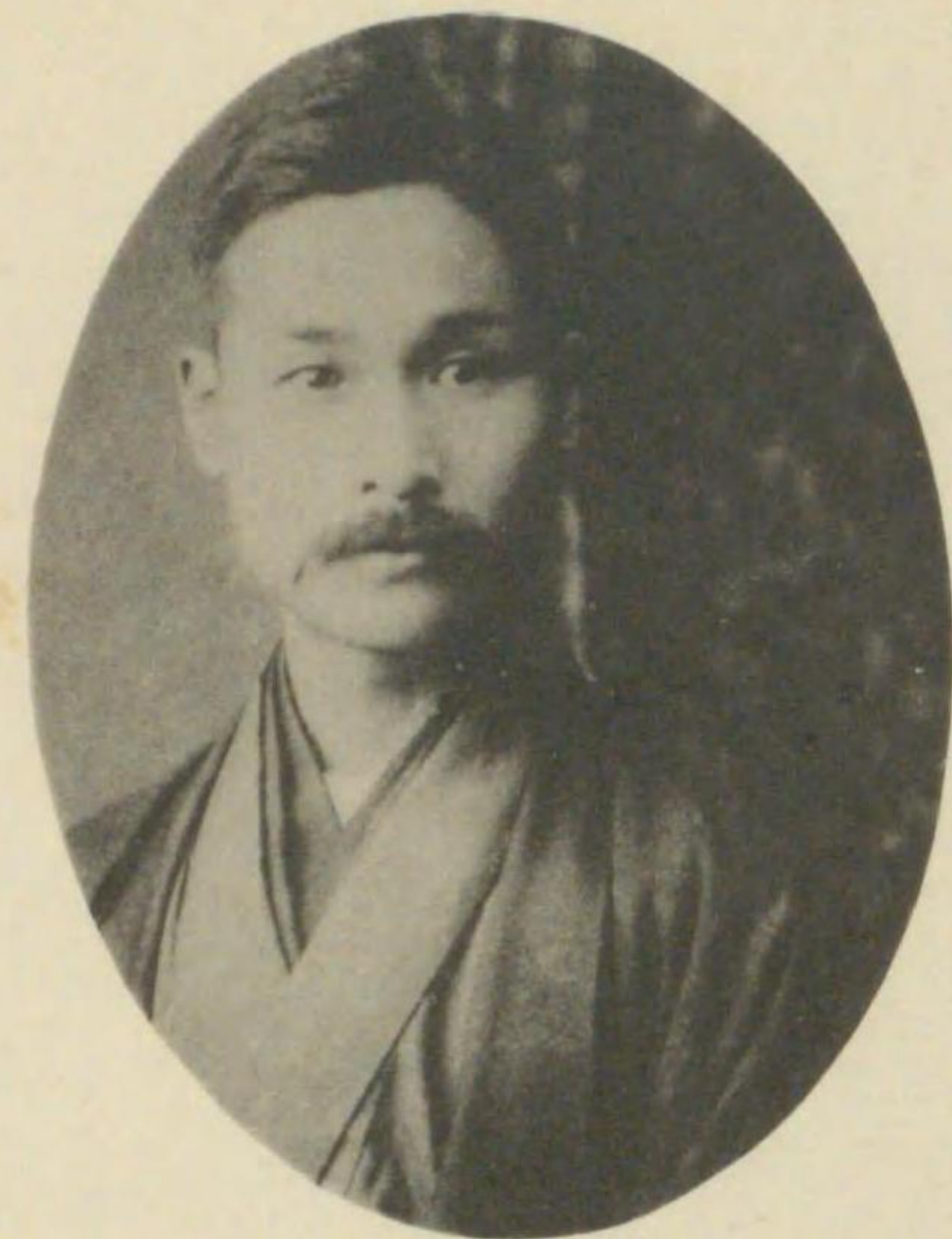
豊 田 周 作







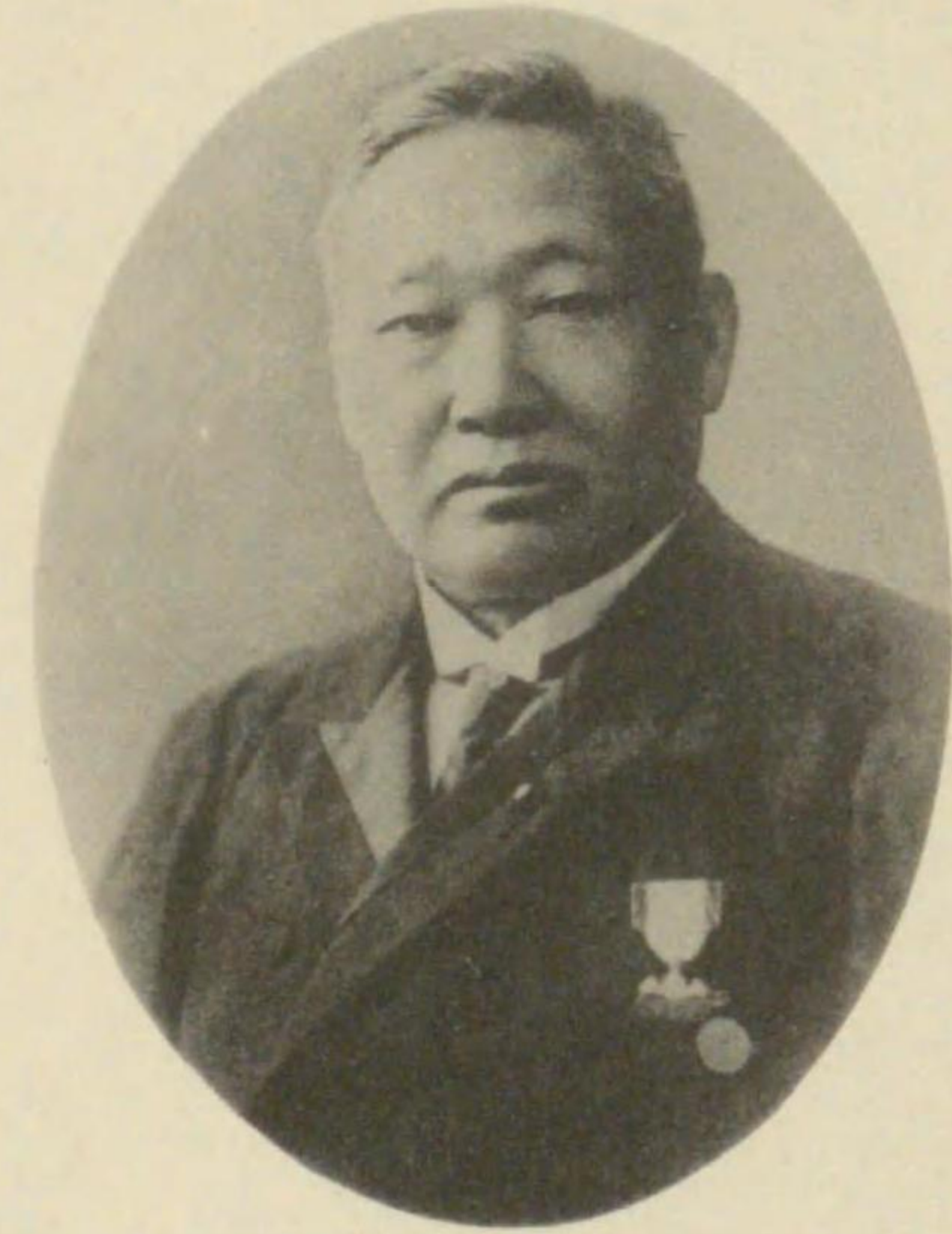
藏 退 田 森



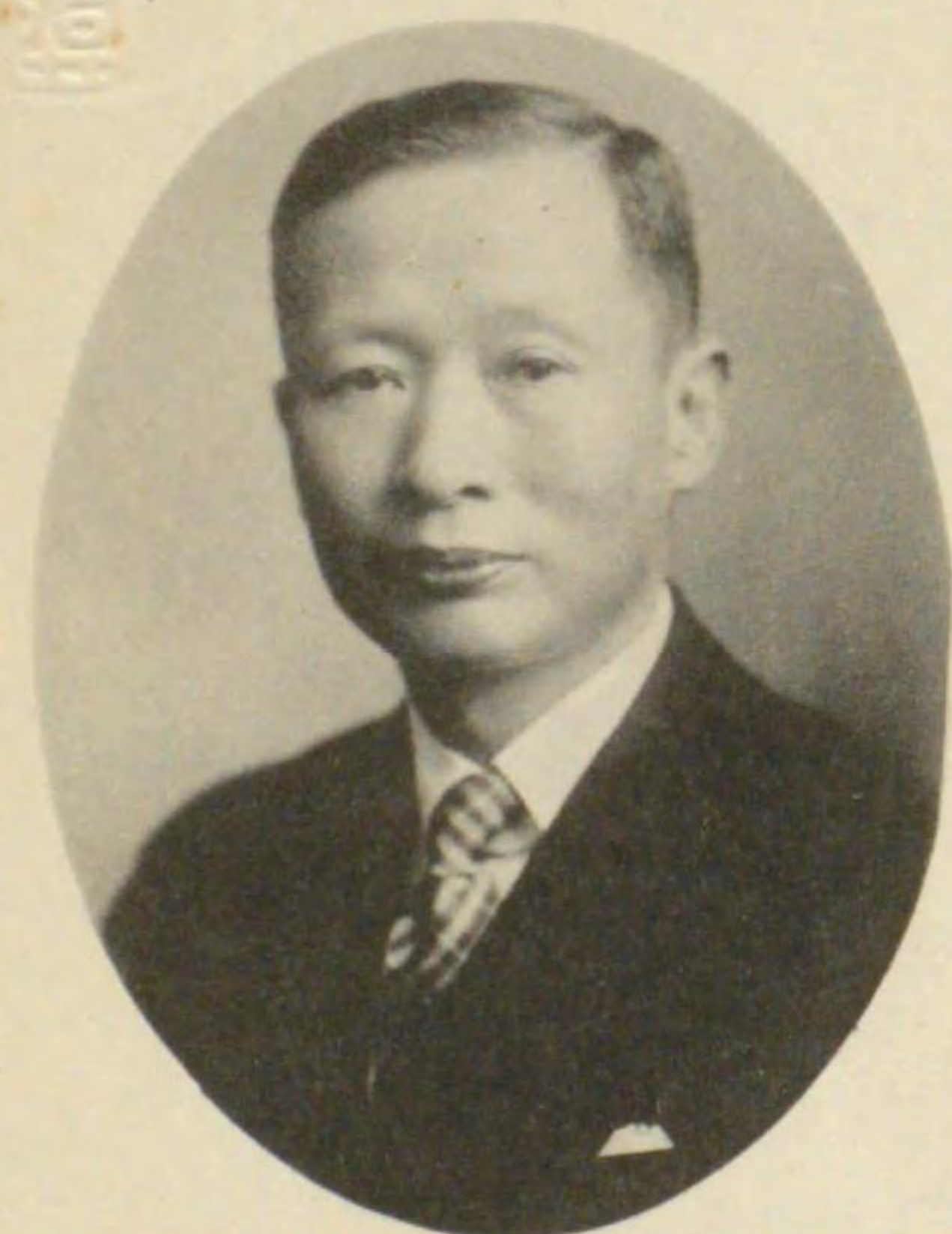
門 衛 左 善 保 久 大



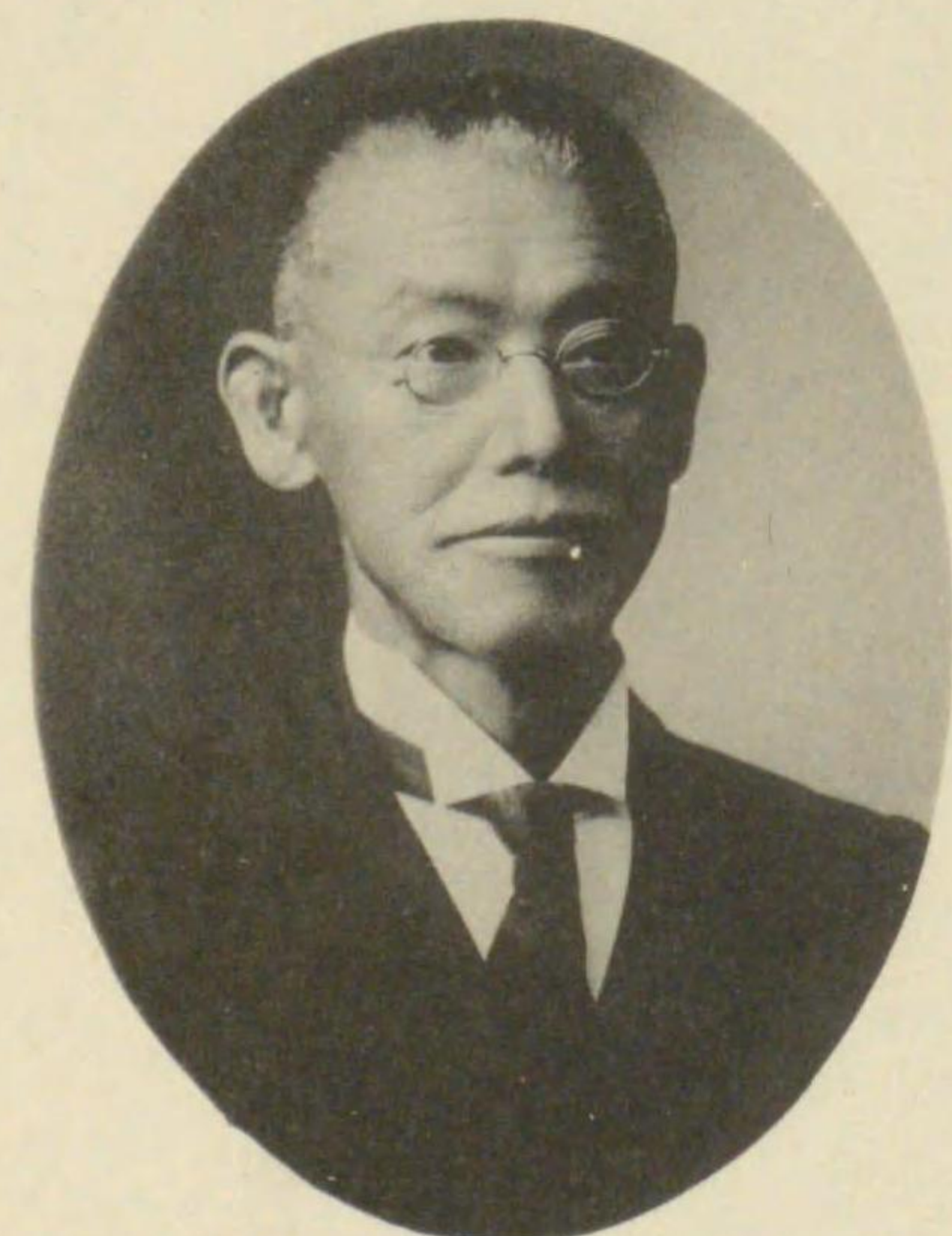
文 英 岡 鶴



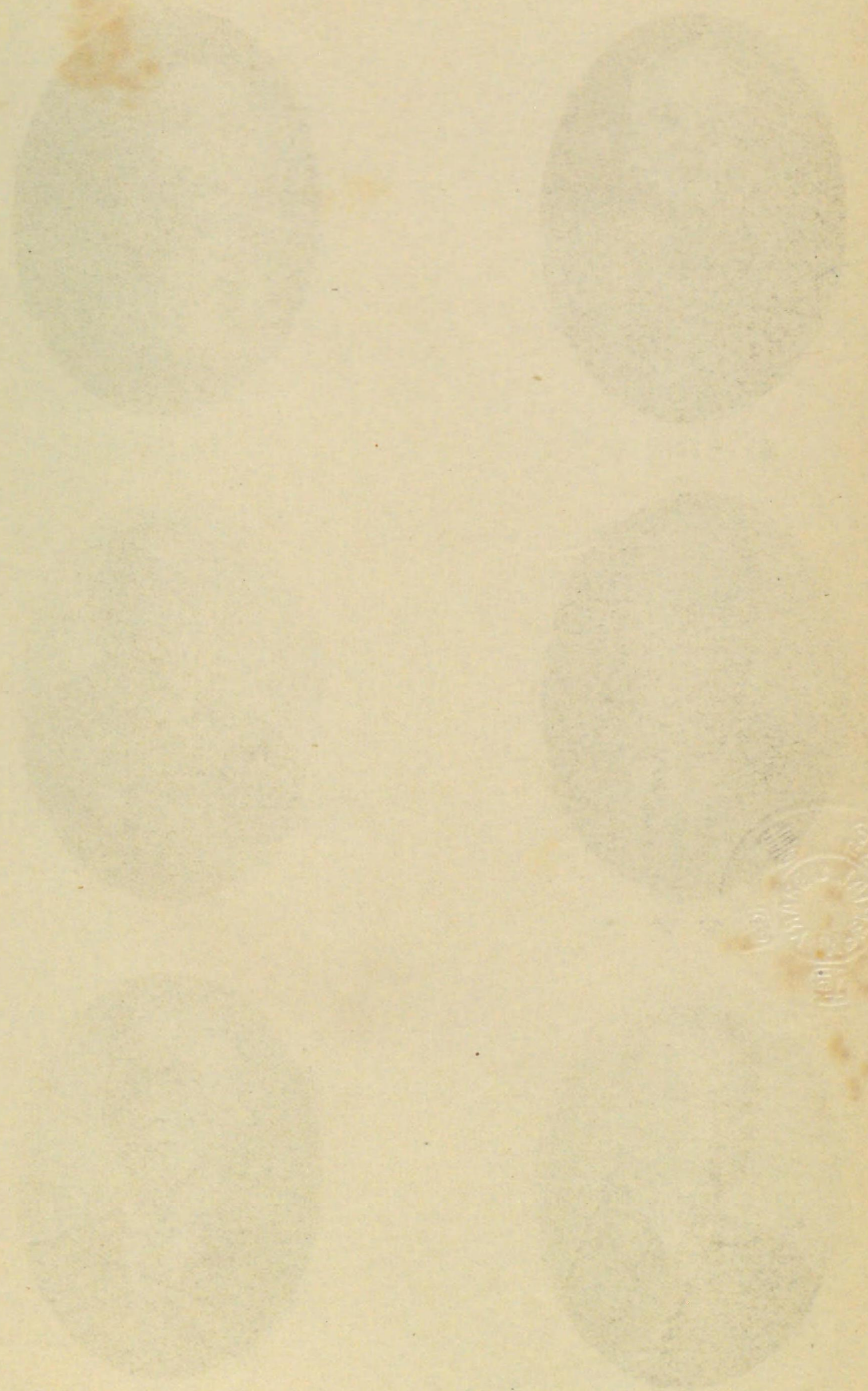
重 芳 澤 小



利 守 島 中



作 周 田 豊



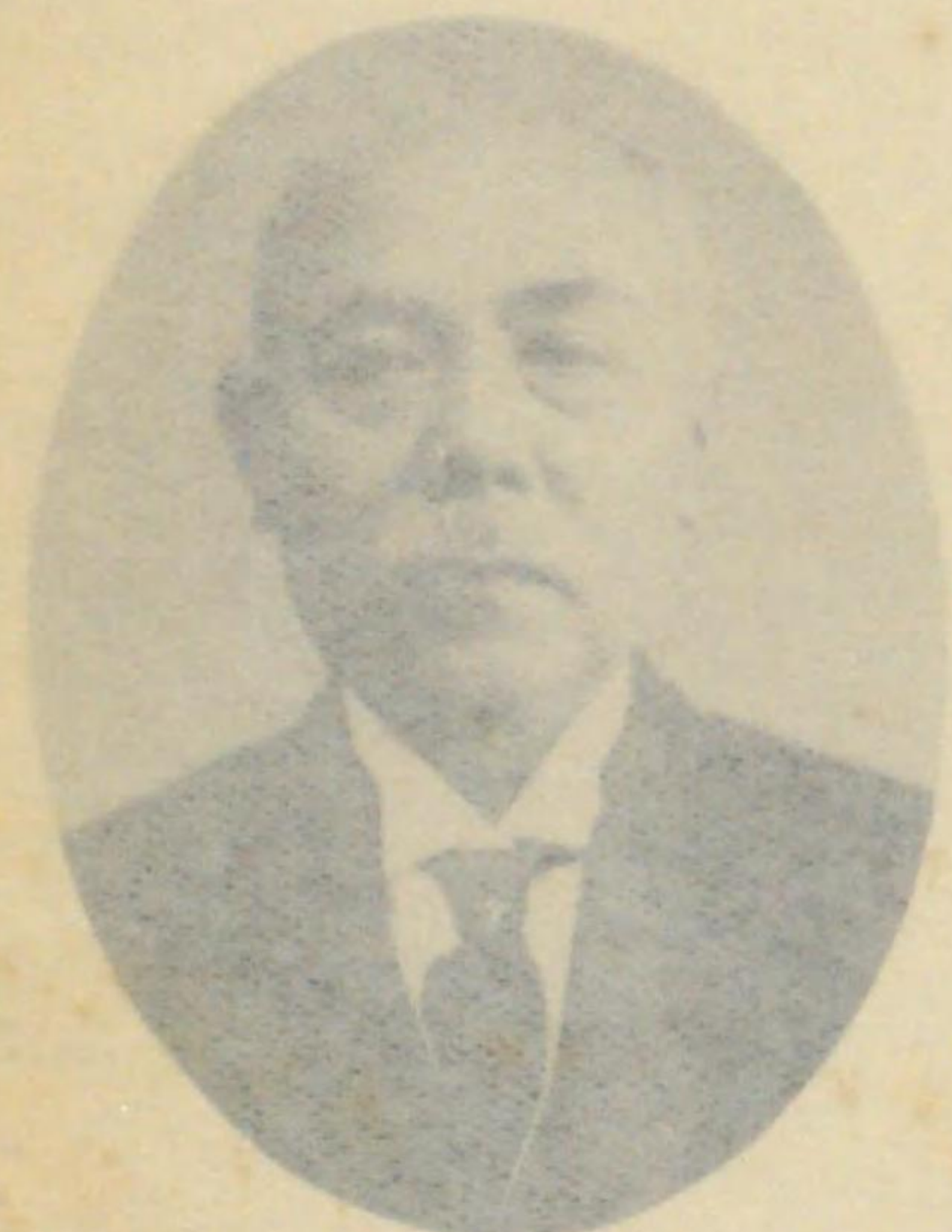




吉濱野川



郎太時川小



助太岸根



節田森



亮利本板



三朝野佳木







川野濱吉



小川時太郎



根岸太助



森田節



榎本利亮



木住野朝三

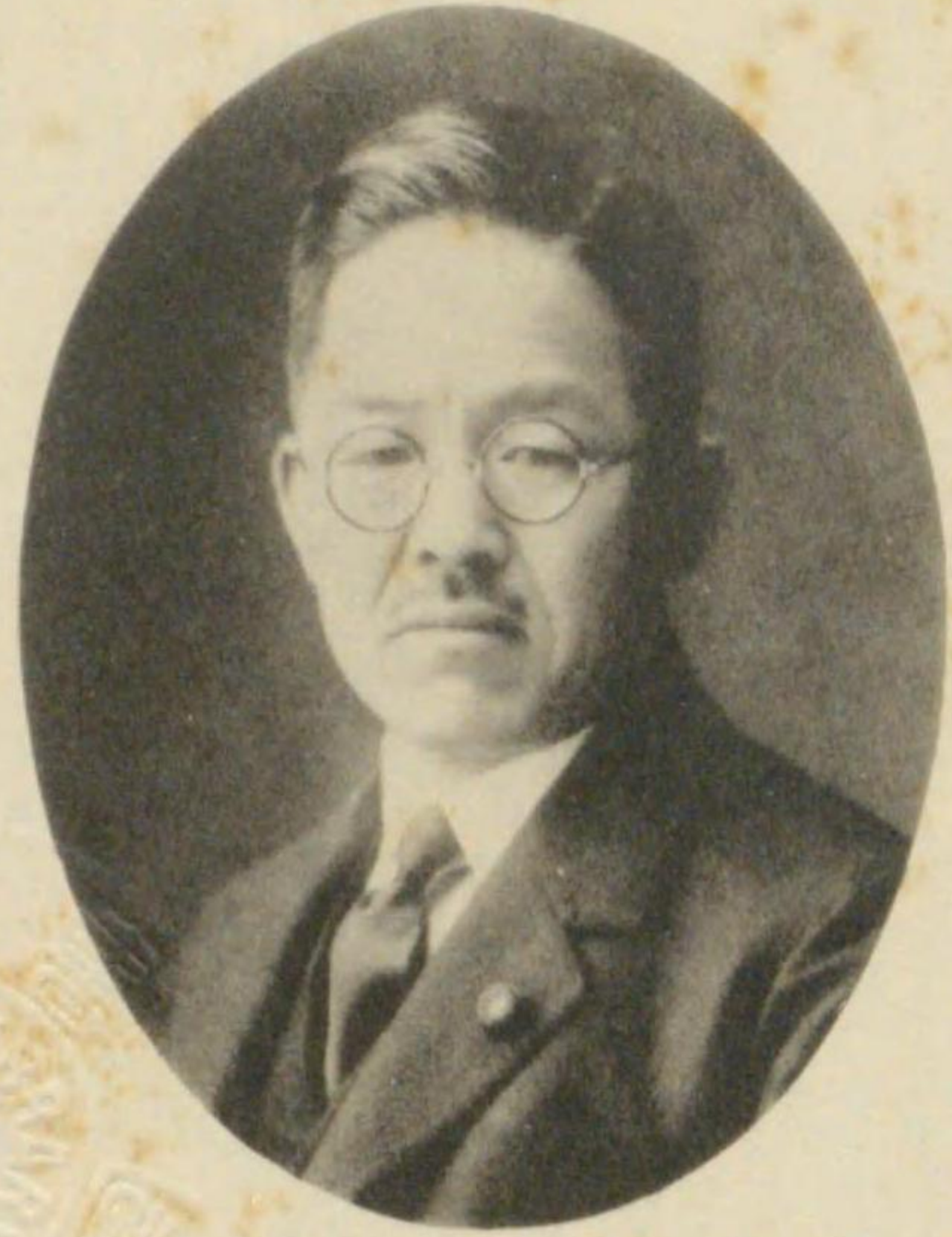




林 連







林 連



# 東京府史 府會篇

## 第一章 東京府の沿革

### 第一節 東京府の設置



明治元年四月、大總督府より、江戸市中取締を、假に徳川氏舊臣に委任し、舊寺社奉行町奉行勘定奉行をして、各其の役所に於て府政を處理せしめられた。同年五月十一日、江戸府を置かれたが、同月十九日を以て廢止せられ、同日更に江戸鎮臺府を置き、其の下に、市政裁判所(舊町奉行所に該當)・社寺裁判所(舊寺社奉行所に該當)・民政裁判所(舊勘定奉行所に該當)を開設し、三奉行を罷め、當分、部下の吏僚を留めて事務を擔當せしめられた。七月十七日、江戸鎮臺府を廢して鎮將府を置き、同時に東京府を創設して、市政社寺の事務を所管せしむることゝなつた。民政裁判所は八月八日會計局と改め、鎮將府の直轄



となる。同四年十一月十四日、従前の東京府を廢して、更に東京府を置き、以て今日に至つた。

關係法令拔萃 (東京府の設置に關する法令)

明治元年閏四月二日(太政官施政時代の如く布告布達達等の名稱はない)

江府鎮撫萬端取締ノ儀御委任候間可有精勤 大總督官 御沙汰候事 田安中納言大久保一翁勝安房

大總督府參謀

明治元年五月十二日

徵士江戸府判事被 仰付候事(江戸府ヲ置クノ令他ニ見ル所ナシ姑ク之ヲ存ス。未タ其廳ヲ設ケス) 木村三郎外四名

明治元年五月十九日御布告

今般江戸鎮臺被差置候ニ付寺社町勘定三奉行被廢別紙之通被 仰出候條諸事是迄之通可相心得事

但寺社奉行所ハ社寺裁判所町奉行所ハ市政裁判所勘定奉行所ハ民政裁判所ト相唱可

申事

右之通被 仰出候間不洩様可相觸事

大總督府

(別紙は鎮臺輔判事加勢等に任命せられた人名に付省く)

明治元年五月十九日

徳川龜之助へ

府下取締御委任被 仰付置候處今度當分江戸鎮臺被差置候ニ付テハ寺社町勘定三奉行所諸記録共明二十日中ニ悉ク引渡候様可致事

但奉行ハ被止候其以下役人之者當分出勤被 仰付候事 大總督府

明治元年七月十七日御布告

東京在勤

一鎮將

右東國事務ヲ總裁ス

一議定

一參與

右立法之權ヲ執リ議政官之體ニ法ルヘシ

一判事分課

諸侯 軍務 社寺 刑法 會計

一辨事

右行法之權ヲ執リ行政官ノ體ニ法ルヘシ

第一章 東京府の沿革 府の設置(關係法令拔萃)



一史官 筆生

右鎮將被差置東國政務御委任被 仰付候ニ付駿河甲斐伊豆相模武藏安房上總下總常陸上野下野陸奥出羽十三國管轄致シ諸候之事件ニ至ル迄總テ取扱可致事尤大事件ハ時々奏聞ヲ遂ケ候様被 仰付候事  
一東京府

知府事 掌府内事務

判府事

權判府事

京攝ハ申ニ不及諸府縣ニ至ル迄政務一定之規則被爲立候御趣意ニ付彼是齟齬不致様被 仰出候事 但諸藩々於テモ御趣意ヲ奉體認右政體ニ法リ追々改革終ニ天下一定之規則 相立候様之心懸可爲肝要候事

明治元年七月十七日

大總督宮鎮臺被免三條右大臣鎮將被 仰出候事

但自今鎮臺府之稱被廢候事

鎮 將 府

明治元年十月十八日御布告

東北未夕平定ニ至ラサルノ折柄一先鎮將府被相立候處今般 御東臨被爲遊候ニ付テハ 萬機宸斷ヲ以テ被仰出候御儀ニ付自今鎮將府被廢候事 行 政 官

### 第二節 東京府の位置面積及管轄

東京府は、本州の東南部に位し、東經百三十九度五十四分より百三十八度五十七分に及び、北緯三十五度三十分より三十五度五十三分の間に在り。東は南葛飾郡を以て千葉縣に隣り、北は南足立北豊島北多摩西多摩の四郡を以て埼玉縣に接し、西南は荏原南多摩北多摩及西多摩の四郡を以て神奈川山梨の二縣に界し、東南は東京灣に臨み、横濱港を咽喉として、關東平野の要位を占め、又遙に海を隔て、小笠原島附屬諸島伊豆七島附屬諸島を管轄す。

府廳舎は、初め幸橋門内舊郡山藩邸を假用したるも、明治二十七年八月五日、麴町區有樂町二丁目（現在丸ノ内三丁目）の新築廳舎に移る。

管内は、東西二十二里餘、南北十一里に涉り、面積百三十八方里餘（島嶼を）とす。分ちて、東京（區十五）八王子の二市及荏原豊多摩北豊島南足立南葛飾西多摩南多摩北多摩の八郡並小笠原島伊豆七島とし、各郡島を通して、六十九箇町百九箇村とす。

### 第三節 管轄地の沿革

明治元年七月十七日、江戸府内市政裁判所の管轄たりし全部今の麴町區神田區日本橋區京橋區本郷區本所區の全部及其の大部分、武藏縣の管轄たりし一部今の芝區麻布區赤坂區四谷區牛込區、及荏原豊島他各區の大部分、



兩郡内の一部を以て、東京府の管轄とす。

同年十一月五日、品川縣所轄、荏原郡中六箇村、豊島郡中二十九箇村、大宮縣所轄、豊島郡中二十三箇村、小菅縣所轄、豊島郡中三十四箇村、葛飾郡中四十九箇村を、東京府の管轄と爲し、東京府所轄、品川臺町及本立寺門前町等三十五箇町を、品川縣の管轄と爲す。

同二年四月二日、小菅縣所轄、豊島郡中船方堀ノ内の二箇村を、東京府の管轄と爲す。

同三年四月二十七日、元一橋從二位領地、武藏國葛飾郡永代新田及外二箇村を、東京府の管轄と爲す。

同年六月四日、下利根川寄洲開墾地、常陸國鹿島郡居切村堀割場を、東京府の管轄と爲す。

同四年十一月五日、品川縣所轄、荏原郡中八十五箇村、豊島郡中二十六箇村、多摩郡中三十二箇村を、東京府の管轄と爲す。

同年同月十七日、浦和縣所轄、豊島郡中二十九箇村を、東京府の管轄と爲す。

同年同月二十三日、東京府所轄、多摩郡中三十二箇村を、神奈川縣の管轄に移す。

同年十二月二十三日、東京府所轄、下利根川寄洲開墾地を、新治縣の管轄に移す。

同五年正月二十四日、彦根縣所轄、荏原郡中十箇村を、東京府の管轄と爲す。

同年二月八日、小菅縣所轄、足立郡中四十一箇村、葛飾郡中七十二箇村を、東京府の管轄と爲す。

同年八月十九日、神奈川縣所轄、多摩郡中中野村外三十一箇村を、東京府の管轄と爲す。

同七年十二月二十二日、東京府所轄、豊島郡岩淵町、埼玉縣所轄、足立郡川口町、從前の境界を廢し、更に、荒川の中央を以て境と爲し、南寄を岩淵本宿町、北寄を川口町と定め、飛地の荒川以南に在るものを、岩淵本宿町に屬するものとし、本宿町飛地の川口町に錯雜せる分及東京府所轄、豊島郡下村飛地の荒川以北に在る分を、埼玉縣の管轄と爲す。

同八年十月二十五日、埼玉縣所轄、足立郡中舍人町を、東京府の管轄と爲す。

同九年九月十四日、埼玉縣所轄、武藏國葛飾郡中寄卷村の飛地を、東京府所轄、同郡小合村に屬せしむ。

同十一年一月十一日、静岡縣所轄、伊豆國七島、大島、八丈島、利島、新島、神津島、三宅島、



御藏島を東京府の管轄と爲す。

同十三年十月八日、内務省所轄、小笠原島を東京府の管轄と爲す。

明治十八年六月、千葉縣所轄、東葛飾郡欠真間村飛地を、東京府所轄、南葛飾郡下鎌田村及同郡當代島村に編入す。

明治二十一年十一月、東京府所轄、荏原郡丸子村飛地を、神奈川縣所轄、橋樹郡中丸子村に編入し、同村飛地を下丸子村に編入す。

明治二十二年三月、東京府所轄、北豊島郡成増村飛地を、埼玉縣新座郡下新倉村に、本府南足立郡加々皿沼村並同郡入谷村飛地を、同縣北足立郡平柳領領家村に、新座郡白子村飛地を、北豊島郡下土支田村に、新座郡下樽村並橋戸村飛地を、北豊島郡上土支田村に、新座郡浮間村飛地を、北豊島郡本蓮沼村に、平柳領領家村飛地を加々皿沼村並入谷村に編入す。

同二十二年五月、東京府所轄、東京に、市制を施行して、東京市を置き、從來の十五區を以て、其の區域と爲す。

明治二十四年六月、東京府所轄、北豊島郡石神井村の内、大字上土支田と、埼玉縣新座郡樽橋村とを合併し、大泉村と稱し、東京府北豊島郡に編入す。

同二十四年九月九日、東京府所轄、小笠原島の南南西沖北緯二十四度零分より同二十五度三十分、東經百四十一度零分より同百四十一度三十分の間に散在する三島嶼を、小笠原の所屬と爲し、其の中央に在るものを硫黄島と稱し、其の南に在るものを南硫黄島、其の北に在るものを北硫黄島と稱す。

同二十六年四月一日、神奈川縣西多摩郡、南多摩郡、北多摩郡を、東京府管轄に移す。同二十八年四月一日、東京府千葉縣の境界を、左の如く變更す。

一 東京府南葛飾郡篠崎村大字伊勢屋の内、大字上鎌田の内、江戸川以東は、千葉縣東葛飾郡行徳町に編入す。

一 千葉縣東葛飾郡行徳町大字大和田の内、大字本行徳ノ内、江戸川以西は、東京府南葛飾郡篠崎村に編入す。

一 千葉縣東葛飾郡南行徳村大字欠真間の内、字前野及字妙見島は、東京府南葛飾郡瑞穂村に編入す。

一 千葉縣東葛飾郡浦安村大字堀江の内、江戸川以西は、東京府南葛飾郡葛西村に編入す。

同二十九年四月、東多摩、南豊島の二郡を廢し、其の區域を以て豊多摩郡を置く。



同三十年八月、鳥島を小笠原島の附屬とす。

同三十一年七月、北緯二十四度十四分東經百五十四度に在る島嶼を、南鳥島と名け、小笠原島の附屬とす。

同三十三年四月、鳥島を八丈島の附屬とす。

同四十年四月一日、埼玉縣北足立郡保谷村を、東京府北多摩郡に編入す。

明治四十五年四月一日、東京府及神奈川縣の境界を變更し、東京府北多摩郡調布町、狛江村、砧村、荏原郡玉川村、調布村、矢口村、六郷村、羽田町、神奈川縣橋樹郡稻田村、高津村、中原村、御幸村、川崎町、大師河原村に涉る、従前の境界を廢し、更に多摩川を中心として、其の以南を前記神奈川縣各町村に編入し、其の以北を前記東京府各町村に編入す。

大正六年九月一日、南多摩郡八王子町を廢し、其の區域を以て、八王子市を置く。

大正九年四月一日、豊多摩郡内藤新宿町を廢し、其の區域を東京市四谷區に編入す。

大正十五年十月一日、埼玉縣北足立郡横曾根村と、東京府北豊島郡岩淵町の境界を變更し、横曾根村大字浮間を岩淵町に編入す。

## 第二章 府會の組織

### 第一節 議員選舉區及定數

選舉區及定數沿革（府縣會規則時代） 府會議員の選舉は、明治十一年七月、太政官第十八號布告府縣會規則に基き、初めて行はれたもので、東京府知事は同規則に依り、郡區（選舉區）の大小に應じ、選舉すべき議員の數を定めたのである。乃ち、明治十一年十二月、一郡區の戸數一萬五千未滿は二人、一萬五千以上は三人を、各郡區より選舉するものとし、當時本府の管轄に屬する麴町、神田、日本橋、京橋、芝、麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川、本郷、下谷、淺草、本所、深川の十五區、荏原、東多摩、南豊島、北豊島、南足立、南葛飾の六郡に對し、定員總數を四十九人と定めた。同十三年七月、府會の決議に依り、戸數の標準を改めて人口とし、即ち、人口三萬未滿は二人、三萬以上五萬未滿は三人、五萬以上七萬未滿は五人とし、定員總數を七十五人に増加し、同二十六年四月、西



多摩・南多摩・北多摩の三郡が、神奈川縣より本府の管轄に移るに及び、十四人を増加し、定員總數八十九人となつた。爾後明治二十九年四月、東多摩・南豊島の二郡を廢して、豊多摩郡を置かれたるも、別に定數に變更なく、明治三十二年六月に臻つた。

(府縣制時代) 明治三十二年、府縣制を施行するに及び、府會議員の選舉區及定數に關する事項も、新に府縣制を適用することとなつた。乃ち、同制第五條、人口七十萬未滿ハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル毎一人ヲ增シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎一人ヲ增スとの規定に據り、明治三十二年七月、定員總數を五十一人と定め、同三十六年八月一部分を更正して、神田區の四人を三人に、京橋區の三人を四人にしたが、更に同三十八年二月、定員總數を五十七人に、同四十二年十二月、同しく六十四人に、大正四年同しく六十六人に、同六年九月、南多摩郡八王子町を廢して八王子市を新設せられたるに付、南多摩郡選舉區の議員定員二人を一人に改め、八王子市選舉區の定員を新に一人と定めたるも、總數に異動なし、同八年八月、同しく七十四人に改めた。同十一年十月、西多摩郡及北多摩郡の從來一郡一選舉區なりしを、各二箇選舉區に分割し、且府下各選舉區に涉り議員定數に變更はあつたが、總數に異動はない。昭和三年一月、定員總數を八十五人

に改め、同時に西多摩郡及北多摩郡の一郡二箇選舉區の制を復舊して、一郡一選舉區に改めた。

選舉區及定數一覽 府會議員選舉區及定數に關する概括的沿革は前述の通りであるが、猶ほ、各選舉區別議員定數一覽表を左に掲げる。

選舉區	府會議員選舉區別定數一覽 其ノ一 (府縣會規則時代)	
	明治十一年決定議員定數 (初期選舉ニ適用)	明治十三年決定議員定數 (増員ニ適用) (二十六年改選及以後ノ選舉ニ適用)
麴町區	二	三
神田區	三	五
日本橋區	三	五
京橋區	三	五
芝區	三	五
麻布區	二	二
赤坂區	二	二
四谷區	二	二



選 舉 區	定 數 改 正 時 期	議 員 定 數	議 員 定 數 改 正 時 期	議 員 定 數	議 員 定 數 改 正 時 期	議 員 定 數	議 員 定 數 改 正 時 期	議 員 定 數	議 員 定 數 改 正 時 期	議 員 定 數
赤坂區		一		二		一		一		一
麻布區		一		二		二		二		二
芝橋區		三		三		三		四		四
京橋區		三		三		三		四		四
日本橋區		四		三		三		三		三
神田區		四		三		三		三		三
麴町區		二		一		一		一		一
選 舉 區	明 治 三 十 年 決 定	議 員 定 數	明 治 三 十 年 改 正	議 員 定 數	明 治 四 十 年 改 正	大 正 四 年 議 員 定 數	大 正 六 年 議 員 定 數	大 正 八 年 議 員 定 數	大 正 十 一 年 議 員 定 數	昭 和 三 年 議 員 定 數

府會議員選舉區別定數一覽

其の二

(府縣制施行以後の分)

總計	北多摩郡
四九	二一
七五	二〇
八九	三四五

南多摩郡	西多摩郡	南葛飾郡	南足立郡	北豐島郡	南豐島郡	東多摩郡	荏原郡	市部	深川區	本所區	淺草區	下谷區	本郷區	小石川區	牛込區
一	一	二	二	二	二	二	二	三	三	三	三	二	二	二	二
一	一	四	三	四	二	二	五	五	四	四	五	四	三	三	三
五	四	四	三	四	二	二	五	五	四	四	五	四	三	三	三



南葛飾郡	南足立郡	北豊島郡	豊多摩郡	荏原郡	八王子市	設置 南多摩郡 大正六年九月 南多摩郡八王子 市部計	深川區	本所區	淺草區	下谷區	本郷區	小石川區	牛込區	四谷區
二	一	二	二	二	一	三六	三	三	四	三	二	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	二	二	二	一	四二	三	三	六	四	三	二	二	一
二	一	三	三	三	一	四六	三	四	七	四	三	二	二	二
三	一	四	四	四	一	四四	四	四	五	四	三	三	三	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四	一	六	五	四	一	四七	四	五	五	四	三	四	三	一
四	一	八	六	五	一	四三	四	五	五	四	三	三	二	一
七	二	一	三	九	〇	一	三六	三	四	四	三	三	三	二

總計	郡部計	北多摩郡	南多摩郡	西多摩郡
五一	一五	二	二	二
一	一	一	一	一
五七	一五	二	二	二
六四	一八	二	二	二
六六	二二	二	二	二
一	一	一	一	一
七四	二七	二	二	二
七四	三一	選第 選舉區 二	選第 選舉區 一	選第 選舉區 一
八五	四九	二選 復舊區 一	一選 郡一 復舊區 三	二選 復舊區 一

關係法令拔萃

(議員選舉區及定數に關する法令)

府縣會規則

(明治十一年七月太政官第十八號布告)

第一條 府縣會ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及其ノ徵收方法ヲ議定ス  
 第十條 府縣會ノ議員ハ郡區ノ大小ニ依リ每郡區ニ五人以下ヲ選フ  
 每郡區議員定數ノ外補缺員トシテ十人以下ヲ増選スルヲ得(明治十五年太政官第十號布告)  
 (參照) 府縣會規則は、明治十三年太政官第四十九號布告、同十四年第四號、同十五年第十號、第六



十八號、同十七年第二十八號及同二十二年法律第六號を以て改正せられたるも、同三十二年七月府縣制施行と共に同制第四百四十六條により爾後其の效力を失ふ。

市制施行ニ付府縣會議員ノ選舉  
及市公民ノ資格ニ關スル件 (明治二十二年二月法律第七號)

第二條 郡部ト經濟ヲ異ニスル區ニ市制ヲ施行スルモ府縣會議員選舉ノ區域及區部會郡部會ニ係ル規定並區部議員ノ數ハ從前ノ通タルヘシ但區部ハ改テ市部ト稱スヘシ

府縣制 (明治三十二年三月法律第六十四號)

第四條 府縣會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス選舉區ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ東京市京都市大阪市其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル市ニ於テハ區ノ區域ニ依ル

第五條 府縣會議員ハ府縣ノ人口七十萬未滿ハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増ス  
各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

前項議員ノ配當方法ニ關スル必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム  
(大正三年法律第三十五號を以て左の通改正す)

第五條中内務大臣ノ許可ヲ得テ第三項ヲ左ノ如ク改メ第四項ヲ追加ス  
議員ノ配當ニ關シ必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス

(大正十一年法律第五十五號を以て左の通改正す)

第四條ニ左ノ二項ヲ加フ

府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ル選舉區ヲ分チテ數選舉區ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツ場合ニ付テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(參照) 府縣制は、大正三年法律第三十五號、同十一年第五十五號及同十五年第七十三號を以て改正せらる。

府縣會議員ノ配當ニ關スル件 (明治三十二年五月内務省令第十七號)

第一條 府縣制第五條ニ依リ各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ人口ヲ標準トシテ定ムヘシ特別ノ事情アル府縣ニ付テハ内務大臣ハ別ニ配當標準ヲ定ム  
本條ノ人口ハ内務大臣ノ告示シタル人口ニ依ル

第二條 府縣會議員ノ配當更正ヲ要スルトキハ次ノ改選期ニ於テスヘシ  
議員ノ定數異動若ハ選舉區ノ増減ニ基ク配當更正ヲ要スル場合ハ此限ニアラス  
(參照) 府縣會議員の配當に關する件は明治四十年内務省令第二十二號を以て廢止せらる。

府縣郡市町村ノ人口及府縣  
制郡制中ノ議員配當ノ件 (明治四十年八月内務省令第二十二號)

(條文は次に掲載せる内務省令第九號と趣旨に於て大差なきに付茲に省略す)



〔參照〕 府縣郡市町村の人口及府縣制郡制中の議員配當の件は、大正三年內務省令第九號を以て廢止せらる。

府縣郡島嶼市區町村ノ人口及府縣制ニ依ル議員配當ノ件

(大正三年六月內務省令第九號)

第一條 府縣制市制町村制明治四十四年勅令第二百四十四號及本令ニ規定セル府縣郡島

嶼市區町村ノ人口ハ內閣統計局ニ於テ官報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

第四條 府縣制第五條郡制第五條ニ依リ各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員郡會議員

ノ數ハ人口ニ比例シテ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ府縣ニ付テハ內務大臣

郡ニ付テハ府縣知事ハ別ニ配當標準ヲ定ムルコトヲ得

第五條 新ニ市ヲ置キタル爲之ニ配當スヘキ府縣會議員ハ從前其ノ市ノ屬シタル選舉區

ヨリ選出シタル議員ノ中ニ就キ府縣知事抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但シ市ニ住所ヲ有スル議

員アルトキハ其ノ議員ヲ以テ市選出ノ議員トス若シ市ニ住所ヲ有スル議員市ノ配當議

員數ヨリ多キトキハ其ノ議員ノ中ニ就キ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

(大正十年內務省令第二十五號を以て左の通改正す)

第一條ニ但書ヲ追加ス

但シ部隊艦船及監獄内ニ在リタル人員ハ之ヲ除ク

(大正十二年內務省令第十三號を以て左の通改正す)

第四條 府縣制第五條ニ依リ各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ數ハ人口ニ比例シ

テ之ヲ定ムヘシ(但書は削除せらる)

〔參照〕 府縣郡島嶼市區町村の人口及府縣制に依る議員配當の件は、大正十年內務省令第二十

五號、同十一年第十九號、同十二年第十三號及同十四年第四號を以て改正せらる。

府縣會議員選舉區分區令

(大正十一年八月勅令第五十五號)

第一條 府縣制第四條第三項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ

之ヲ爲スコトヲ得ス分チタル選舉區ヲ廢止シ又ハ其ノ區域ヲ變更スル亦同シ(但書省略)

〔參照〕 府縣會議員選舉區分區令は、大正十五年六月勅令第二百六號を以て改正せらる。

第二節 議員選舉及其の結果

府會議員選舉投票累年調査一覽

府縣制實施以前の分は、資料の完備せざる爲め掲載を省略した。

年次	定員	有権者	投票シタル者		投票セザリシ者	有権者百中	
			有効	無効		投票	不投票
明治三十二年	五	四六、六三	三六、六九	三七	一、七七	七四、九〇	三五、一〇
同 三十六年	五	六、三六八	三七、〇八八	四〇八	三、七三三	六、二〇	三八、八〇
同 四十年	五	七三、〇八六	三三、四五	六四三	三、〇八七	四、二七	五四、七三



同 四十四年	同 四十四年	同 四十四年	同 四十四年	同 四十四年	同 四十四年	同 四十四年	同 四十四年	同 四十四年	同 四十四年
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
八三、七六六	八三、七六六	八三、七六六	八三、七六六	八三、七六六	八三、七六六	八三、七六六	八三、七六六	八三、七六六	八三、七六六
四、九六五	四、九六五	四、九六五	四、九六五	四、九六五	四、九六五	四、九六五	四、九六五	四、九六五	四、九六五
六、五	六、五	六、五	六、五	六、五	六、五	六、五	六、五	六、五	六、五
四、五六二	四、五六二	四、五六二	四、五六二	四、五六二	四、五六二	四、五六二	四、五六二	四、五六二	四、五六二
三、一七四	三、一七四	三、一七四	三、一七四	三、一七四	三、一七四	三、一七四	三、一七四	三、一七四	三、一七四
五、六	五、六	五、六	五、六	五、六	五、六	五、六	五、六	五、六	五、六
四、六三	四、六三	四、六三	四、六三	四、六三	四、六三	四、六三	四、六三	四、六三	四、六三
五、八三三	五、八三三	五、八三三	五、八三三	五、八三三	五、八三三	五、八三三	五、八三三	五、八三三	五、八三三
七、三六	七、三六	七、三六	七、三六	七、三六	七、三六	七、三六	七、三六	七、三六	七、三六
四、七三	四、七三	四、七三	四、七三	四、七三	四、七三	四、七三	四、七三	四、七三	四、七三
二、八七四	二、八七四	二、八七四	二、八七四	二、八七四	二、八七四	二、八七四	二、八七四	二、八七四	二、八七四
三、五〇五	三、五〇五	三、五〇五	三、五〇五	三、五〇五	三、五〇五	三、五〇五	三、五〇五	三、五〇五	三、五〇五
四、一三〇	四、一三〇	四、一三〇	四、一三〇	四、一三〇	四、一三〇	四、一三〇	四、一三〇	四、一三〇	四、一三〇

府會議員選舉狀況調査表

定期選舉のみに止め、其の他は之を省略した。

左表中、投票總數と得票數の合計と符合せざるものあるは投票中連記人員の過不足に依るものであらう。又往々當選者の得票數が次點者の得票數より少數なるものあるは、當選に對し即時辭退したる場合に於て其の當時の規定に因り得票數の順位に應じ次點者を當選とせるが爲めならんと思料するも數十年後の今日に於て正確なる理由を取調ぶるに由なく今はたゞ存在せる資料に據り在の儘を記載するに止む。

(一) 麴町區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十一年十二月 (初期選舉)	連記投票	一五八		四二 比留間 安五郎	轟 道 賢
明治十三年十二月 (増員選舉 定期半數改選 ト同時ニ行フ)	記名投票	一五八		一〇三 外一〇三票 井伊直憲 十四名	轟 道 賢
明治十五年二月 (定期半數改選)	連記投票	一四八		三九 三九 辭選高點者四六票 前島 密 次點者二九票 石塚剛介 同 二七票 坪内定益 外二五一票 三十名	草間 時 福 水野 忠 幹
明治十七年四月 (定期半數改選)	記名投票	一四八	五八	二六 外二五票 關 直彦 二十名	末 吉 忠 晴



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票總數 (×無效)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十八年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	一八〇	一二七	三〇票 次點者七票 轟道賢 四票倉又左衛門 外五票 二十三名	關直彦 菅谷政勝
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記名投票	一八一	四二	二七	金澤三右衛門
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	一四三	五八	一八	菅谷政勝 垣見八郎右衛門
明治二十五年二月 (定期半數改選)	記名投票	一三五	三三	次點者一票 城井國綱 三二	金澤三右衛門
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	一四三	四五		河內全節 垣見八郎右衛門

以下府縣制施行以後ノ分	明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	明治三十一年二月 (定期半數改選)	明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)
	記連名投票記	記連名投票記	記連名投票記	單記無記名投票
	一四〇	一四〇	一四二	一、九八五
	三五	三六	三七	× 四三六 一五
	三三 三二 三一	三五 三四 三四	三五 三五 三五	次點者一票 廣橋嘉七郎 清水定右衛門 一二八 河內全節 二〇五 外一票 水町猪三郎
	河內全節 金澤三右衛門 垣見八郎右衛門	河內全節 垣見八郎右衛門 金澤三右衛門	河內全節 河內全節 小磯金藏	



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	二,四九七	六三二 × 五	次點者六七票 外六票 廣橋嘉七郎 五五九 田泰通 五名	廣橋嘉七郎
大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	二,二三三	一,一六四 × 六	次點者四七九票 外五七票 廣橋嘉七郎 六二八 嘉七郎 二名	久保三友
大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	二,〇三六	一,三四六 × 三	次點者五五四票 外一票 絲山貞規 七九一 一名	久保三友
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	三,一六四	二,〇〇〇 × 五	次點者六二三票 外六票 河內全中 一三七 三名	久保三友
昭和三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	七,九八三	三,四一七 × 二六	次點者三六七票 外六票 服部濱次 三〇五〇 票	三隅正

(二) 神田區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十一年十二月 (初期選舉)	單無記名投票記			一四四 八四 五七	辻純市 吉川長兵衛 土井利恒
明治十三年十二月 (定期半數改選)	記名投票			九五	條野傳平
明治十三年十二月 (增員選舉)	記連名投票記			七七 七八	大島貞敏 松田秀雄
明治十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	六〇八	三七四	辭選高點者一三三票 次點者三〇票 外二六票 河野敏鎌 前橋爲三郎 二名 二二七 六〇	沼間守一 吉川長兵衛



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (總數×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十七年四月 (定期半數改選)	記連名投票記	八五四	二六七	次點者二四票 堀野治郎兵衛 久井久次郎 七〇票	松田秀雄 角田眞平 志麻萬次郎
明治十八年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	四七五	一四七	辭選高點者五七票 大岡育造	沼間守一 吉川長兵衛
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	四九六	一四五		角田眞平 松田秀雄 志麻萬次郎
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	四三六	四三		吉田幸作 加藤佐兵衛

明治二十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	四一四	二四三	次點者九〇票 佐藤芳三郎 宮島新七 伊東茂右衛門 三十三票 外八票	松田秀雄 小栗常吉 森清右衛門
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三七〇	二六五	次點者二票 堀野治郎兵衛 嘉兵衛 二名	吉田幸作 堀野治郎兵衛
明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	三五三	八一	次點者二票 堀野治郎兵衛 嘉兵衛 外八票	松田秀雄 伊東茂右衛門 五味卯三郎 吉田幸作 太田直次



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (×ハ無効票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	三五三	八四	八三 八一 八〇 七八 八名	吉田幸作 伊東茂右衛門 小栗常吉 五味卯三郎 太田直次
明治三十一年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三三二	七四	七二 七一 一名	伊東茂右衛門 植田小太郎
以下府縣制施行以後ノ分					
明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	四、五一六	一、二八五 ×一〇	五五八 三六六 二五三 八名	松見文平 齋藤孝治 日下部三之介

明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	五、〇六一	二、二九五 ×三〇	七〇三 五五五 五三八 四名	齋藤孝治 松見文平 朝蔭玉次郎
大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	四、九八四	一、五三〇 ×九	八七四 五二三 五〇五 三七三 七名	堀内伊太郎 松見文平 細谷鎌太郎 齋藤孝治
大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	四、三四四	二、七〇二 ×九	七五〇 七一九 六四三 二名	木内傳之助 松見文平 細谷鎌太郎



(三) 日本橋區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效)	當選者得票數 (附次點者以下ノ狀況)	當選者氏名
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	四、七八三	× 三、七六六 四	當選者得票數 一、三四六 九〇八 五八九 次點者五四七票 石和田八郎 三七一票日下部三之介 外五票	細谷鎌太郎 赤塚五郎 松見文平
昭和三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	一、八〇六	× 九、二七一 三四	當選者得票數 四、一六五 二、七二五 次點者二二九八票 細谷鎌太郎 外八三票	赤塚五郎 石和田八郎 堀越角次郎

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效)	當選者得票數 (附次點者以下ノ狀況)	當選者氏名
明治十一年十二月 (初期選舉)	連記名投票記				渡邊治右衛門 安田善次郎
明治十三年十二月 (定期半數改選)	連記名投票記				永富鎌八 後藤庄吉郎
明治十三年十二月 (增員選舉)	連記名投票記				星野清左衛門 小西義敬
明治十五年二月 (定期半數改選)	記名投票	五六五	一六二二	次點者一五票 吉村甚兵衛 票中井新右門 外七一票 十三名	大貫傳兵衛



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十七年四月 (定期半數改選)	記連名投票記	五四五	一七八	辭選高點者三六票 一二票星野清左衛門 一六票中井新右門 次點者一一票青木禎吉 外一一票十八名	五〇 藤田茂吉 四八 藤田藤一郎 四三 柴崎守三 一二 飯塚八右衛門
明治十八年十二月 (定期半數改選)	記名投票	五七七	一七八	次點者一二票 高梨哲四郎 外一八票八名	一四六 箕浦勝人 六七 藤田茂吉 五一 仁杉英 二五 尾崎行雄 二五 安田善次郎
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	四六四			

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記名投票	六五	六五	次點者二一票浦田治平 一一票藤田長四郎 一四票藤田傳一 一三票川村衛 外一〇五票二十一名	二四 熊谷寬治 五九 橫山富次郎 五五 仁杉英 五一 浦田治平 四五 太田信義
明治二十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	九七	九七	次點者三三票 松本伊兵衛 二五票岡本兼吉 一一票菊地長四郎 一五票中村護 外三六票九名	





選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	五五一	一〇一	九四 九二 九〇 八二 七四 次點者二七票熊谷寬治 外七票五名	横山富次郎 仁杉英 浦田治平 太田信義 西澤善七
明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	五四五	五八	五六 五六 五六 五四 四 外八票	仁杉英 浦田治平 太田信義 西澤善七
明治三十一年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	五三九	五七	五三 五二 五二 五二 四 外七票	西澤善七 南川福藏 水谷市郎右衛門

以下府縣制施行以後ノ分

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	五六五七	一、三〇六 × 三一	五三一 四四八 三一四 十三名 外一三票	成島菊次良 南川福藏 鈴木宗兵衛
明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	六、〇七九	二、一五五 × 三四	一、三五〇 四五二 三三七 十五名 外一七票	小倉久兵衛 鈴木宗兵衛 成島菊次良
大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	五、六〇〇	一、五七一 × 七	五九〇 五八九 三八五 七名 外七票	平塚有 丸山名政 鈴木宗兵衛



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	四、八三〇	× 二、一五七 八	九九九 四七〇 四三九 次點者二四四票 法木德兵衛 外五票 四名	須原大助 大野菊三 鈴木宗兵衛
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	無記名投票記	四、八四六	× 三、一一〇 五	一二四五 一、〇七五 次點者八八二票 方正隆 外八票 八名	大野菊三 渡邊平次郎
昭和三年六月十日 (定期總選舉)	無記名投票記	一、七四一五	× 八、七三五 四七	三、二一六 一、三五一 次點者一、三〇八票 渡邊平次郎 外二、八六〇票 二名	木崎宏 高岡宣次

(四) 京橋區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十一年十二月 (初期選舉)	記連名投票記				大倉喜八郎 西村勝三 鹿島清兵衛
明治十三年十二月 (增員選舉) (定期半數改選) ト同時ニ行フ	記連名投票記				山中隣之助 鳥海清左衛門
明治十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	四三九		五一 四六 四二 稻田政吉 木寺安敦 喜谷市郎右衛門	
明治十七年四月 (定期半數改選)	記連名投票記	三四一		三二 四二 辭選高點者三五票 大倉喜八郎 次點者六票 千葉勝五郎 外四一票 二名	山中隣之助 鳥海清左衛門



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十八年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	一二七		次點者二九票 大倉喜八郎 一〇票喜谷市郎右衛門 一〇票勝五郎	木寺安敦 稻田政吉 牧山源兵衛
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三七二			松尾清次郎 風間信吉
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三一五	一四〇		稻田政吉 山中隣之助 牧玉藏
明治二十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三一〇	一〇四		山崎治兵衛 松尾清次郎

明治二十七年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三〇六	一八六		風間信吉 稻田政吉 鳥海清左衛門
明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	三一一			稻田政吉 鳥海清左衛門 佐藤作二 伊坂半九郎
明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	三一一			伊坂半九郎 稻田政吉 佐藤作二 松尾清次郎 秦源祐



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治三十一年二月 (定期半數改選)	記名投票	三二八	九一	外三票 八七	秦源祐
以下府縣制施行以後ノ分					
明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	三、七九一	六七九 ×五	外六票 六名	酒井泰 袴田瀧三郎 秦源祐 松尾清次郎
明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	三、九九二	二、一七五 ×二一	外二票 二名	內田彥雄 酒井泰 瀨尾新吉 加藤純吾

大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	四、〇〇二	二、三五九 ×九	次點者三六八票 三三三票南加藤純吾 八五票高梨久米治 外二票二名	六八二 吉永良延 四九五 橫山喜三郎 三九六 酒井泰
大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	三、四七二	二、三四五 ×一三	次點者四三〇票 尾後貫朝吾郎	四八八 小森七兵衛 四八七 堀江正三郎 四七二 酒井泰 四六八 吉井濱治郎
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	四、三七〇	三、四二〇 ×一九	次點者四二八票 九五票上條勝太郎 外四票二名	一、五〇三 向山庄太郎 六九五 關仲次郎 六九五 阿部温知



(五) 芝 區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
昭和三年六月十日 (定期總選舉)	單記名投票 無記名投票	三〇〇三五	一一、二三〇 ×六七	當選者一、八七三票 次點者一、八七三票 篠原虎之助 一、二七二票 竹村佳康 外二、七九一票 三名	井澤眞之助 塚本 鑛吉
明治十一年十二月 (初期選舉)	連記名投票			當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	福澤諭吉 山中市兵衛 馬場半助

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十三年十二月 (定期半數改選)	記名投票			六七	奧平昌邁
明治十三年十二月 (增員選舉)	連記名投票			六四 四六	山田忠兵衛 關 博直
明治十五年二月 (定期半數改選)	連記名投票	三二五		次點者二九票 林 欽次 二五票 福澤諭吉 外二五票 一名	田島安太郎 手塚長八
明治十七年四月 (定期半數改選)	連記名投票	三二二		次點者四二票 奧平昌邁 三二票 小松崎茂助 二〇票 林 欽次	津久井 市兵衛 近藤 孝行 加藤 明實



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十八年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三一九	一八〇	辭選高點者四〇票 次點者三〇票 三〇票山田忠兵衛 二九票渡邊又兵衛 三二 三二 三二	犬養毅 小松崎茂助
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三〇〇	一二五	辭選高點者二六票 二五票福澤諭吉 二二票後藤象二 次點者一八票手塚長八 一八 三五 三五 三五	山田忠兵衛 渡邊又兵衛 田島安太郎
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三〇四	五〇	辭選高點者二五票 次點者六票市岡平兵衛 外二二票 二五 二五 一五	渡邊友次郎 谷元道之

明治二十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	二七九	八二	次點者二二票小越幸助 外三四票 五六 六一 六三	田島安太郎 山田忠兵衛 岩見鑑造
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	三〇〇	九六	次點者二〇票 渡邊友次郎 外一〇票 一四票東條一郎 九 六四 七八 七八	小越幸助 野々山幸吉
明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	二九六	一一二	次點者三五票 渡邊友次郎 外二五票 三 七九 八二 九八 一〇一 一〇四	木村莊平 村上楯朝 鈴木良輔 野々山幸吉 村松仙之助



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票總數 (×無效)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	連名投票記	二九六	七四	六六 六五 六三 六三 六三 五九	鈴木良輔 野々山幸吉 木村莊平 村上楯朝 村松仙之助
明治三十一年二月 (定期半數改選)	連名投票記	二九五	一三四	一一九 八九 七四	渡邊友次郎 村松仙之助 石井鎌太郎
以下府縣制施行以後ノ分					
				次點者三三票鈴木良輔 外四四票十四名	

明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	三、九八七	一、八四七 × 四六	次點者二六一票 高島磯五郎	笠原慶藏 曲木如長 村田權次郎 瀧本八十八
明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	四、五二〇	二、五五六 × 五二	次點者三〇六票 大谷新藏 外一五三票瀧本八十八 外四票四名	大塚榮吉 加藤彙三郎 曲木如長 村田權次郎
大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	四、七三六	二、一九六 × 七	次點者二五三票 大谷新藏 外三票三名	村田權次郎 田中武助 大塚榮吉



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票	四,三〇二	× 二,七三〇 九	次點者二三五票 瀧本八十八票 外 一三三票高木三五郎一名	大塚榮吉 坂倉吉兵衛 野村此平 村田權次郎
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票	八,七四六	× 五,二九一 三四	次點者六九〇票 高橋義次一名	野村此平 大神田軍治 渡邊八十吉 笠原慶藏
昭和三年六月十日	單無記名投票	三,〇九六	一三四一八	四,四二八 二,六六〇	大神田軍治 笠原慶藏

(六) 麻布區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
(定期總選舉)			× 八九	次點者一,三六九票 箱田市藏 外 一,一六四票野村此平四名	藤原久人
明治十一年十二月 (初期選舉)	連記名投票			辭選高點者四〇票 多羅尾光應 次點者八票島津忠亮 外二三票十四名	笠井庄兵衛 多羅尾光應
明治十三年十二月 (定期半數改選)	記名投票			辭選高點者五四票 笠井庄兵衛 次點者二票深山小五衛 外五八票十五名	竹中萬壽藏 椙江新兵衛



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (總數×無效)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十七年四月 (定期半數改選)	記名投票	一一九	九一	次點者六票 毛利元敏 二名	笠井庄兵衛
明治十八年十二月 (定期半數改選)	記名投票	一一五	九四	次點者一四票 相江新兵衛 外一二票 二名	神田良邦
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記名投票	一二四	八三	三三	笠井庄兵衛
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記名投票	一二六	二八	外八票 二〇名	神田良邦
明治二十五年二月 (定期半數改選)	記名投票	一二九	一三	六	矢田市兵衛
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記名投票	一三一	二四	一六	今井兼輔

明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	記連名投票	一三一	六六	次點者一五票 村田吉兵衛 外一票 一名	矢田市兵衛 平原嘉兵衛
明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	記連名投票	一三一	三一	三〇 二九 二名	平原嘉兵衛 矢田市兵衛
明治三十一年二月 (定期半數改選)	記名投票	一二八	四四	外二票 二名	村田吉兵衛
以下府縣制施行以後ノ分					
明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	單記無記名投票	一六六八	一八七	外一票 一名	田中吉右衛門
明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	單記無記名投票	二二八一	一〇六四	次點者二〇九票 大西朝光 外一票 一名	岡田榮一 小谷福平



選舉年月日	大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	選舉方法	單記無記名投票	有權者總數	一二二五五	有效投票數 (×ハ無効)	一、二六五 × 一	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	四五四 三四三	當選者氏名	岡田榮一 野村鑒太郎
選舉年月日	大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	選舉方法	單記無記名投票	有權者總數	一二一四四	有效投票數 (×ハ無効)	一、三三四 × 三	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	四七六 四六六	當選者氏名	草場九十九 大西朝光
選舉年月日	大正十三年六月十日 (定期總選舉)	選舉方法	單記無記名投票	有權者總數	四、六四八	有效投票數 (×ハ無効)	二、九〇七 × 三六	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	一、〇一三 六八七	當選者氏名	內田健次郎 草場九十九

(七) 赤坂區

選舉年月日	昭和三年六月十日 (定期總選舉)	選舉方法	單記無記名投票	有權者總數	二五二八六	有效投票數 (×ハ無効)	七、二七二 × 五二	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	二、六〇八 二、三三九	當選者氏名	花木實 內田健次郎
選舉年月日	明治十一年十二月 (初期選舉)	選舉方法	連記無記名投票	有權者總數		有效投票數 (×ハ無効)		當選者得票數 附次點者以下ノ狀況		當選者氏名	川島喜三郎 太田次郎
選舉年月日	明治十三年十二月 (定期半數改選)	選舉方法	記名投票	有權者總數		有效投票數 (×ハ無効)		當選者得票數 附次點者以下ノ狀況		當選者氏名	羽田均
選舉年月日	明治十五年二月 (定期半數改選)	選舉方法	記名投票	有權者總數	六六	有效投票數 (×ハ無効)	一一二	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	次點者一六票 外二六票	當選者氏名	高橋基一



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票總數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十七年四月 (定期半數改選)	記名投票	七九	五〇	次點者九票羽 外一二票 田均 九票	太田次郎
明治十八年十二月 (定期半數改選)	記名投票	八七	三八	次點者七票 外八票 河原伊平 七票	松下一郎右衛門
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記名投票	九二	三五	一一	太田次郎
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記名投票	九一	四〇	外一三票 八名	河原伊平
明治二十五年二月 (定期半數改選)	記名投票	八九	二九	外八票 三名	苗村又右衛門
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記名投票	八二	四八	次點者二二票 外二票 松下覺之亟 二六	高木正善

以下府縣制施行以後ノ分	明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	明治三十一年二月 (定期半數改選)	明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)
	記連名投票記	記連名投票記	記連名投票記	單無記名投票記	單無記名投票記
	八三	八三	八〇	一、三二六	一、九六九
	三九	三八	三七	×二六二 六	×五二一 六
	外一票 一名	外二票 二名	外四票 次點者六票松下善太郎 二名	外一票 一名	外一票 一名
	三九 苗村又右衛門	三七 高木正善	三五 苗村又右衛門 二九 高橋藤兵衛	二六 苗村又右衛門	二七六 諺摩武彦 二四四 苗村又右衛門 一名



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效)	當選者得票數 (附次點者以下ノ狀況)	當選者氏名
大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	一、九一八	× 八五七 二	次點者三四六票 外三票 千葉胤義 三名	吉田勘右衛門
大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	一、九〇三	× 一、一五〇 五	次點者四四一票 外一票 吉田勘右衛門 一二〇票 杉田百助 一名	脇田勇
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	三、三九九	× 一、九五九 一〇	次點者六四二票 外四票 齋藤紀一 六三六票 杉田龜太郎 三名	脇田勇
昭和三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	八、八三八	× 三、七〇四 三四	次點者八一五票 外一、〇七三票 三浦萬次郎 二名	米本彦太郎

(八) 四谷區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效)	當選者得票數 (附次點者以下ノ狀況)	當選者氏名
明治十一年十二月 (初期選舉)	記連名投票記				荒木政樹 永井直哉
明治十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	八九		辭選高點者四一票 次點者三〇票 外四三票 松平義至 飯塚保明 二名	永井直哉 永井尙弼
明治十八年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	八五		次點者九票 外一七票 永井直哉 三名	永井尙弼 高橋一勝
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	九三	二六	外二六票 十名	仁科次郎 岩崎傳次郎



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (×ハ無効票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記連名投票記				仁科彥次郎 岡村善五郎
明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	八〇	四〇	外八票 三名 三四	仁科彥次郎 岡村善五郎
明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	八〇	二八	外四票 四名 二六 一二	岡村善五郎 岩崎傳次郎
明治三十一年二月 (定期半數改選)	記名投票	八六	五二	外二票 二名 五〇	仁科彥次郎
以下府縣制施行以後ノ分					
明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	一一二七	五一七 八	次點者二六票 外六票 猪股要助 四名 二九五	永田義原

明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	一、五五九	× 五九一 九	外二五票 三名 三五〇 二一六	永田義原 猪股要助
大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	一、六〇九	× 九五二 四	次點者四三二票 猪股要助 五二〇	星野佐昭
大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	一、五九二	× 一一五七 五	次點者四四五票 渡邊繁太郎 二〇九票 宮子音吉 四名 四九九	本田義成
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	無記名投票記	三、五一四	× 二、〇六三 一三	次點者六三四票 山本茂三郎 三四六票 瀨川光行 十二名 外六八票 一、〇一五	伊藤平藏
昭和三年六月十日 (定期總選舉)	無記名投票記	一、二九二	× 七、一七三 三九	次點者三、四〇八票 森松之助 三七六五	岡蕃



(九) 牛込區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十一年十二月 (初期選舉)	記連名投票記				酒井忠道 奥山長右衛門
明治十三年十二月 (定期半數改選)	記名投票			四二	田口卯吉
明治十三年十二月 (增員選舉)	記名投票			二八 一三票升本喜兵衛	鈴木唯一
明治十五年二月 (定期半數改選)	記名投票	九九	五四	一七 外三〇票 田村常吉 十五名	渡部温
明治十七年四月 (定期半數改選)	記連名投票記	一〇〇	六六	一七 一 七 辭選高點者一三票 川本清一 次點者七票西川勘兵衛	田口卯吉 酒井忠道

明治十八年十二月 (定期半數改選)	記名投票	一〇三	六四	外二六票 十五名	渡部温
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	一〇九	八〇	次點者九票 川本清一 外三九票 十一名	中島行孝 小島官吾
明治二十三年十二月 (定期半數改選)	記名投票	一一一	二〇	外六票 四名	渡部温
明治二十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	九八	二九	二七 二五	小島官吾 中島行孝
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記名投票	一二四	三二	外三票 一名	渡部温
明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	一一九	六二	外一票 一名	渡部温 小島官吾 中島行孝



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	一一八	四八	外一票 一名 四七 四七	渡部温 中島行孝 小島官吾
明治三十一年二月 (定期半數改選)	記名投票	一一六	四〇	外一票 一名 三九	柿沼長豊
以下府縣制施行以後ノ分					
明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	二、七五五	× 二六七 四	外一票 一名 一五七 一〇九	中島行孝 飯塚仁兵衛
明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	三、五九五	× 三九七 四	外一票 一名 二二三 一七三	中島行孝 飯塚仁兵衛
大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	三、三三〇	× 一、七二九 七	外一票 一名 五〇〇 四一一 三九九	三田慶太郎 松内良治 飯塚仁兵衛

大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	三、四九八	× 二、二七六 七	次點者二六七票 外一票 杉田武義 一五〇票 近藤定喜 二名	森田勇次郎 小池素康 千葉博己
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	無記名投票記	七、一九三	× 五、〇三九 三七	次點者一、四七一票 外一票 小池素康 十二名	飯塚友一郎 大野傳吉
昭和三年六月十日 (定期總選舉)	無記名投票記	三〇、五五六	× 一〇、五五七 八五	次點者一、一五一票 外一票 福田市太郎 二名	田村和三郎 島田辰太郎



(十) 小石川區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十一年十二月 (初期選舉)	記連名投票記				大槻東陽 芳野世經
明治十三年十二月 (增員選舉) (定期半數改選) (同時ニ行フ)	記名投票				一色健郎
明治十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	一二七		六二 五八 次點者二九票田中耕造 外三四票二名	芳野世經 佐藤正興
明治十七年四月 (定期半數改選)	記名投票	一一八	四八	二五 外三票一名	一色健郎

明治十八年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	一〇五		五〇 三九 外五票一名	芳野世經 佐藤正興
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記名投票	一〇九	四四	二二 一名	一色健郎
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	一一二	三六	一六 一六 外四票四名	芳野世經 佐藤正興
明治二十五年二月 (定期半數改選)	記名投票	一〇八	一四	七	芳野世經
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	九七		三九 一八 次點者一四票永井喜炳 外三五票十五名	野村猪三 内山平三郎



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	九三	六〇	四三 四一 二〇	野村猪三 芳野世經 内山平三郎
明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	記連名投票記	九〇	六〇	二五 一九 一七 三名	芳野世經 野村猪三 内山平三郎
明治三十一年二月 (定期半數改選)	記連名投票記	九四	四六	二二 一七 六名	内山平三郎 青柳三郎兵衛
明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	一七八五	八六〇 ×一六	三六三 二七〇	芳野世經 大井玄洞

以下府縣制施行以後ノ分

明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	二、〇四七	×九六三 一四	四〇七 三〇六 三名	吉田廉助 大井玄洞
大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	二、八三三	×八九八 八	三三三 二九七 二八三 三名	杉山金次郎 大井玄洞 高橋甚右衛門
大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	無記名投票記	三、〇三〇	×二、〇三一 一二	次點者三三〇票 高橋甚右衛門 三名 外三票	松井錦橘 杉山金次郎 大井玄洞 曾雌晴次郎



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票總數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	八、一〇八	五、五四七 × 二六	次點者一、〇六七票 高橋甚右衛門 外四票 七 九票三輪政一名 四	大井玄洞 松井錦橋 新倉高藏
昭和三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	四、七〇六	二、四二六 × 九九	次點者一、八九六票 松井錦橋 一、八五二票 田中忠左衛門 外三、一八四票 二名	押川定秋 高野直治 新倉高藏

(土) 本郷區

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票總數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十一年十二月 (初期選舉)	連記名投票記			二八 二〇	山中松五郎 小木曾富藏
明治十三年十二月 (增員選舉) (定期半數改選) (同時ニ行フ)	記名投票				前田長善
明治十五年二月 (定期半數改選)	連記名投票記	一九三	四二二 × 八	外三二票 三一八 三名	松波宏祚 伊藤定七



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票總數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十七年四月 (定期半數改選)	記名投票	一八二	六五	外六票 三名 四二票	松波宏雅
明治十八年十二月 (定期半數改選)	記名投票記	一七四	一四八	外一票 三名 四八 四二	松南宏祚 (松波改姓) 青木匡
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記名投票	一七二	三一	外六票 六票 一八 五名	田口卯吉
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記名投票記	一五五	四〇	外一票 二九 一四	松南宏雅 (松波改姓) 青木匡
明治二十五年二月 (定期半數改選)	記名投票	一七七		外一票 二九	風祭甚三郎

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票總數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記名投票記	一八八	一二三	外五票 七〇 七四 七〇	吉川仙太郎 高崎長左衛門
明治二十九年二月 (市部會解散後ノ總改選)	記名投票記	一八七	七一	外一票 一名 七〇 六九	高崎長左衛門 吉川仙太郎 風祭甚三郎
明治二十九年三月 (再度市部會解散後ノ總改選)	記名投票記	一八七	五三	外一票 一名 五三 五三 五二	風祭甚三郎 吉川仙太郎 高崎長左衛門
明治三十一年二月 (定期半數改選)	記名投票記	一八〇	五八	外一票 五七 五三	池田亥之助 高崎長左衛門

以下府縣制施行以後ノ分



選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票總數 (×ハ無効)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治四十年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	一、一三二	× 一、四四六 二四	次點者二六八票 村上熊八 二二四票 高木信吉 外五票 五名	長谷川吉次 小林好愛 中村平三郎
明治四十四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	二、五七五	× 一、五九九 一四	次點者三〇五票 鎌田芳太郎 外一票 一名	眞壁信忠 村上熊八 高木信吉
大正四年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	三、二九三	× 一、六五四 九	六〇八 三五九 三五九 三五九 三五九 三三四	萩原利右衛門 村上熊八 秋虎太郎 田中愷吾

大正八年九月二十五日 (定期總選舉)	單無記名投票記	三、二四九	× 一、七三一 一一	次點者二三七票 山崎菊次郎 外四票 四名	村上熊八 田中恭三郎 田中愷吾
大正十三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	七、二二五	× 四、三二〇 四九	次點者七八五票 山崎菊次郎 外三票 三名	田中恭三郎 高崎高次郎 佐伯兼次郎
昭和三年六月十日 (定期總選舉)	單無記名投票記	三、六三七	× 二、四一五 六六	次點者一、五九〇 安部利七 一、四七票 杉原英太郎 外二、一七三票 四名	友成四郎 恩田武市 高崎高次郎





(三) 下谷區

東京府史 府會篇

七六

選舉年月日	選舉方法	有權者總數	有效投票數 (總數×無效票)	當選者得票數 附次點者以下ノ狀況	當選者氏名
明治十一年十二月 (初期選舉)	記連名投票記				福地源一郎 守田治兵衛
明治十三年十二月 (定期半數改選)	記名投票				吉田丹兵衛
明治十三年十二月 (增員選舉)	記連名投票記				守田治兵衛 小暮直次郎
明治十五年二月 (定期半數改選)	記名投票	二六五	一一二	次點者三〇票 守田治兵衛 二七票久松定弘 二五票福地源一郎	青木金七
明治十七年四月 (定期半數改選)	記連名投票記	二六五	一九一		山口謙 鈴木信仁 奧田達道

明治十八年十二月 (定期半數改選)	記名投票	二四六	六五	次點者一〇票 福地源一郎 外九票	福地源一郎
明治二十年十二月 (定期半數改選)	記連名投票記	二一九		次點者二票青木金七	鈴木信仁 山口謙 青木貞三
明治二十三年二月 (定期半數改選)	記名投票				阿部孝助
明治二十五年二月 (定期半數改選)	記連名投票記			次點者四六票奧田達道 四三票橫倉鳥之助 四一票杉山茂吉	篠常五郎 鈴木信仁 藤堂高義
明治二十七年二月 (定期半數改選)	記名投票	二二八	一二五	外五票 五名	大森清禎

第二章 府會の組織 議員選舉及其の結果

七七